

2023年3月31日

2022年度「学生による授業評価アンケート」結果報告

2022年度名古屋経済大学FD委員会

2019年度、2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、マークシート方式でのアンケートを実施できなかったが、今年度は、2019年度と同様、マークシート方式で授業評価アンケートを実施した。前年度はアンケート回答率が20%前後にとどまったが、今年度は、前期69%、後期62%と、回答率が大幅に改善した。

本学では、2012年度より、2019年度まで、「2年に1回は担当科目の授業評価アンケートを実施する。ただし、専門共通基礎Ⅰ、Ⅱ、情報科目、日本語科目については、全クラスをアンケート対象とする」との方式を採用していた。本年度は、この方式を改め、次の科目を除く、全ての科目を対象に、授業評価アンケートを実施することとした。

(対象除外科目)

- ・必修演習科目
- ・教育実習等の学外実習科目
- ・オンデマンド科目
- ・履修者10名以下の科目
- ・クォーター制の科目で第1クォーターに実施する科目※

※ 第1クォーター終了時までには、アンケートの準備ができないため。第2～第4クォーターではアンケートを実施。

前期291科目、後期306科目で、アンケートを実施し、前・後期それぞれの結果について学部学科毎に分析し、コメントを作成し教授会に報告した。実施科目の個別結果と考察は学内HPに掲載した。

全学部の学生視点結果について、「スポーツ学生のみ」と「スポーツ学生を除く」、「留学生」と「留学生を除く」に項目を分けて統計を出した(人間生活科学部には、留学生は在籍していないため、人間生活科学部では、「スポーツ学生のみ」と「スポーツ学生を除く」に分けている。)。この結果分析については全学で共有した。

「体験型プロジェクト」は各プランでアンケート等を行い、その結果についての考察を学内HPに掲載した。

- A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか
1…経済学部・現代経済学科
2…経営学部・経営学科
3…法学部・ビジネス法学科
4…人間生活科学部・教育保育学科
5…人間生活科学部・管理栄養学科
6…科目等履修生・研究生
- B. あなたは何年生ですか
1…1年生 2…2年生 3…3年生 4…4年生 5…その他
- C. あなたは留学生ですか
1…はい 2…いいえ
- D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか
1…はい 2…いいえ
- E. あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか
1…はい 2…いいえ
1. あなたはこの授業によく出席しましたか
5…全部出席した 4…1-2回欠席した 3…3-4回欠席した
2…5-6回欠席した 1…7回以上欠席した
2. あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
13. この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
14. (自由質問)
15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください なお、不満は具体的に改善してほしい点を記入してください

- A. あなたの所属している学部・学科は、どこですか
1…経済学部・現代経済学科
2…経営学部・経営学科
3…法学部・ビジネス法学科
4…人間生活科学部・教育保育学科
5…人間生活科学部・管理栄養学科
6…科目等履修生・研究生
- B. あなたは何年生ですか
1…1年生 2…2年生 3…3年生 4…4年生 5…その他
- C. あなたは留学生ですか
1…はい 2…いいえ
- D. あなたはスポーツ推薦で入学しましたか
1…はい 2…いいえ
- E. あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか
1…はい 2…いいえ
1. あなたはこの授業によく出席しましたか
5…全部出席した 4…1-2回欠席した 3…3-4回欠席した
2…5-6回欠席した 1…7回以上欠席した
2. あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
3. この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
4. 授業内容はわかりやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
5. この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
6. 教員の教え方には熱意があったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
7. 授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
8. 教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
9. 板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
10. 教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
11. 一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
12. 教員は授業時間を守っていたと思いますか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
13. この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか
5…強くそう思う 4…そう思う 3…どちらともいえない
2…そう思わない 1…まったくそう思わない
14. (自由質問)
15. その他、この授業について「良かった点」「不満な点」があれば記入してください なお、不満は具体的に改善してほしい点を記入してください

2022年度前期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	21	20	95.24	20	100.00
経営学部	51	50	98.04	50	100.00
法学部	28	28	100.00	28	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	42	40	95.24	40	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	54	54	100.00	48	88.89
非常勤	109	99	90.83	99	100.00
【全体】	305	291	95.41	285	97.94

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	2,745	2,728	1,752	64.22
経営学部	4,721	4,694	3,130	66.68
法学部	3,305	3,305	2,154	65.17
人間生活科学部・教育保育学科	1,425	1,387	1,082	78.01
人間生活科学部・管理栄養学科	2,193	2,193	1,828	83.36
非常勤	4,256	3,712	2,556	68.86
【全体】	18,645	18,019	12,502	69.38

2022年度後期 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
経済学部	24	23	95.83	23	100.00
経営学部	51	51	100.00	51	100.00
法学部	26	26	100.00	26	100.00
人間生活科学部・教育保育学科	40	39	97.50	39	100.00
人間生活科学部・管理栄養学科	54	50	92.59	50	100.00
非常勤	119	117	98.32	117	100.00
【全体】	314	306	97.45	306	100.00

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
経済学部	3,251	3,071	1,623	52.85
経営学部	3,826	3,826	2,120	55.41
法学部	2,630	2,630	1,550	58.94
人間生活科学部・教育保育学科	1,200	1,179	923	78.29
人間生活科学部・管理栄養学科	1,962	1,828	1,446	79.10
非常勤	4,362	4,330	2,842	65.64
【全体】	17,231	16,864	10,504	62.29

[名古屋経済大学] 2022年度前期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	4.19	3.90	4.27	4.05	4.05	4.24	4.09	4.17	4.12	4.22	4.05	4.33	3.95
経済学部	4.16	3.80	4.24	3.98	4.02	4.14	4.07	4.13	4.03	4.13	3.96	4.25	3.92
経営学部	4.18	3.84	4.22	3.97	3.96	4.17	3.97	4.11	4.09	4.17	3.97	4.29	3.87
法学部	4.02	3.88	4.23	4.03	4.08	4.22	4.07	4.13	4.04	4.21	4.00	4.29	3.95
人間生活科学部・教育保育学科	4.26	4.06	4.40	4.23	4.25	4.41	4.29	4.23	4.33	4.40	4.26	4.44	4.07
人間生活科学部・管理栄養学科	4.48	3.87	4.31	4.03	3.99	4.26	4.06	4.16	4.11	4.18	4.11	4.37	3.92
非常勤	4.15	4.04	4.33	4.16	4.10	4.32	4.19	4.31	4.22	4.31	4.14	4.42	4.07

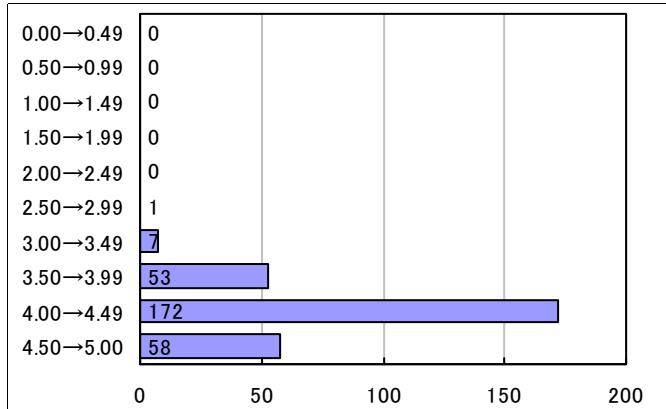
[名古屋経済大学] 2022年度後期 授業評価アンケート 教員所属別平均一覧

設問	内容
1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか

所属	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13
全体	4.03	3.98	4.32	4.15	4.12	4.27	4.17	4.24	4.18	4.26	4.15	4.33	4.05
経済学部	3.95	3.86	4.23	3.98	3.96	4.11	4.07	4.14	4.09	4.01	4.01	4.27	3.91
経営学部	3.96	3.93	4.32	4.19	4.10	4.25	4.16	4.23	4.23	4.28	4.13	4.34	4.04
法学部	3.89	3.85	4.21	4.02	4.03	4.18	4.02	4.16	3.94	4.20	4.01	4.16	3.89
人間生活科学部・教育保育学科	4.13	4.09	4.44	4.32	4.35	4.48	4.33	4.30	4.38	4.50	4.34	4.44	4.22
人間生活科学部・管理栄養学科	4.35	4.06	4.43	4.16	4.14	4.32	4.17	4.24	4.21	4.25	4.21	4.35	4.08
非常勤	4.00	4.08	4.39	4.22	4.19	4.34	4.25	4.32	4.24	4.35	4.21	4.40	4.14

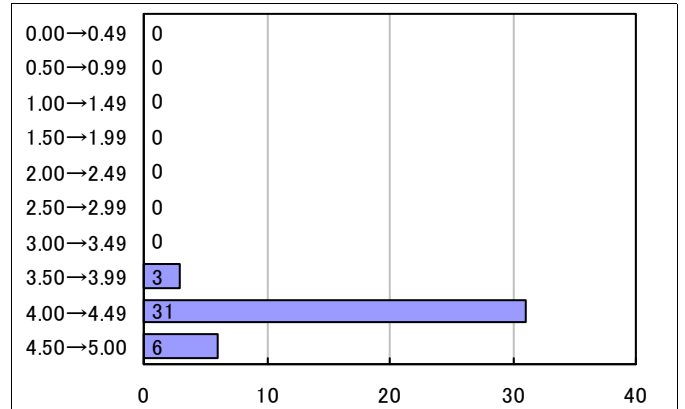
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



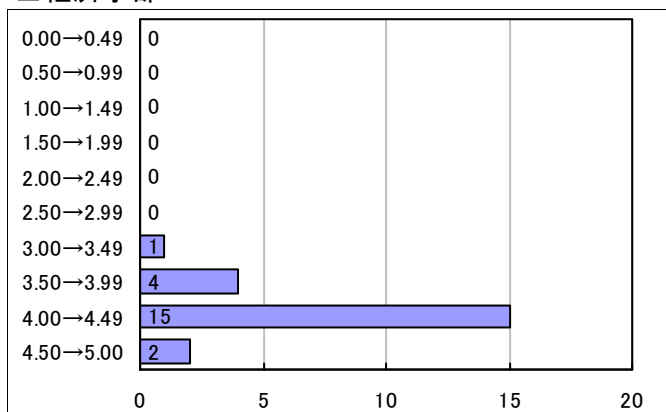
平均値 = 4.19

■人間生活科学部・教育保育学科



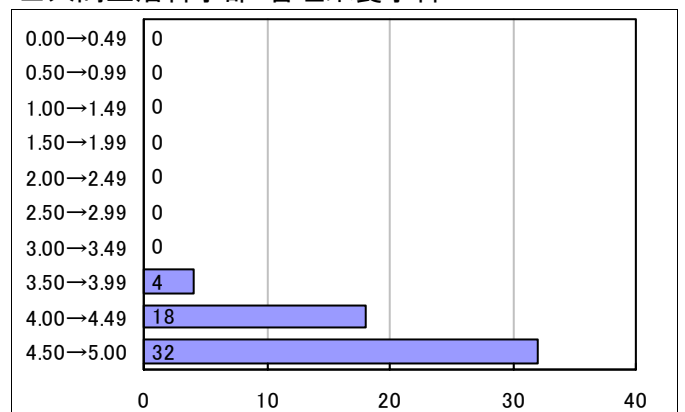
平均値 = 4.26

■経済学部



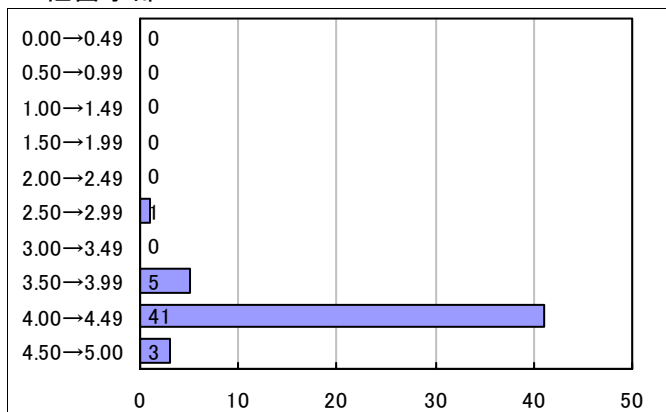
平均値 = 4.16

■人間生活科学部・管理栄養学科



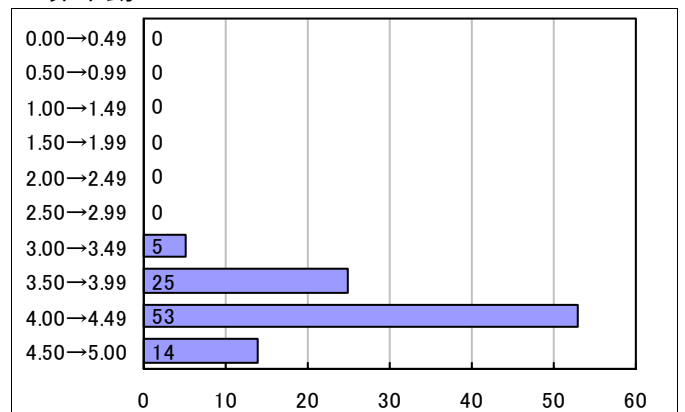
平均値 = 4.48

■経営学部



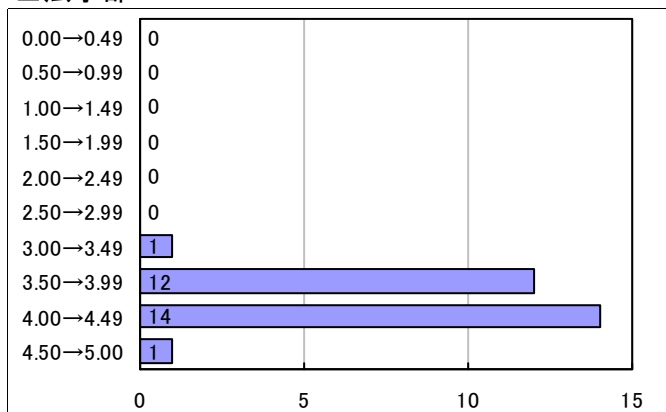
平均値 = 4.18

■非常勤



平均値 = 4.15

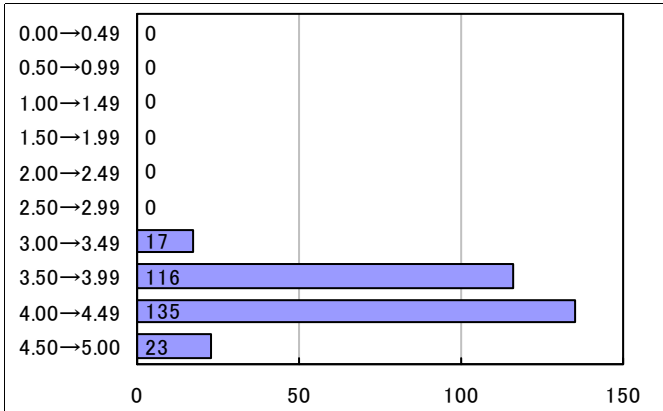
■法学部



平均値 = 4.02

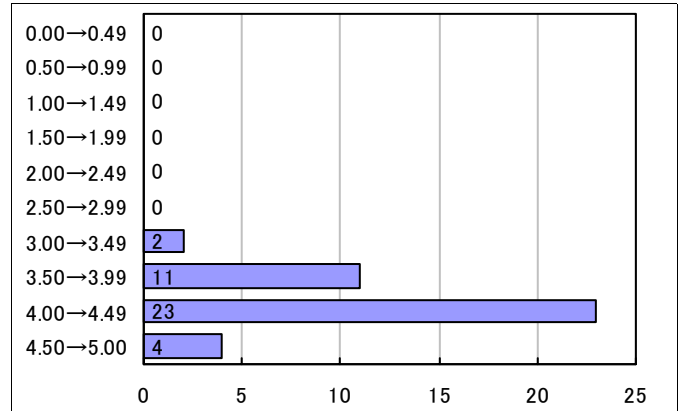
●2.あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



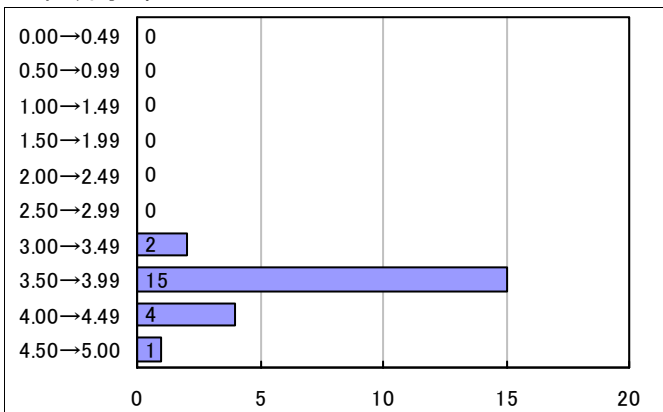
平均値 = 3.90

■人間生活科学部・教育保育学科



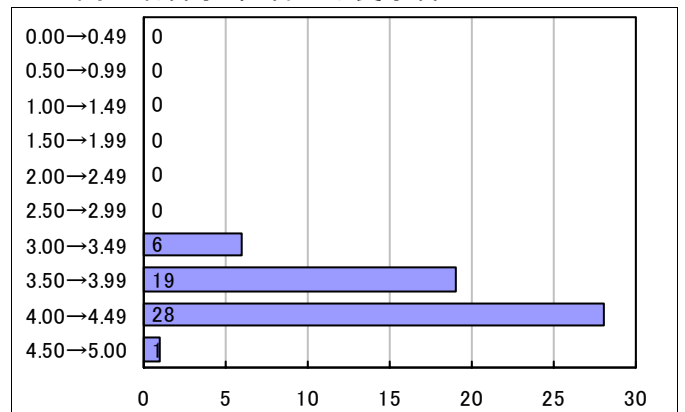
平均値 = 4.06

■経済学部



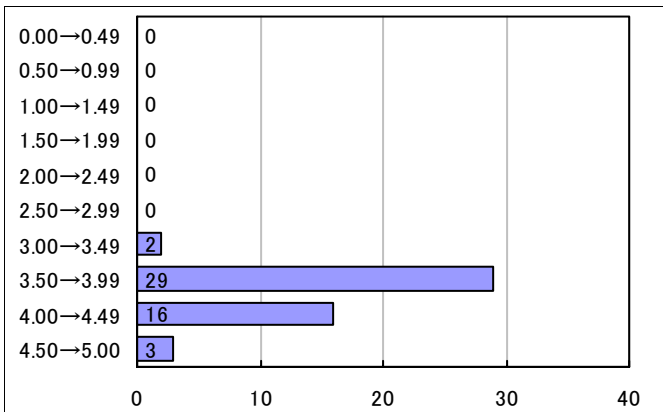
平均値 = 3.80

■人間生活科学部・管理栄養学科



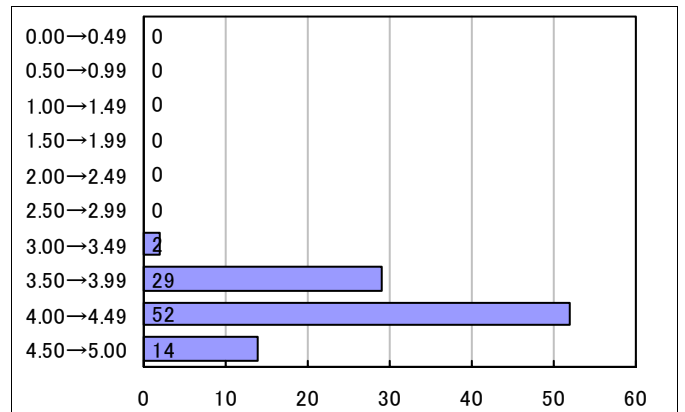
平均値 = 3.87

■経営学部



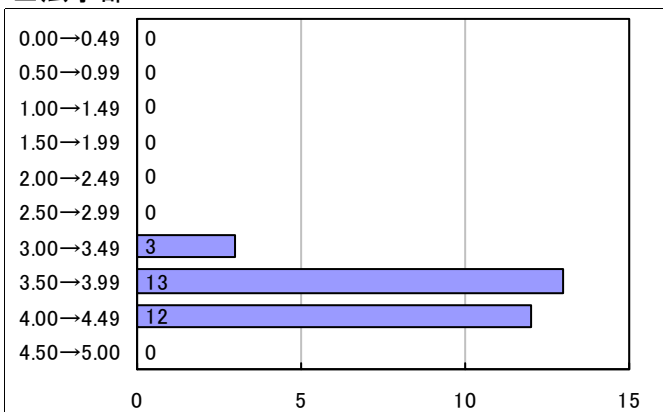
平均値 = 3.84

■非常勤



平均値 = 4.04

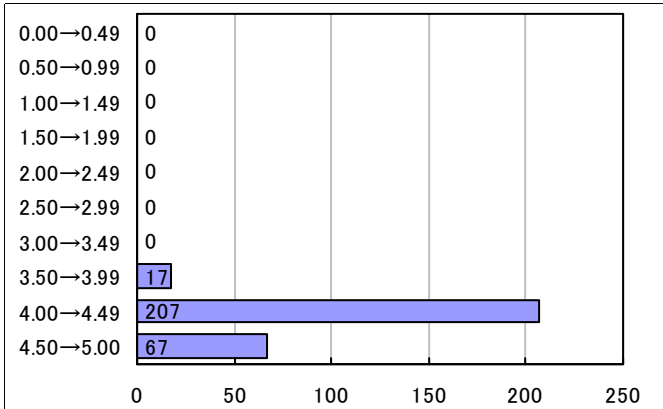
■法学部



平均値 = 3.88

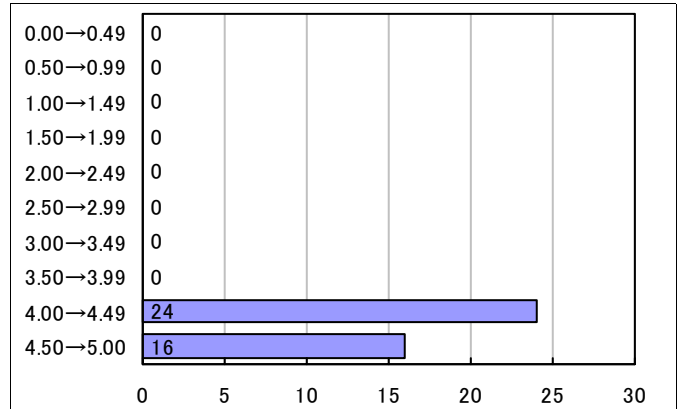
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答するこ

■全体



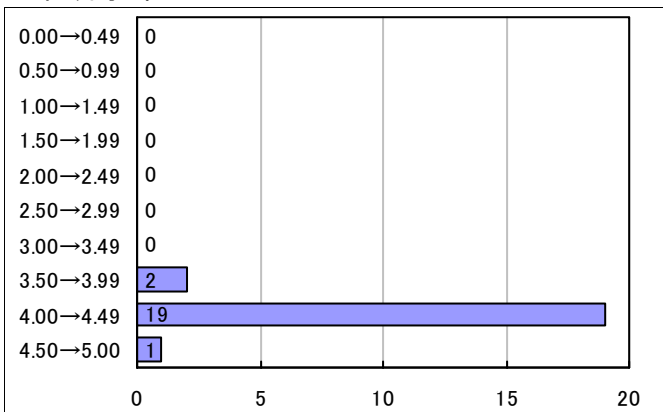
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・教育保育学科



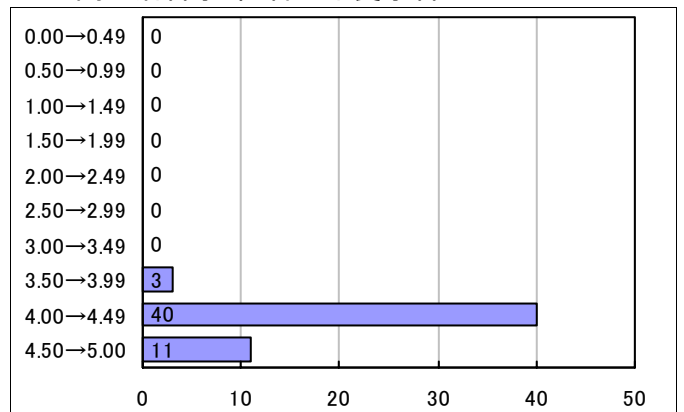
平均値 = 4.40

■経済学部



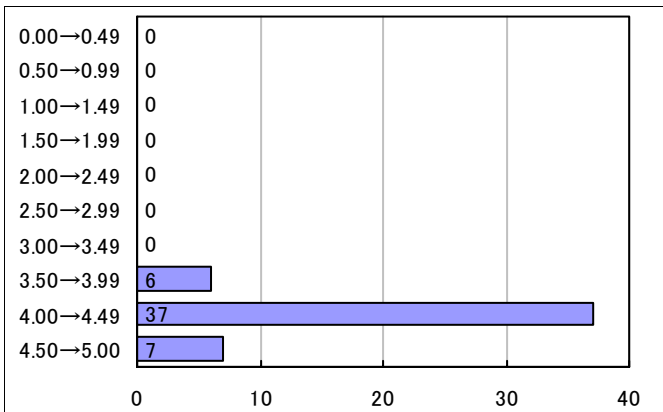
平均値 = 4.24

■人間生活科学部・管理栄養学科



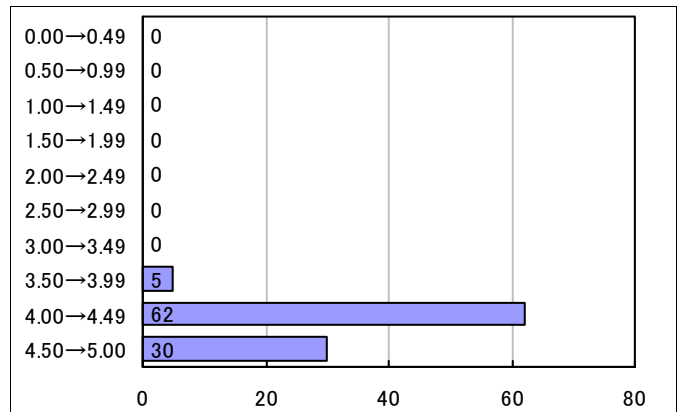
平均値 = 4.31

■経営学部



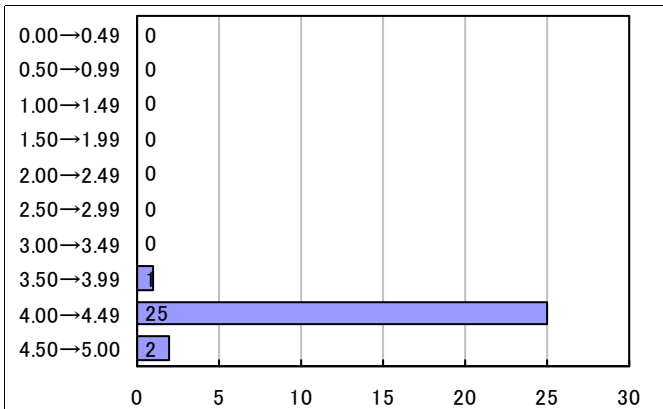
平均値 = 4.22

■非常勤



平均値 = 4.33

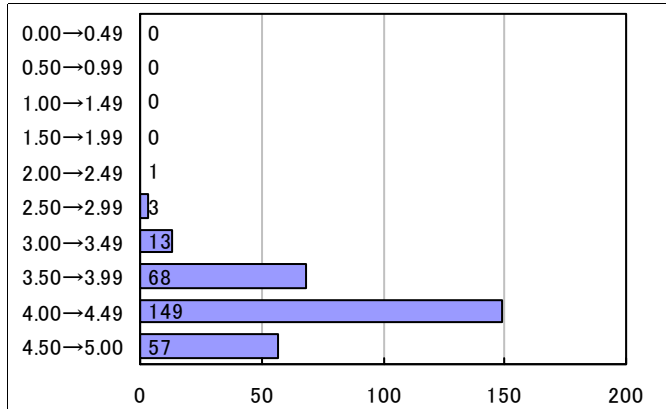
■法学部



平均値 = 4.23

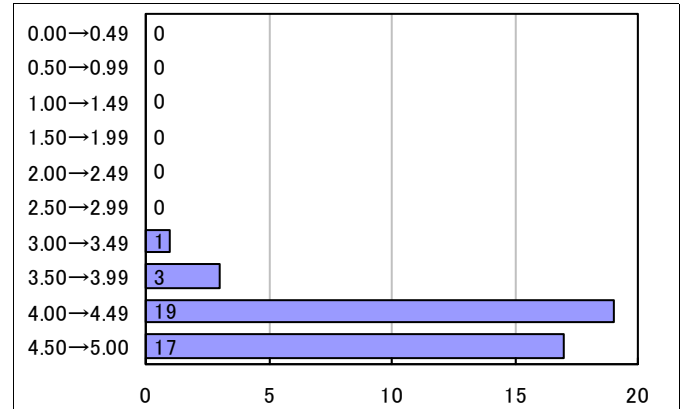
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



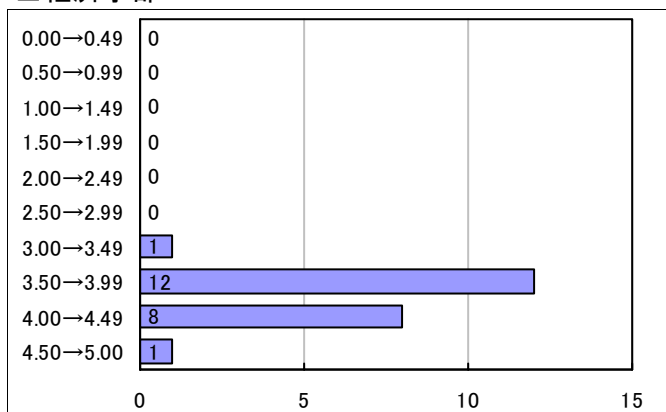
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・教育保育学科



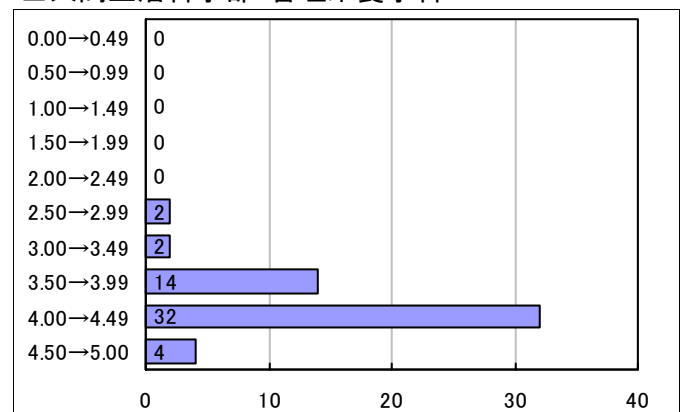
平均値 = 4.23

■経済学部



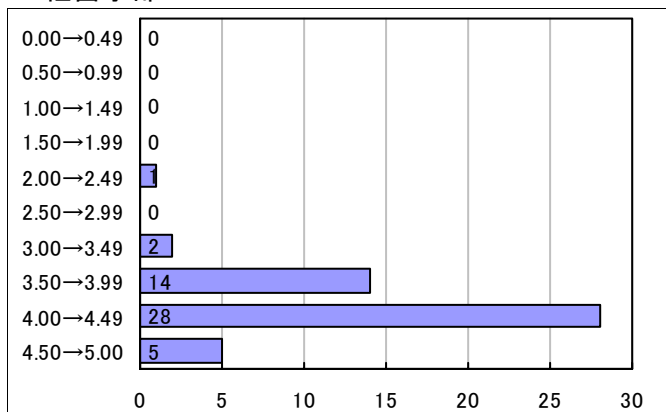
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・管理栄養学科



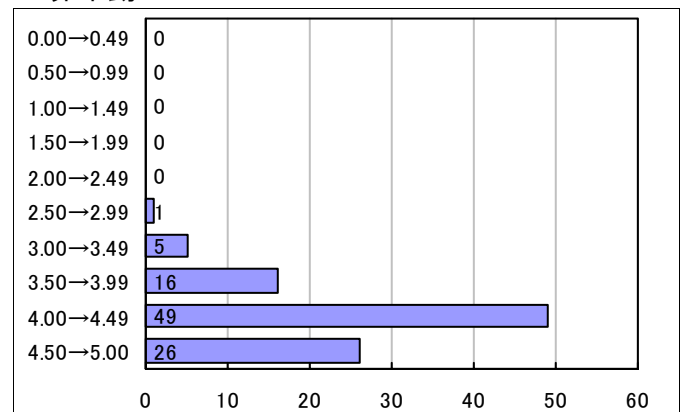
平均値 = 4.03

■経営学部



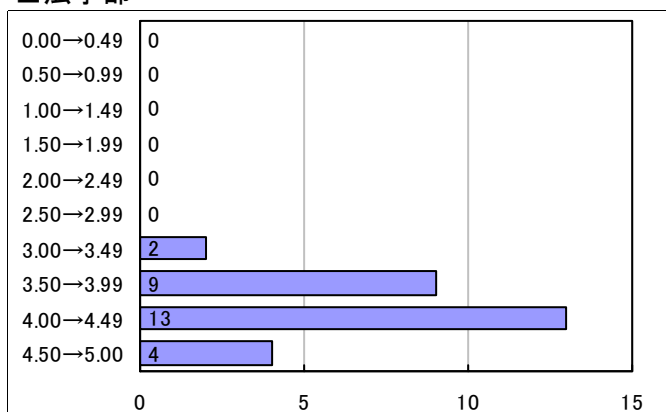
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 4.16

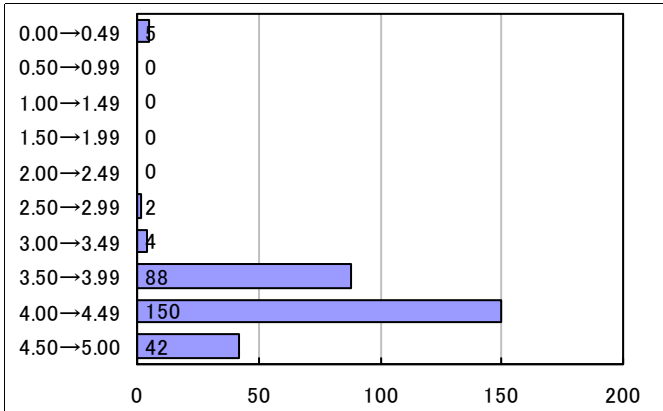
■法学部



平均値 = 4.03

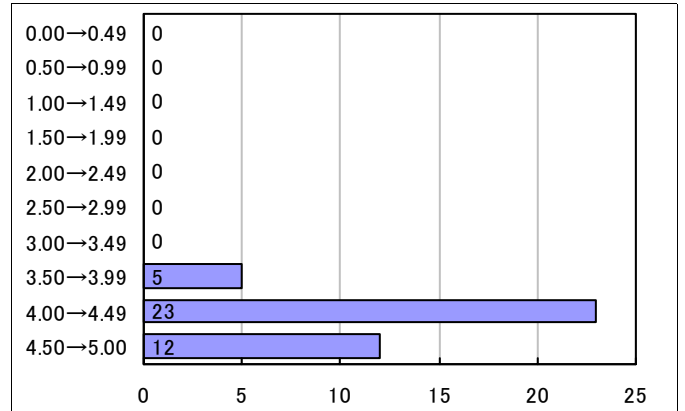
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



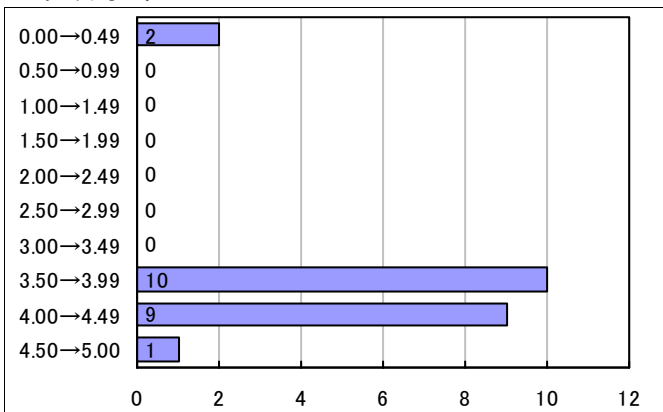
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・教育保育学科



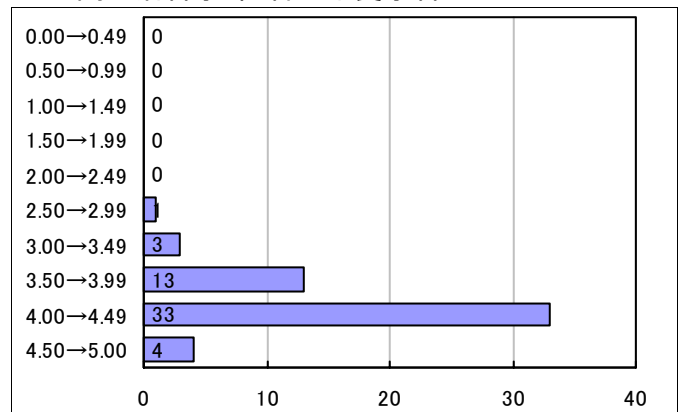
平均値 = 4.25

■経済学部



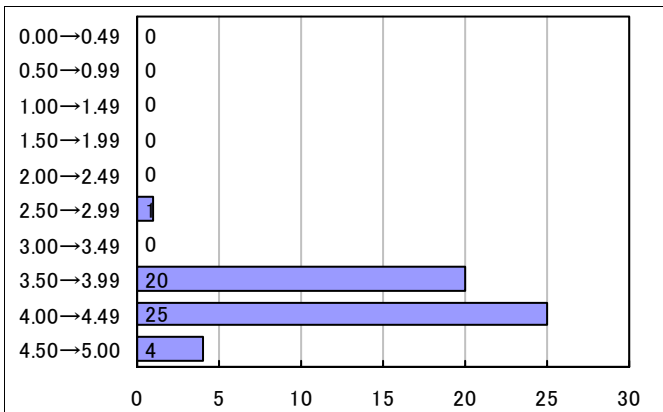
平均値 = 4.02

■人間生活科学部・管理栄養学科



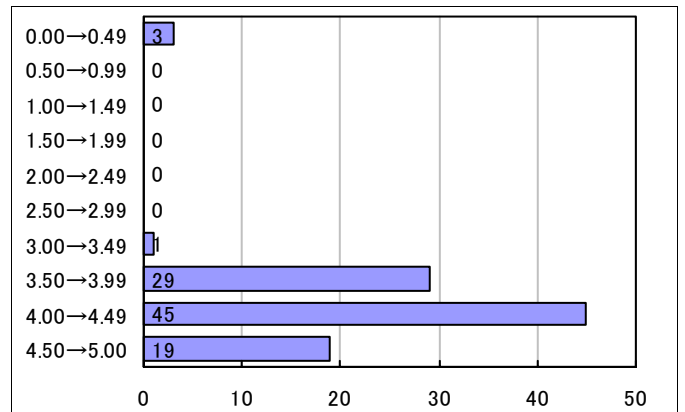
平均値 = 3.99

■経営学部



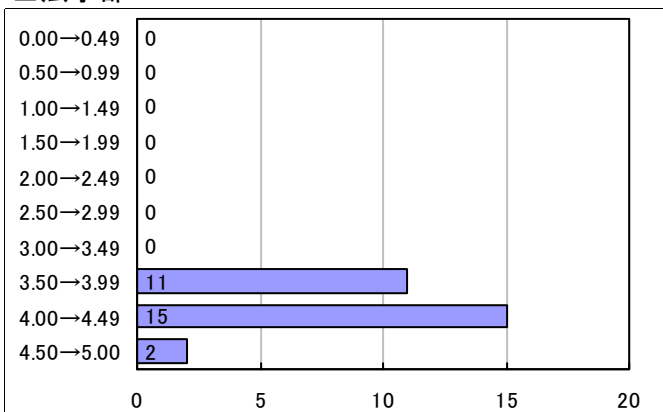
平均値 = 3.96

■非常勤



平均値 = 4.10

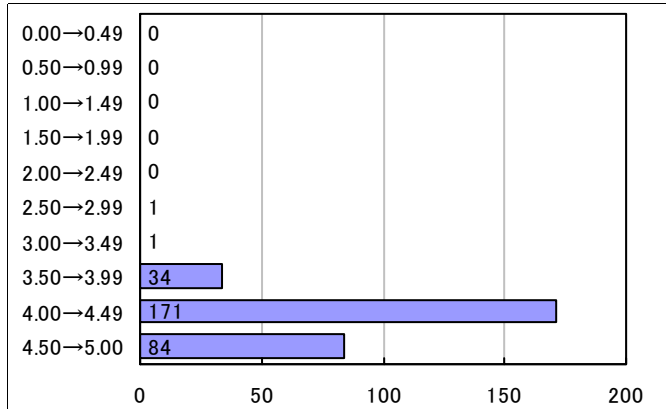
■法学部



平均値 = 4.08

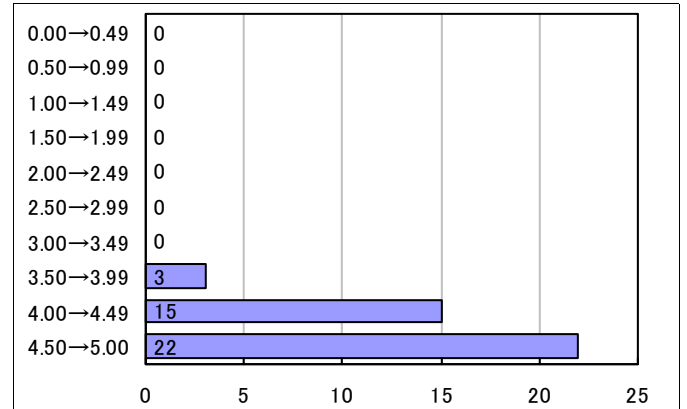
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



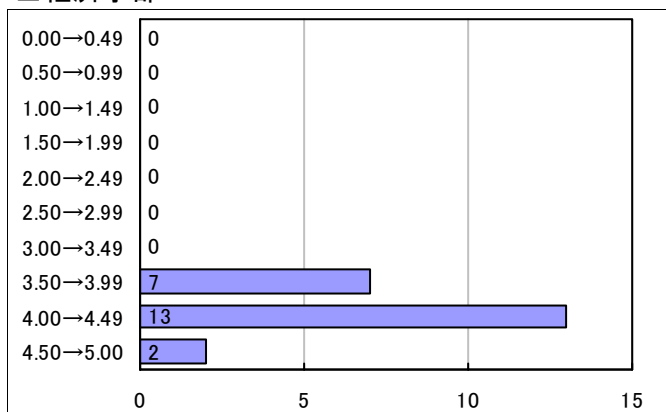
平均値 = 4.24

■人間生活科学部・教育保育学科



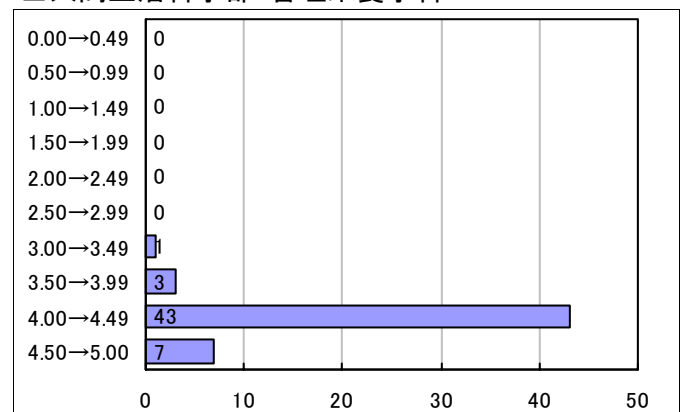
平均値 = 4.41

■経済学部



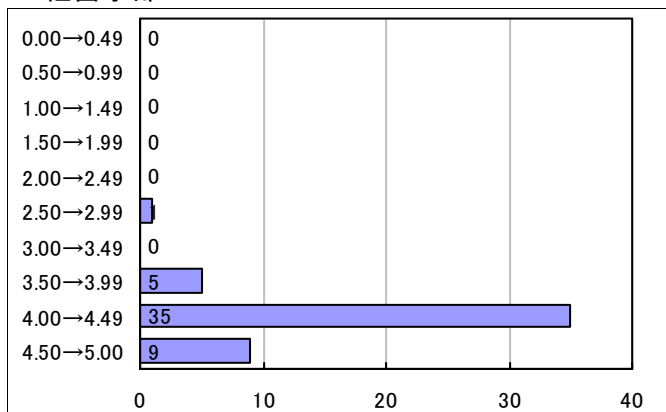
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



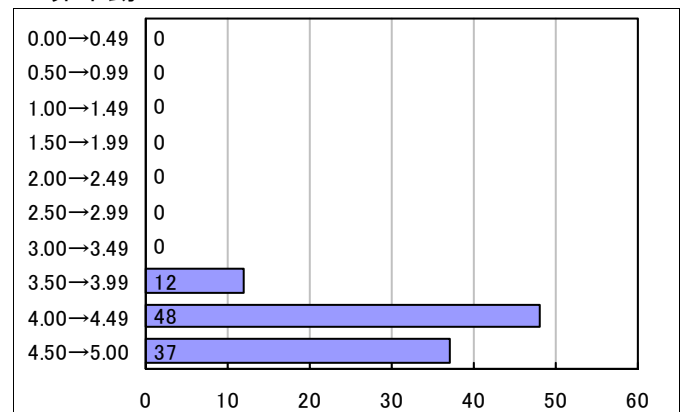
平均値 = 4.26

■経営学部



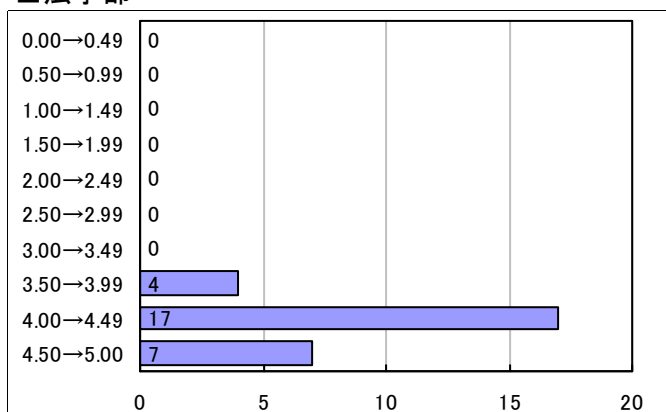
平均値 = 4.17

■非常勤



平均値 = 4.32

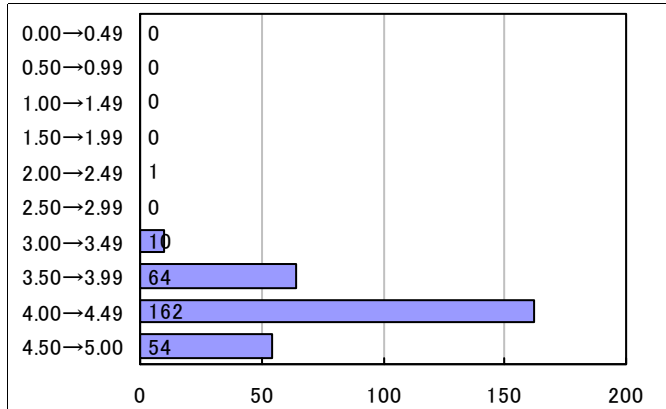
■法学部



平均値 = 4.22

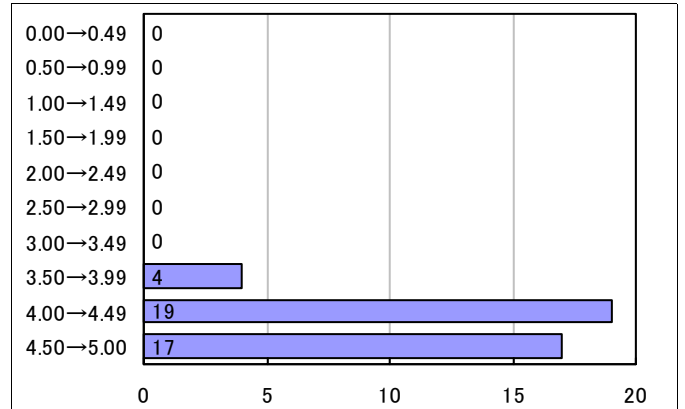
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



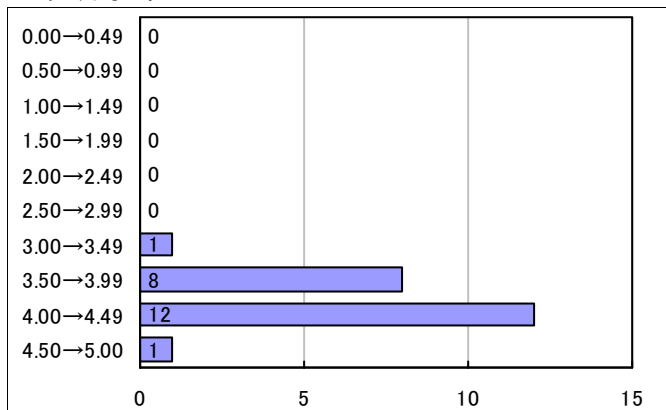
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・教育保育学科



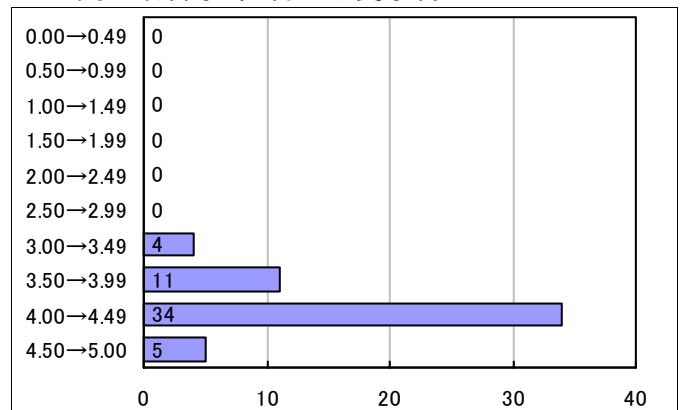
平均値 = 4.29

■経済学部



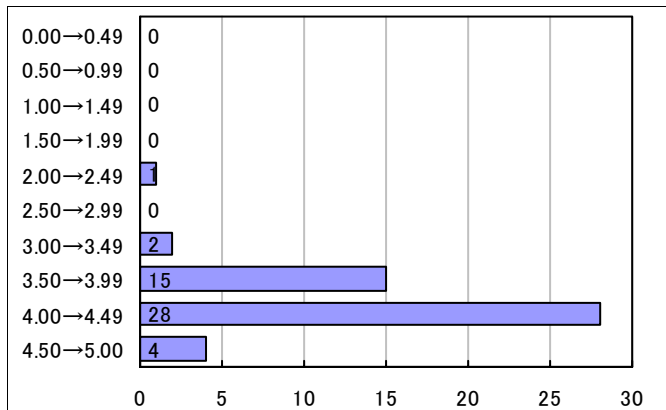
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



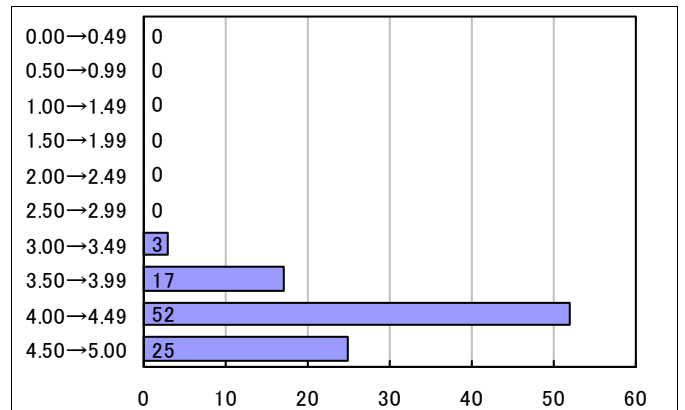
平均値 = 4.06

■経営学部



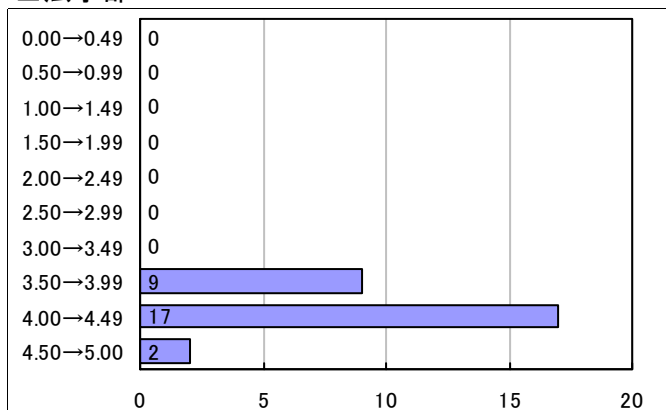
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 4.19

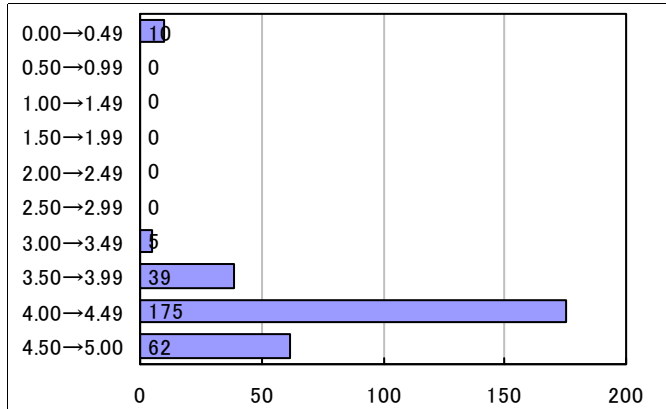
■法学部



平均値 = 4.07

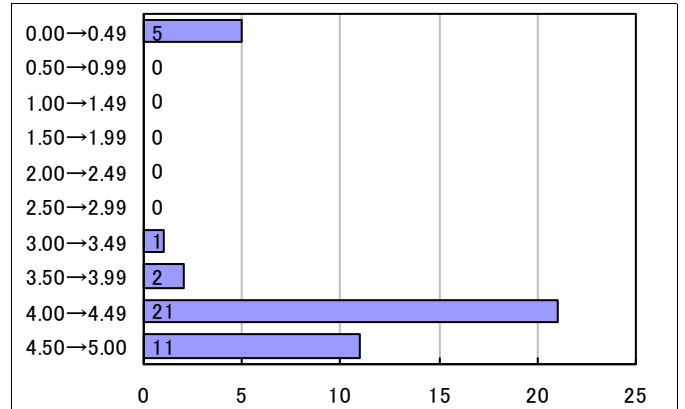
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



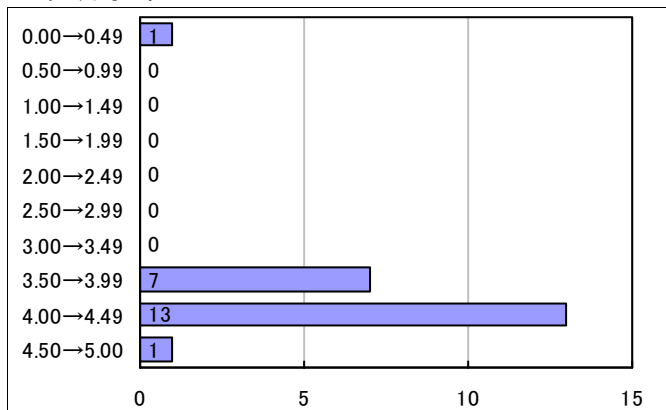
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・教育保育学科



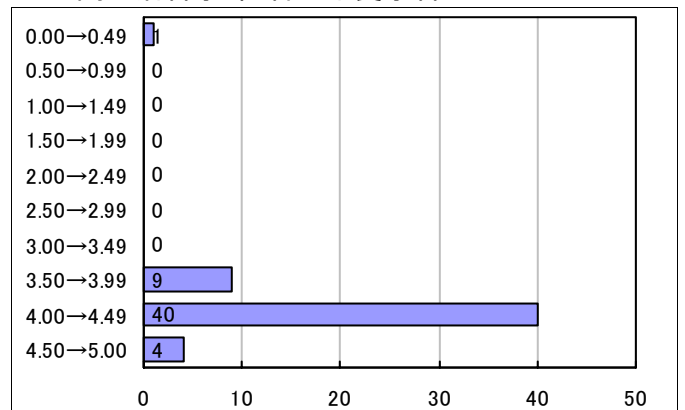
平均値 = 4.23

■経済学部



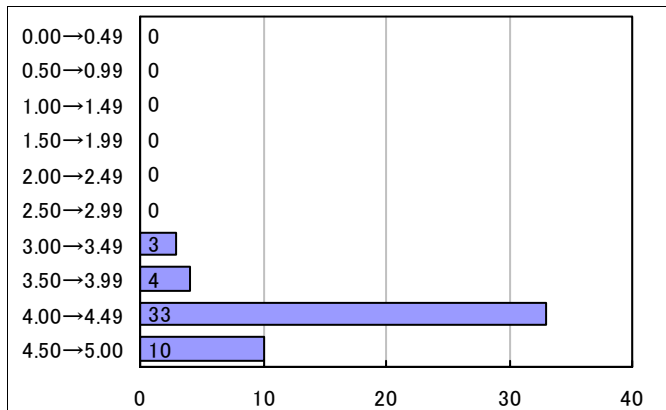
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



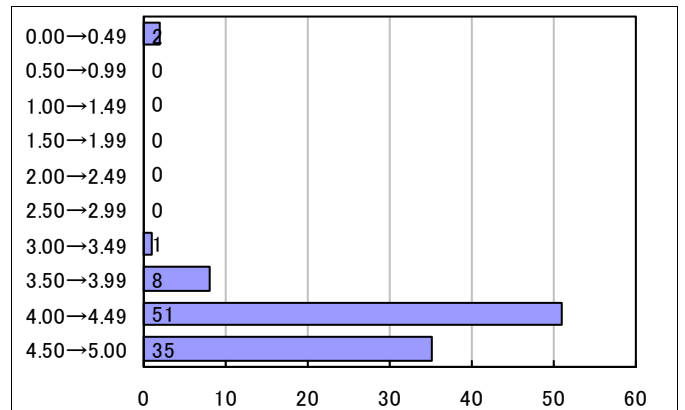
平均値 = 4.16

■経営学部



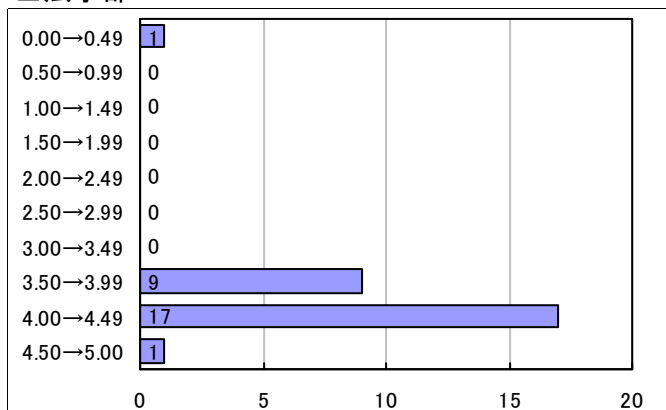
平均値 = 4.11

■非常勤



平均値 = 4.31

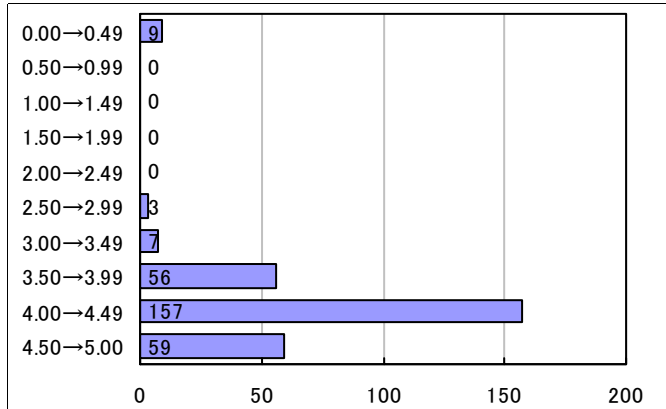
■法学部



平均値 = 4.13

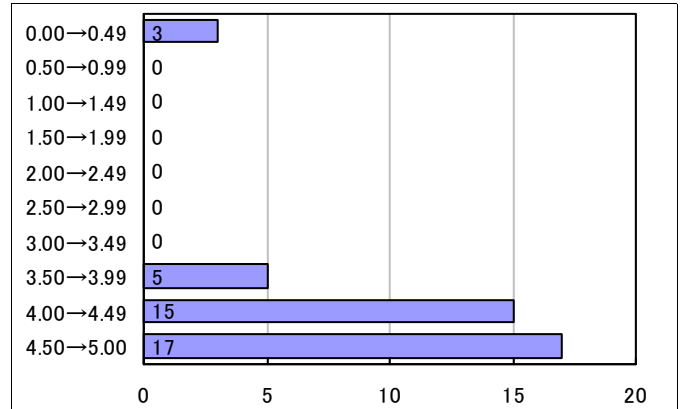
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



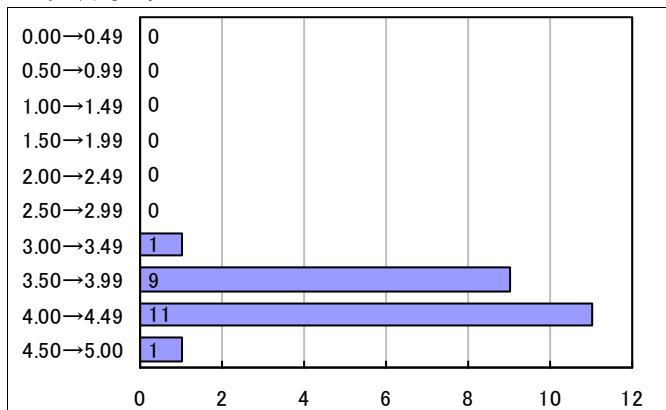
平均値 = 4.12

■人間生活科学部・教育保育学科



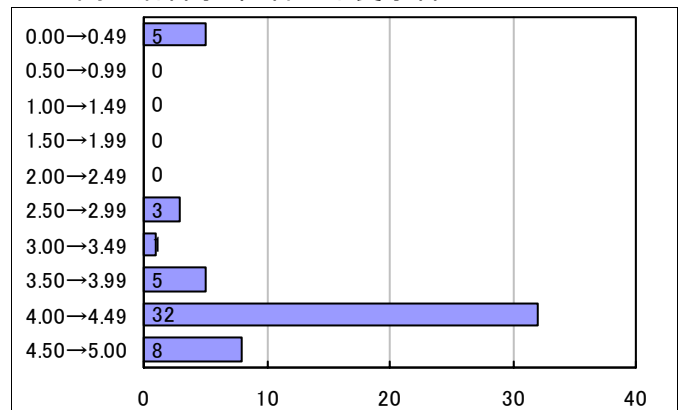
平均値 = 4.33

■経済学部



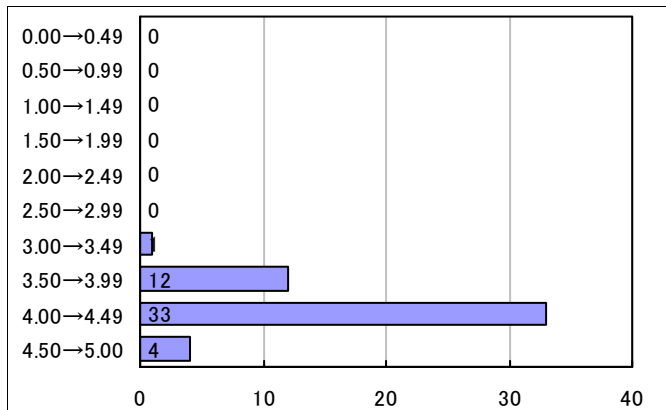
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・管理栄養学科



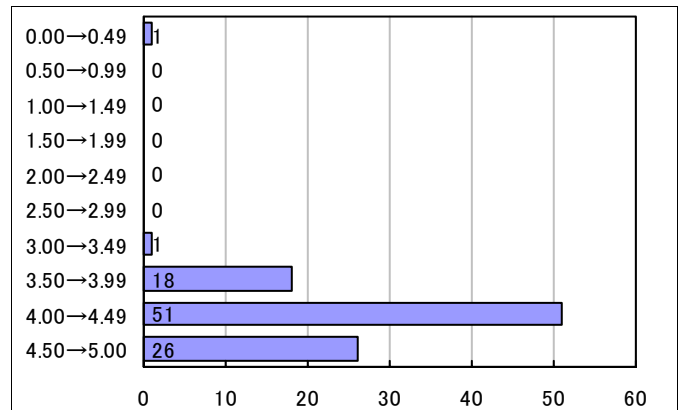
平均値 = 4.11

■経営学部



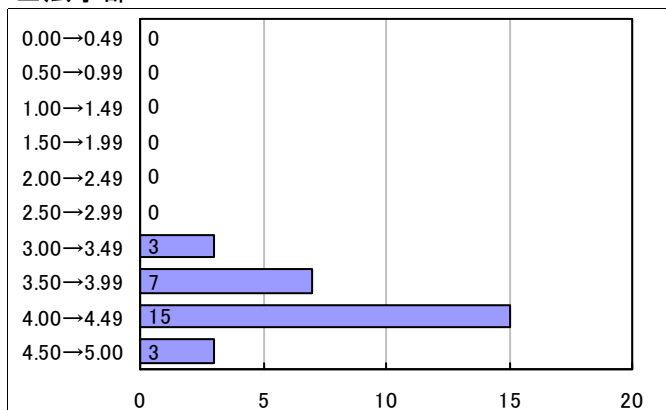
平均値 = 4.09

■非常勤



平均値 = 4.22

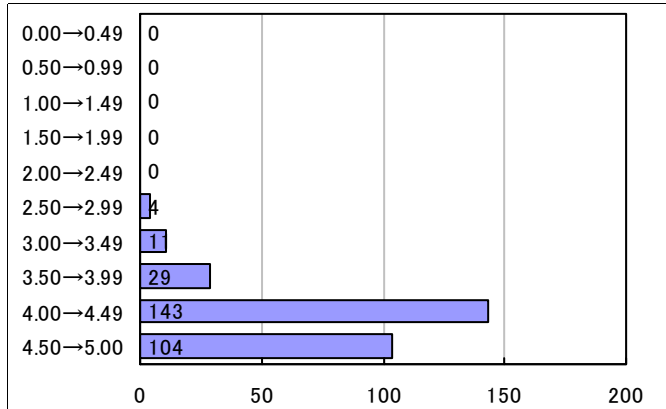
■法学部



平均値 = 4.04

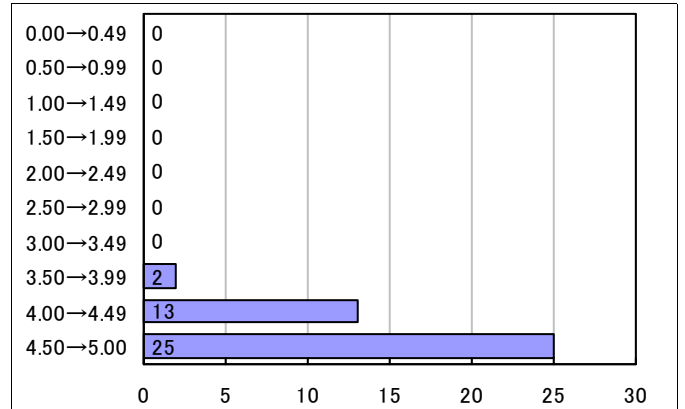
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



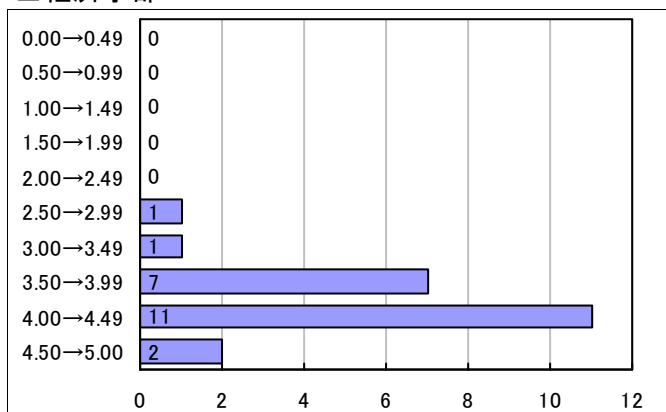
平均値 = 4.22

■人間生活科学部・教育保育学科



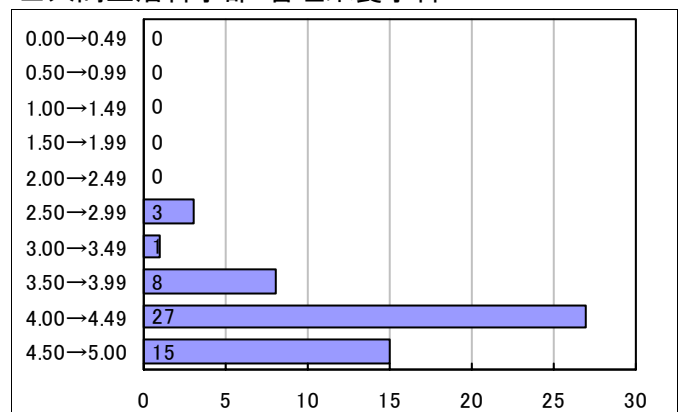
平均値 = 4.40

■経済学部



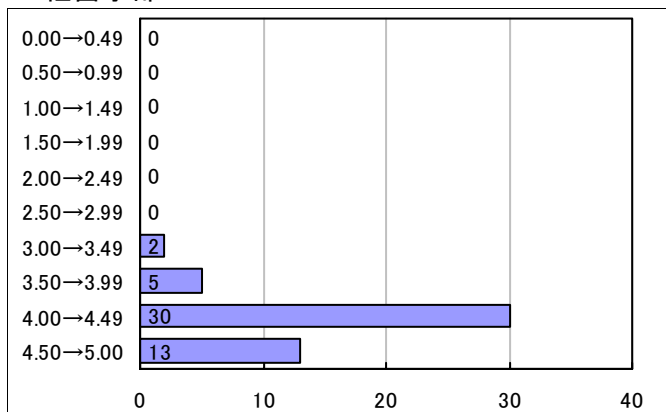
平均値 = 4.13

■人間生活科学部・管理栄養学科



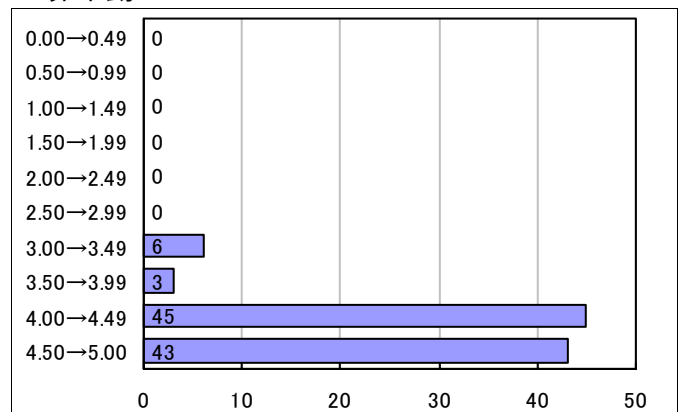
平均値 = 4.18

■経営学部



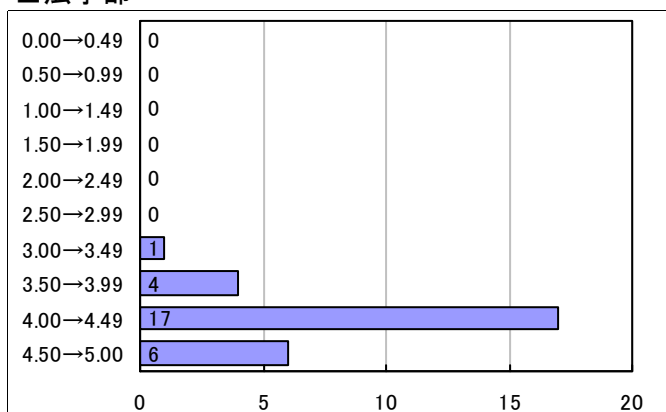
平均値 = 4.17

■非常勤



平均値 = 4.31

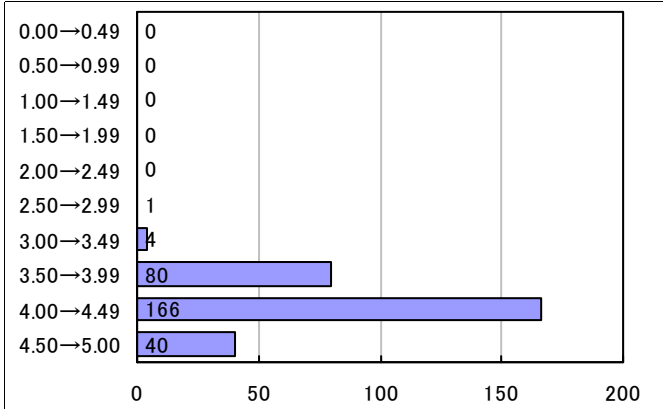
■法学部



平均値 = 4.21

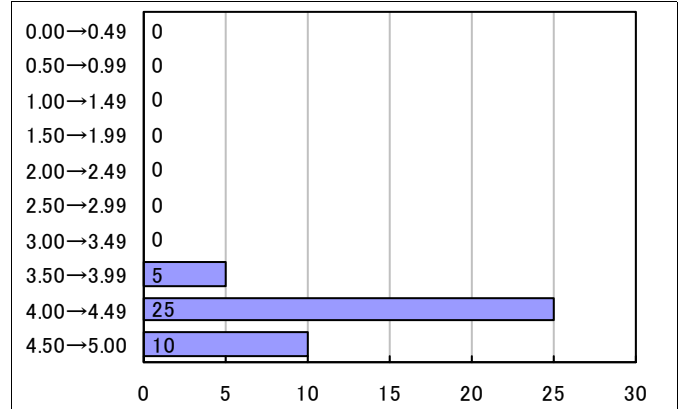
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



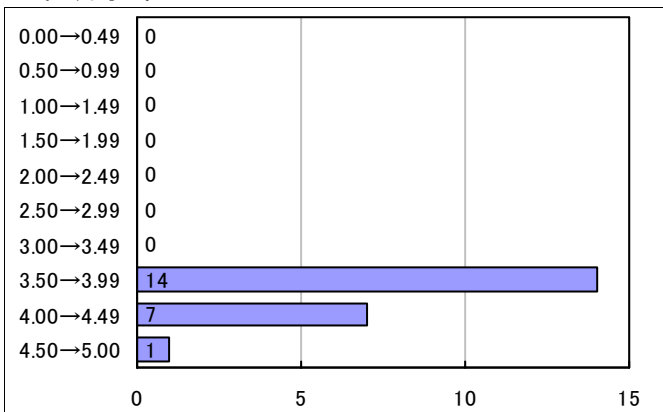
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・教育保育学科



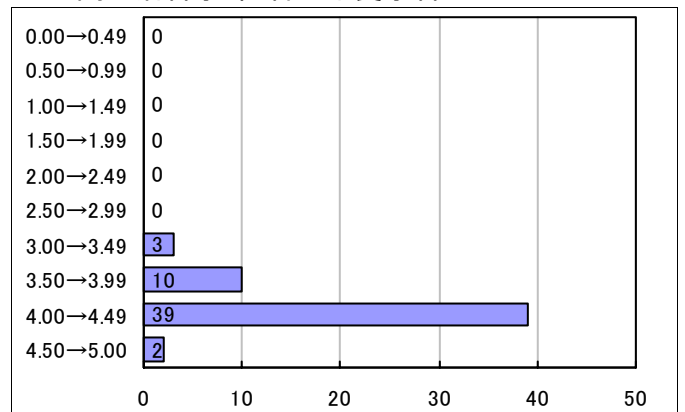
平均値 = 4.26

■経済学部



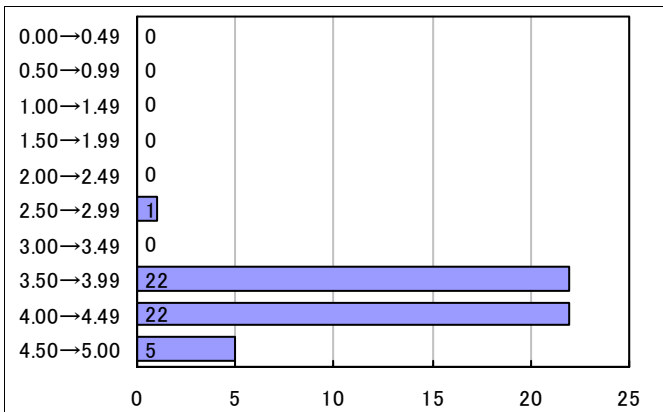
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



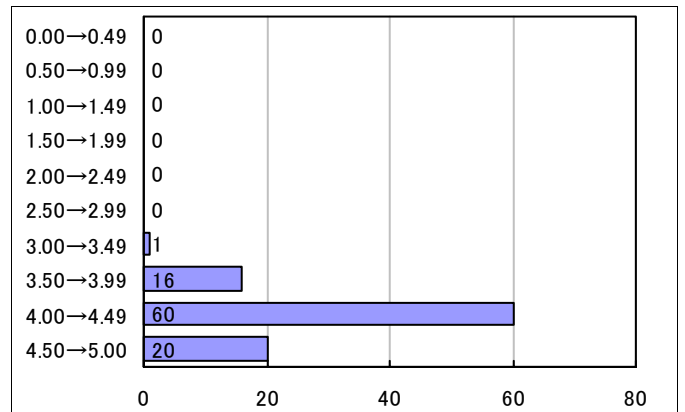
平均値 = 4.11

■経営学部



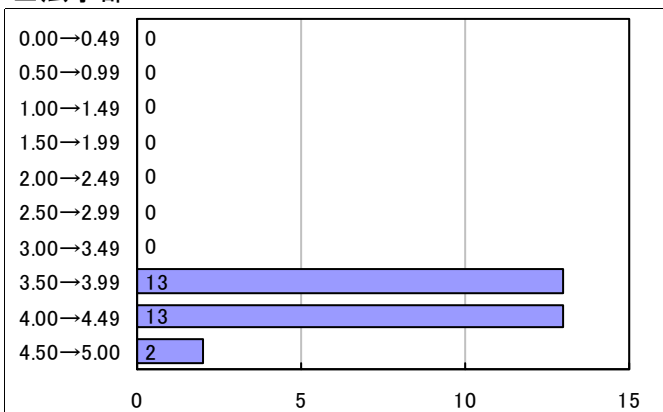
平均値 = 3.97

■非常勤



平均値 = 4.14

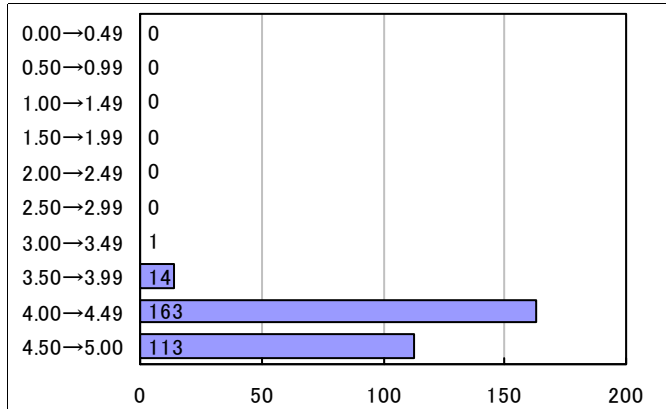
■法学部



平均値 = 4.00

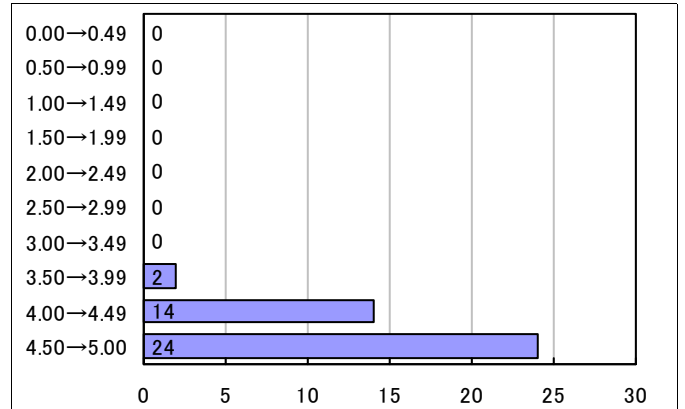
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



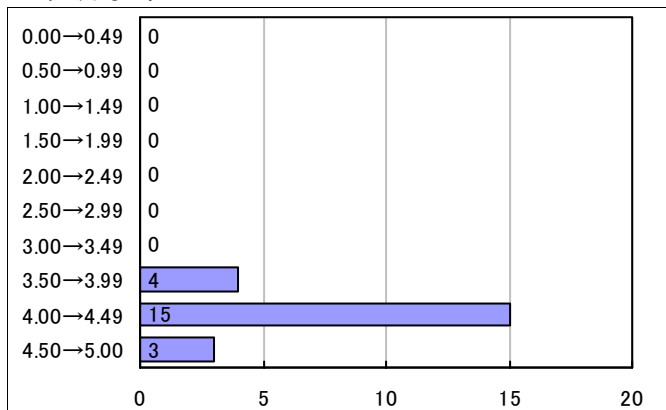
平均値 = 4.33

■人間生活科学部・教育保育学科



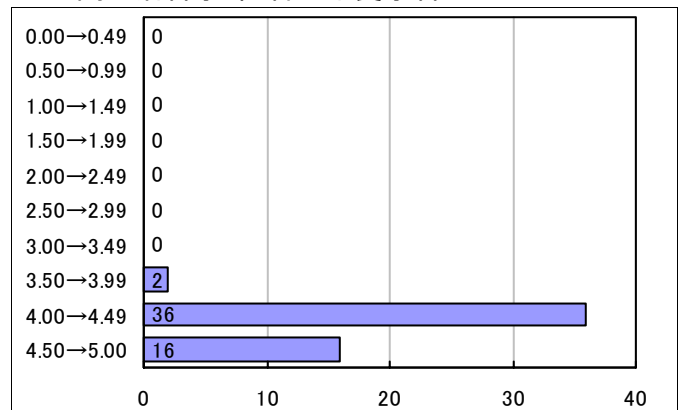
平均値 = 4.44

■経済学部



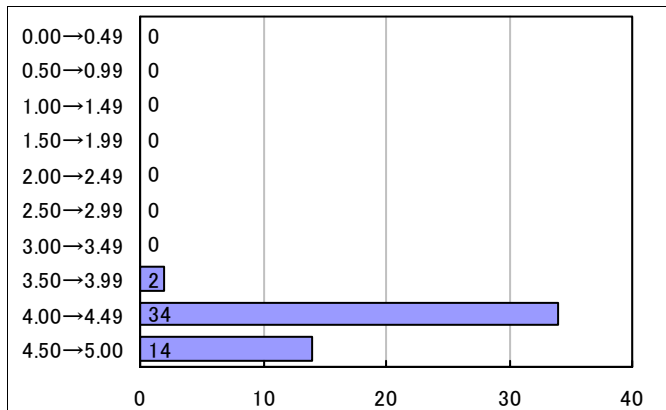
平均値 = 4.25

■人間生活科学部・管理栄養学科



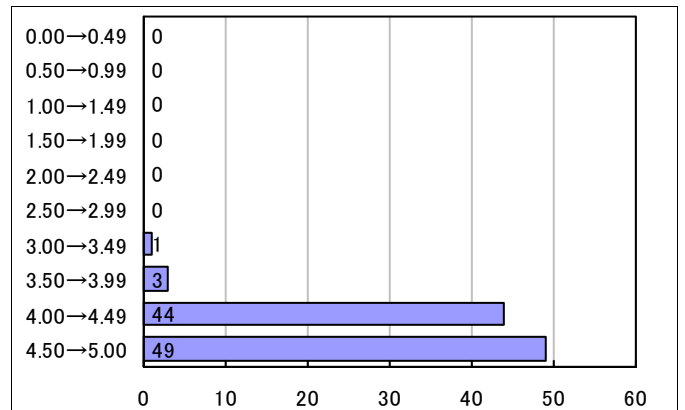
平均値 = 4.37

■経営学部



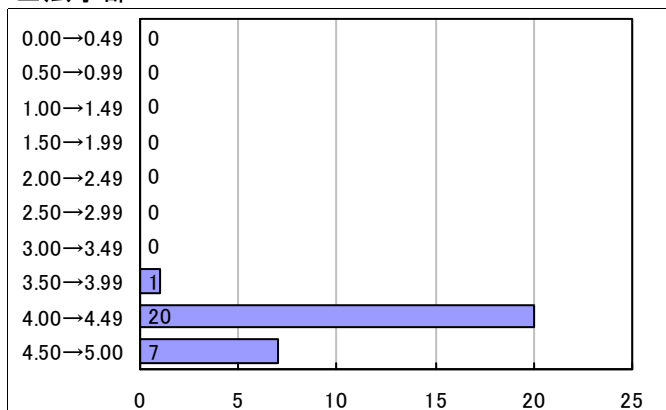
平均値 = 4.29

■非常勤



平均値 = 4.42

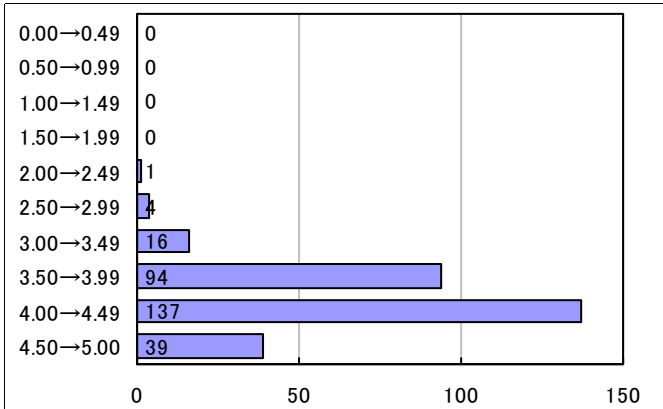
■法学部



平均値 = 4.29

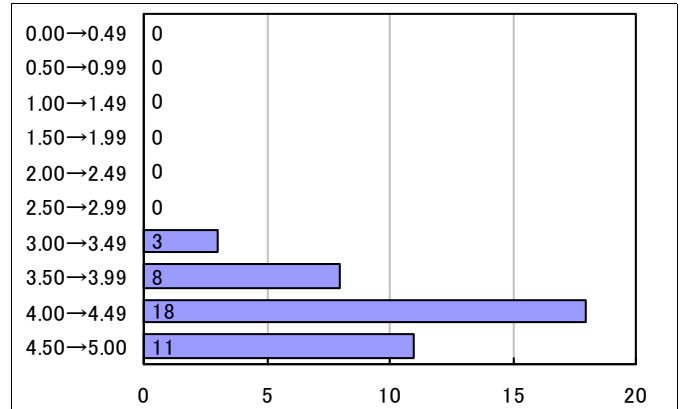
●13.この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか

■全体



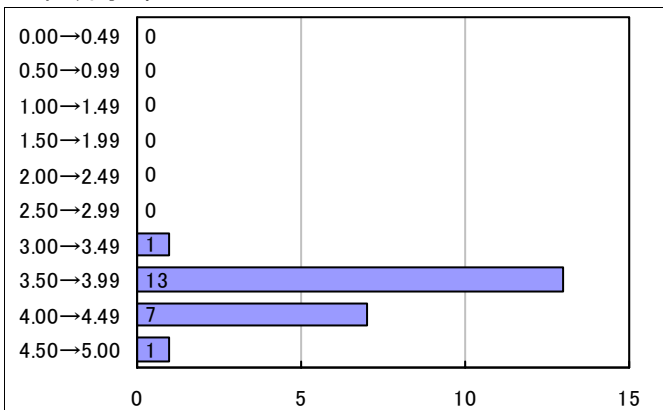
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・教育保育学科



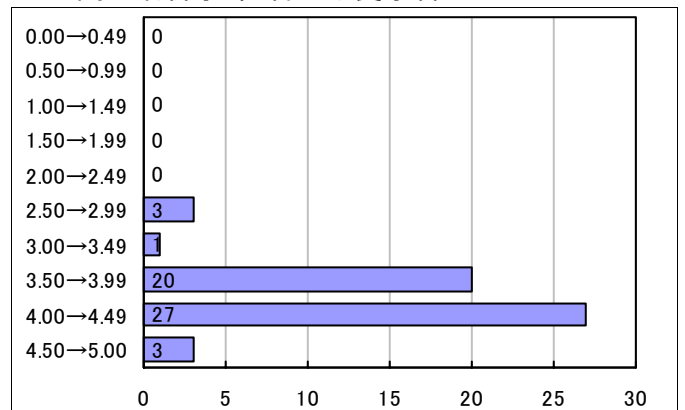
平均値 = 4.07

■経済学部



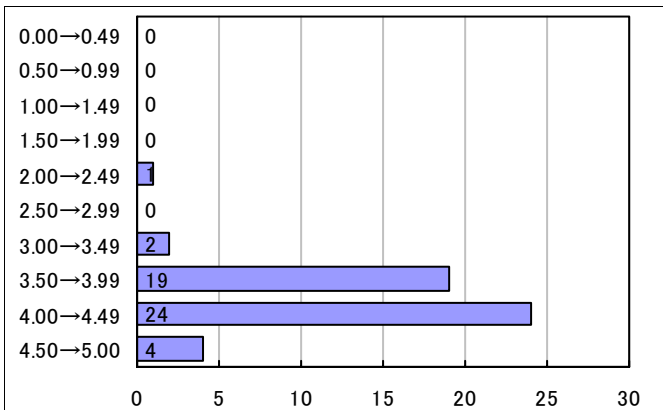
平均値 = 3.92

■人間生活科学部・管理栄養学科



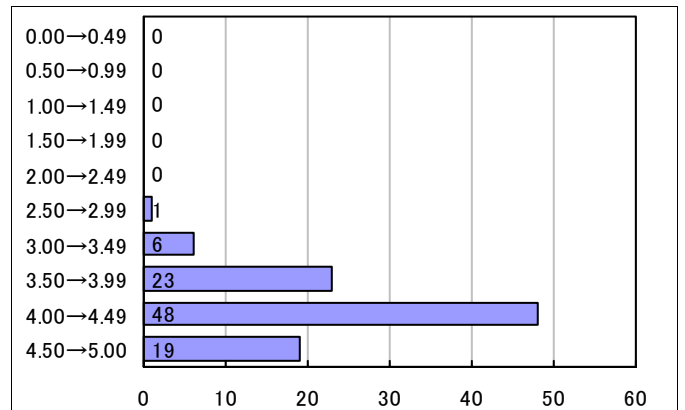
平均値 = 3.92

■経営学部



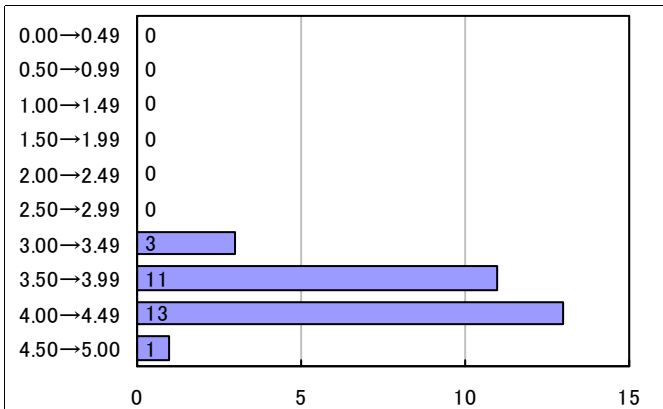
平均値 = 3.87

■非常勤



平均値 = 4.07

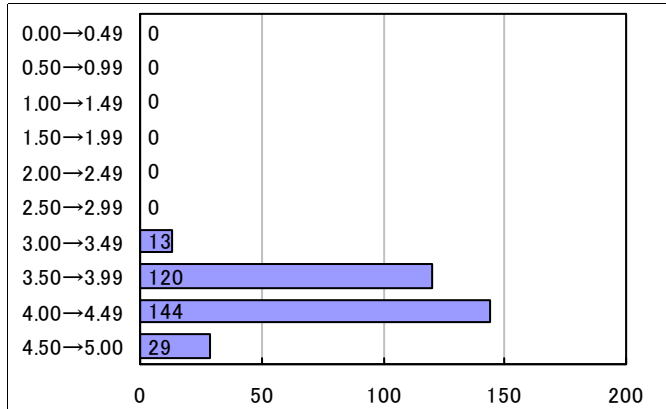
■法学部



平均値 = 3.95

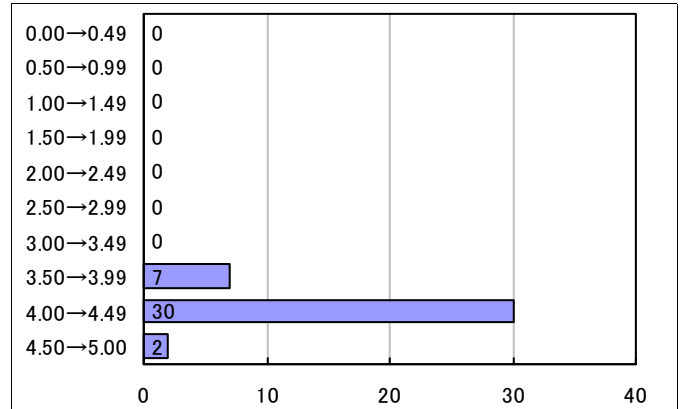
●1.あなたはこの授業によく出席しましたか

■全体



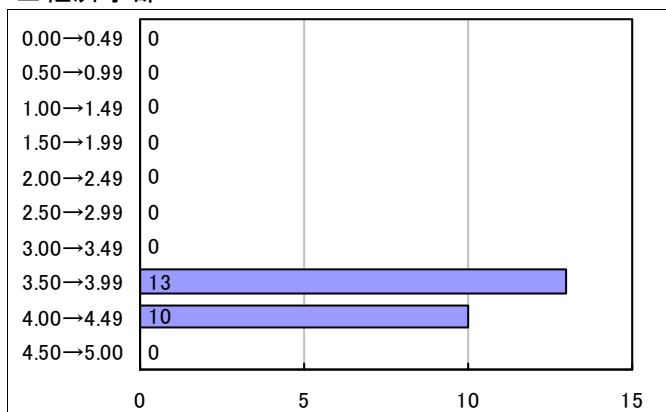
平均値 = 4.03

■人間生活科学部・教育保育学科



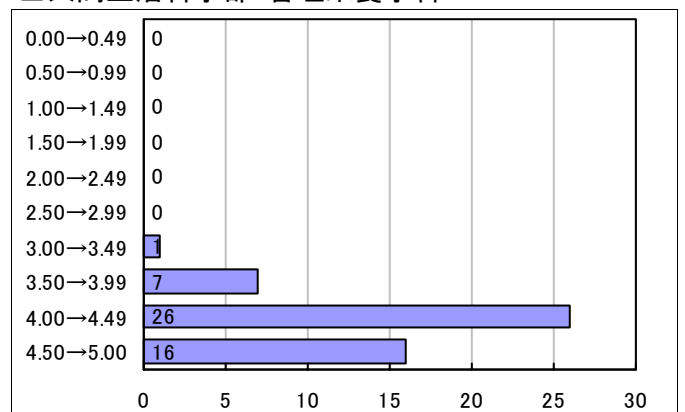
平均値 = 4.13

■経済学部



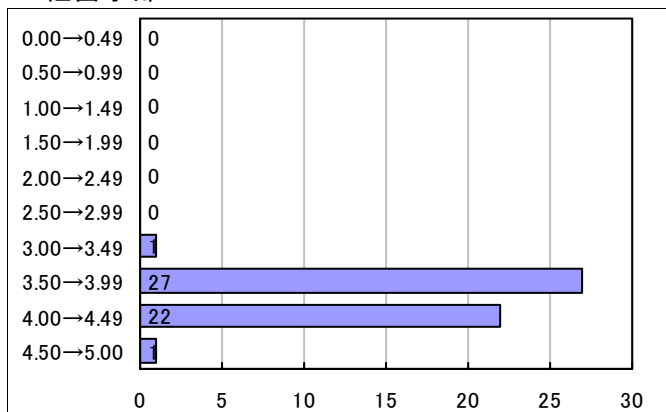
平均値 = 3.95

■人間生活科学部・管理栄養学科



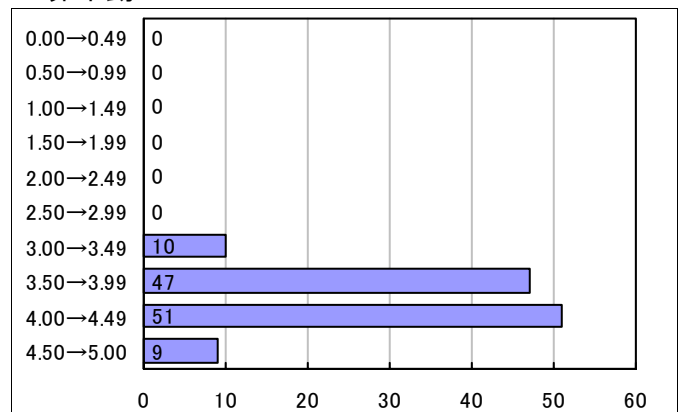
平均値 = 4.35

■経営学部



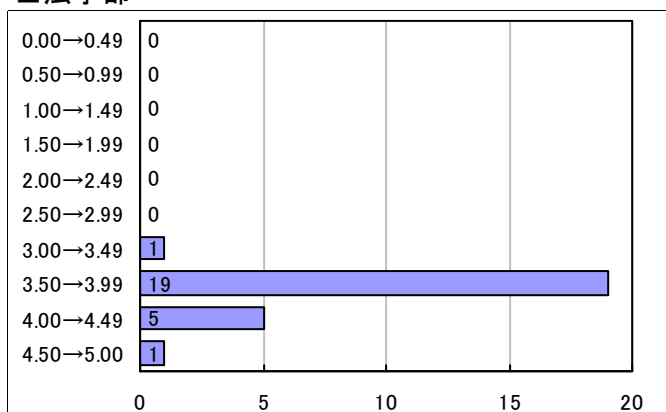
平均値 = 3.96

■非常勤



平均値 = 4.00

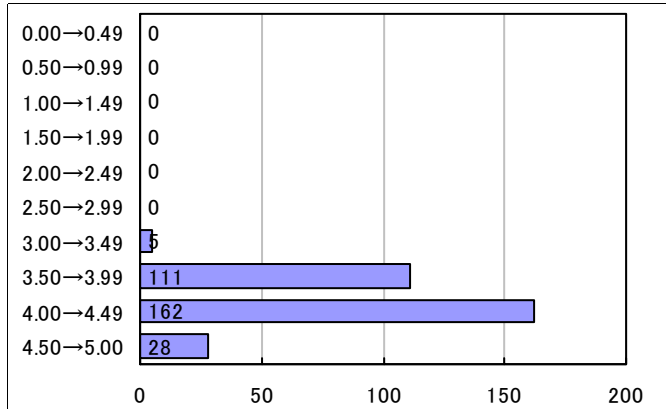
■法学部



平均値 = 3.89

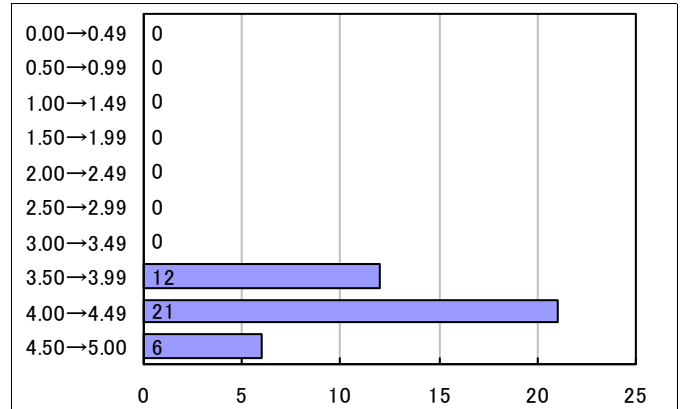
●2.あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか

■全体



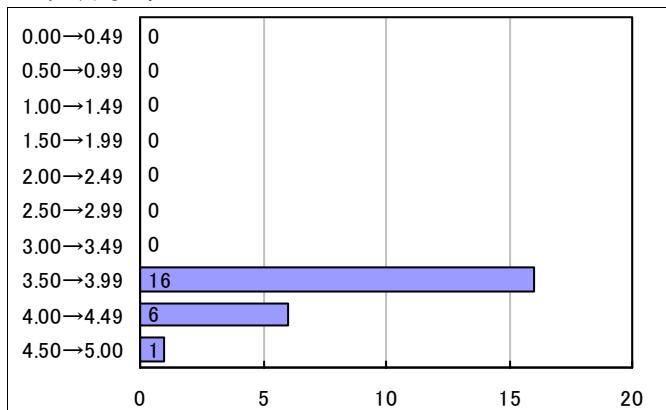
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・教育保育学科



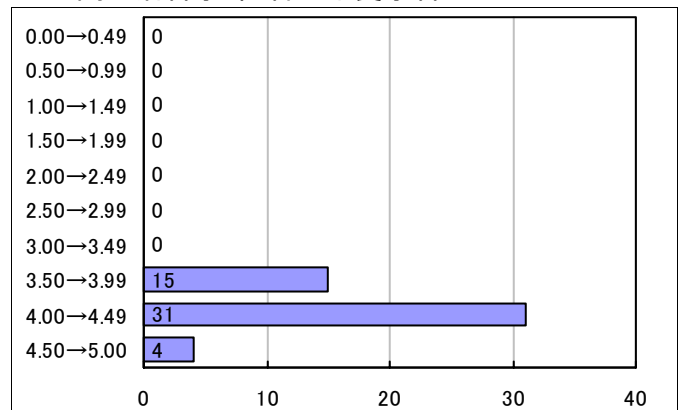
平均値 = 4.09

■経済学部



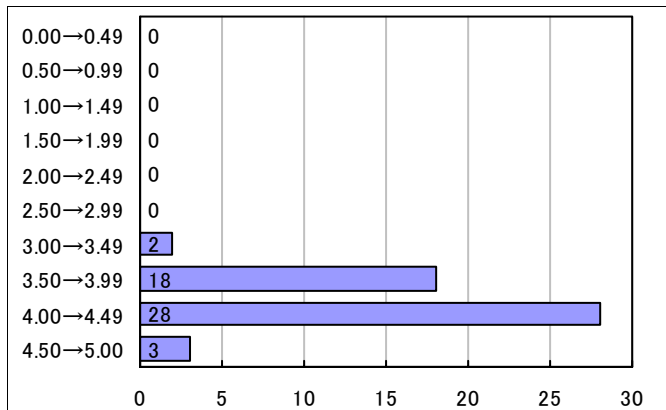
平均値 = 3.86

■人間生活科学部・管理栄養学科



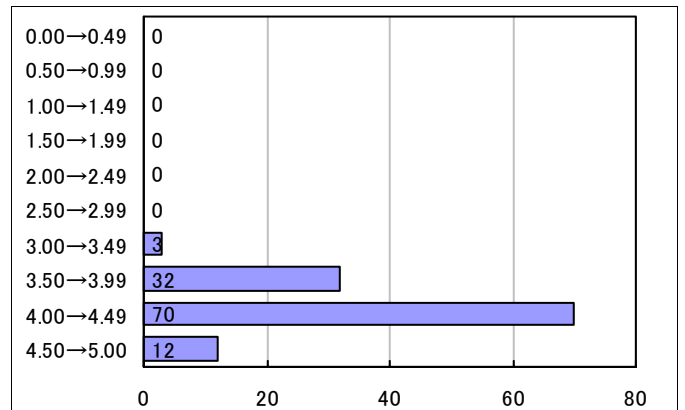
平均値 = 4.06

■経営学部



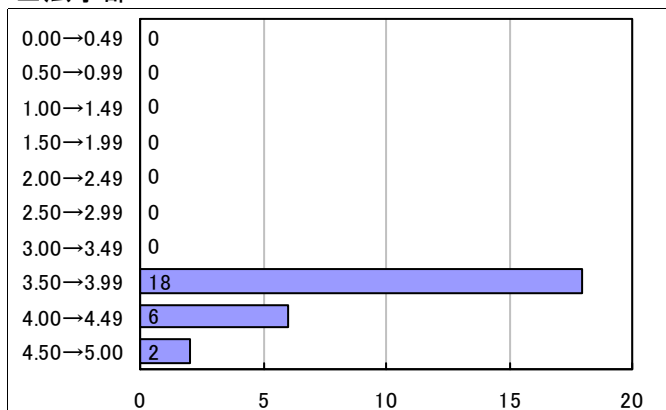
平均値 = 3.93

■非常勤



平均値 = 4.08

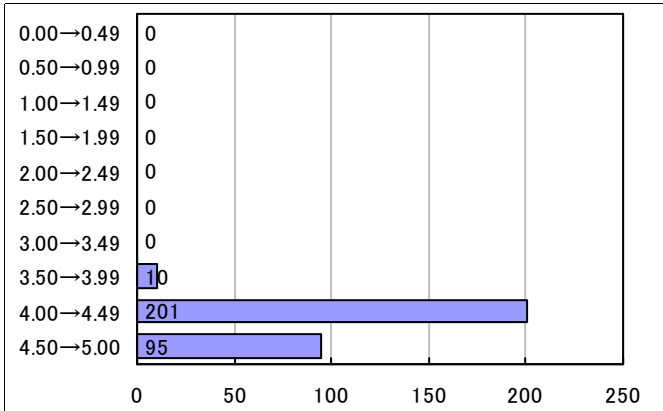
■法学部



平均値 = 3.85

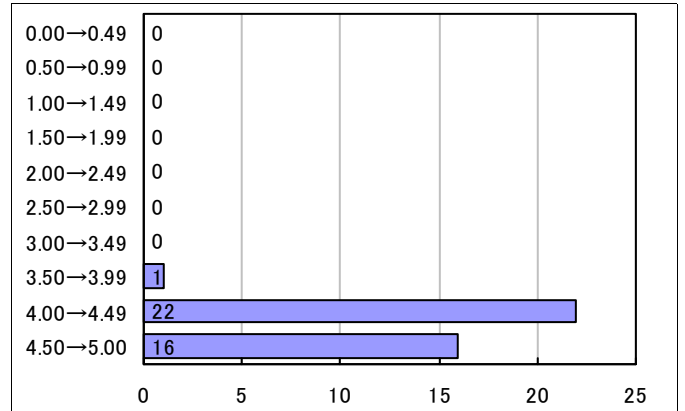
●3.この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答するこ

■全体



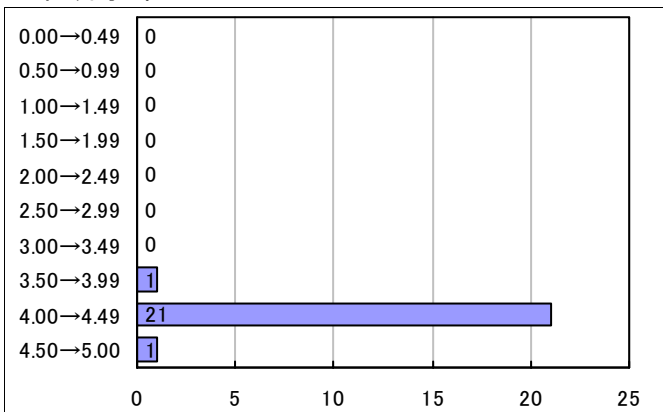
平均値 = 4.32

■人間生活科学部・教育保育学科



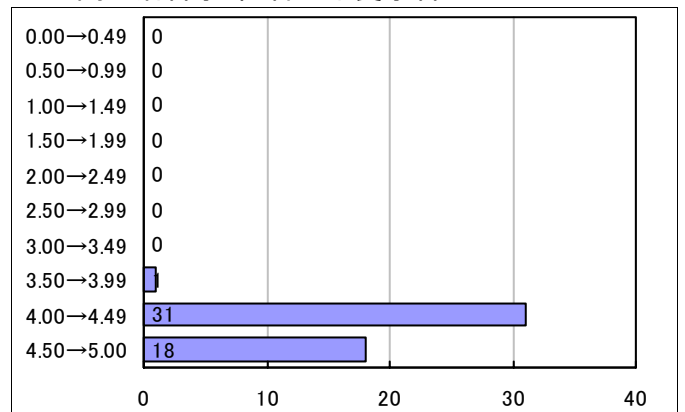
平均値 = 4.44

■経済学部



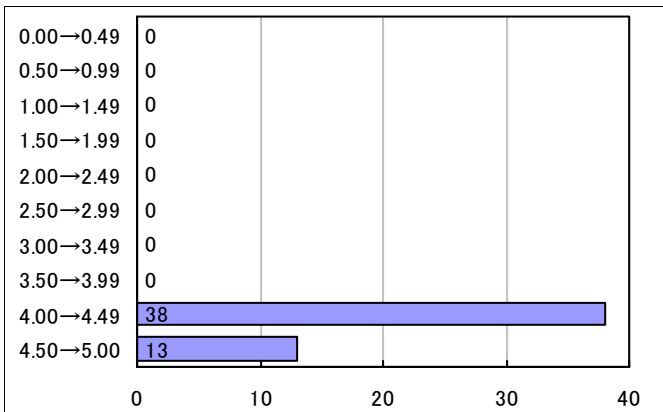
平均値 = 4.23

■人間生活科学部・管理栄養学科



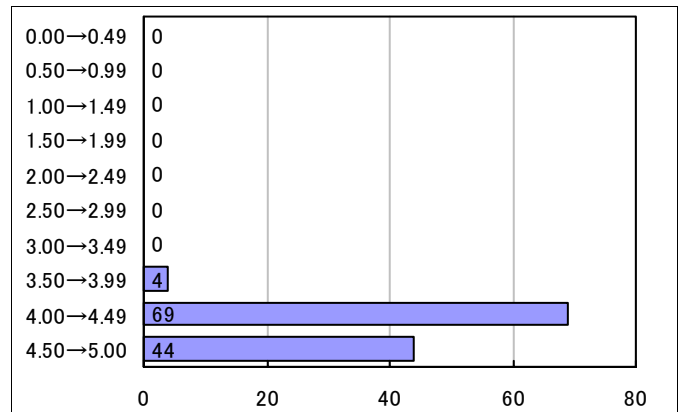
平均値 = 4.43

■経営学部



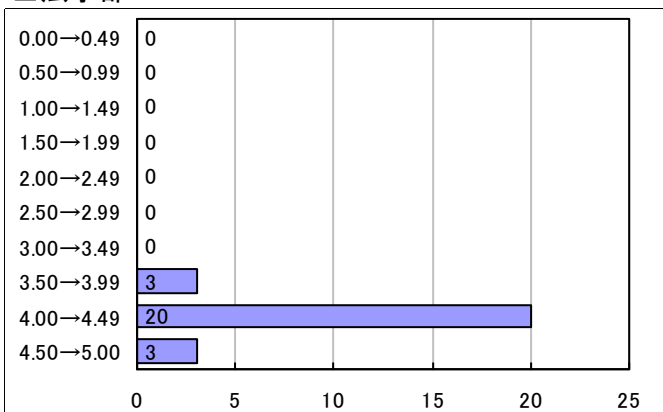
平均値 = 4.32

■非常勤



平均値 = 4.39

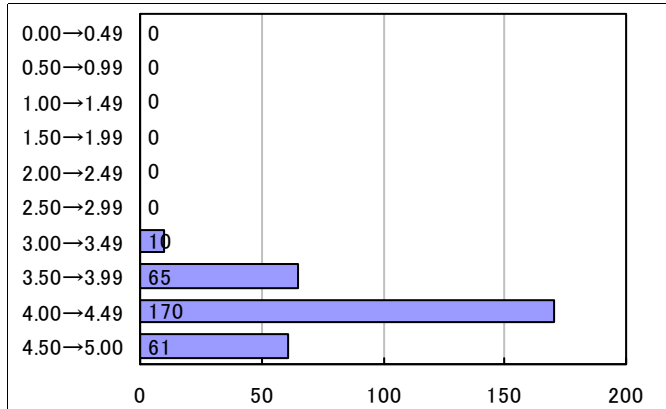
■法学部



平均値 = 4.21

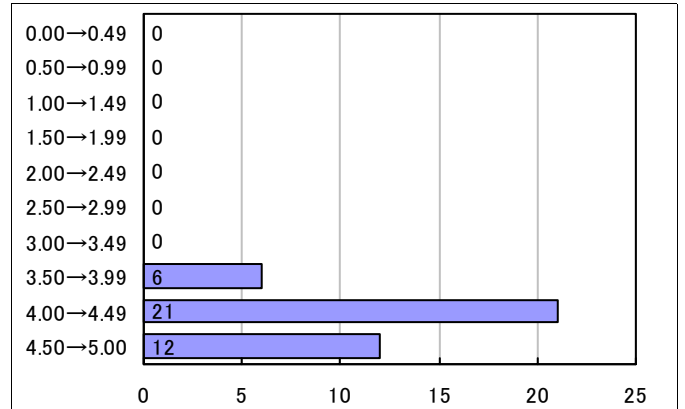
●4.授業内容はわかりやすかったですか

■全体



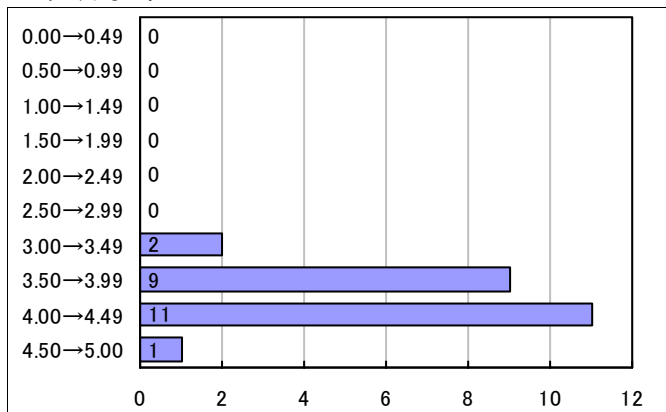
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・教育保育学科



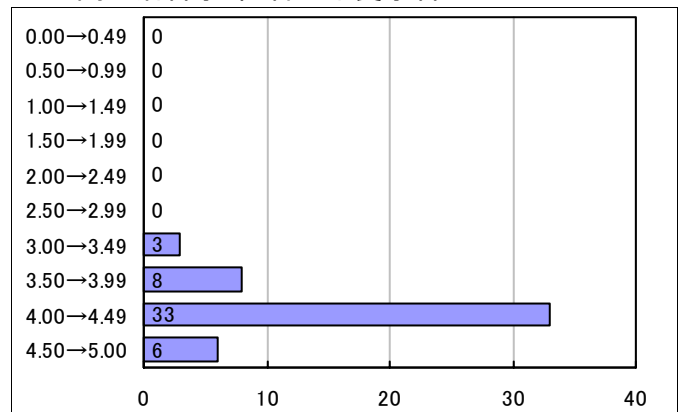
平均値 = 4.32

■経済学部



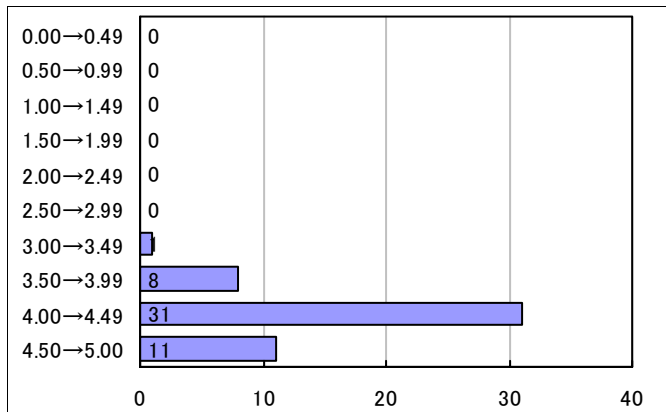
平均値 = 3.98

■人間生活科学部・管理栄養学科



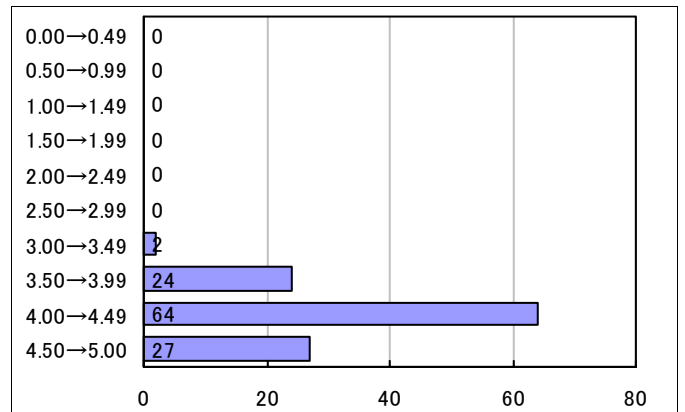
平均値 = 4.16

■経営学部



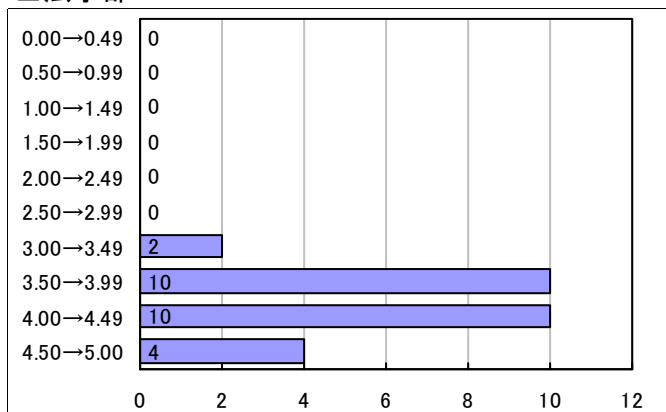
平均値 = 4.19

■非常勤



平均値 = 4.22

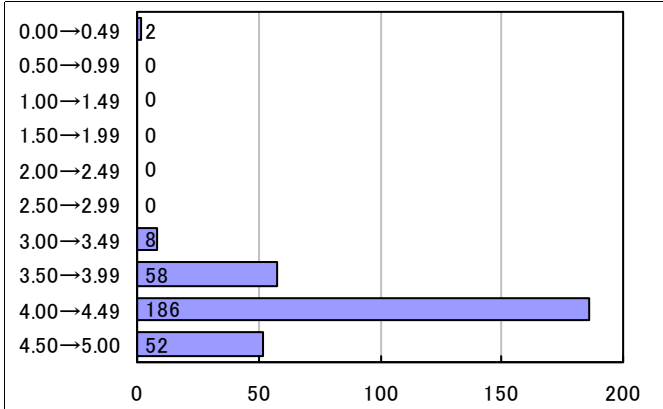
■法学部



平均値 = 4.02

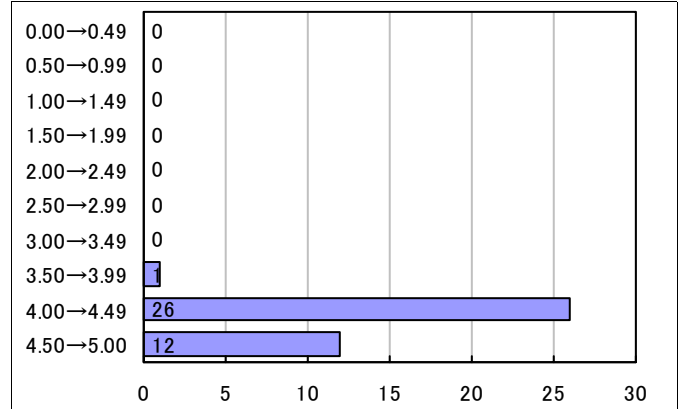
●5.この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

■全体



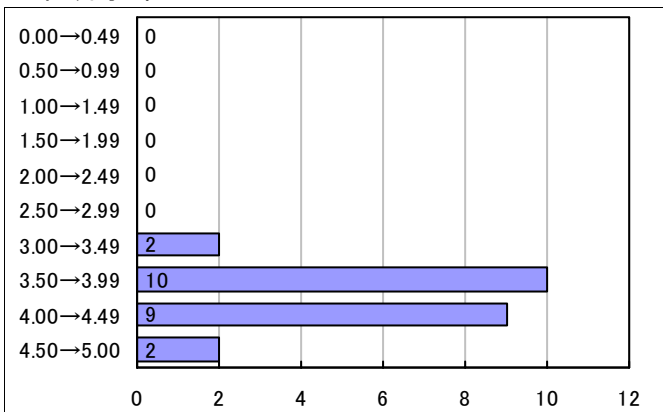
平均値 = 4.12

■人間生活科学部・教育保育学科



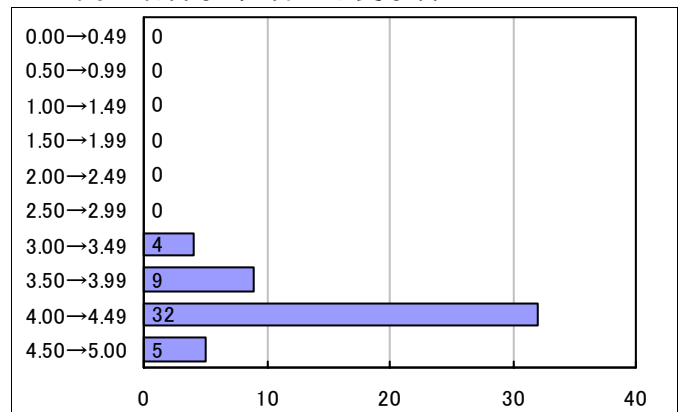
平均値 = 4.35

■経済学部



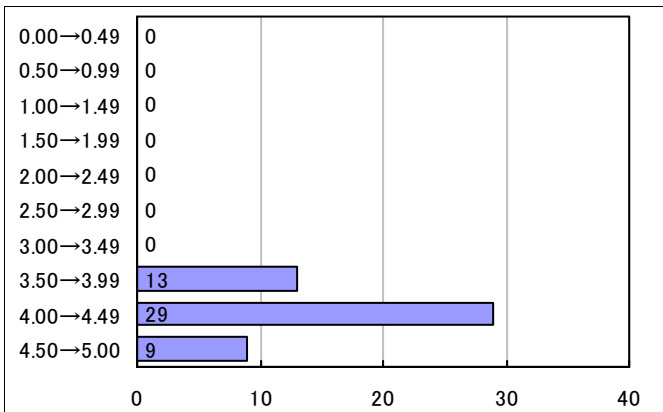
平均値 = 3.96

■人間生活科学部・管理栄養学科



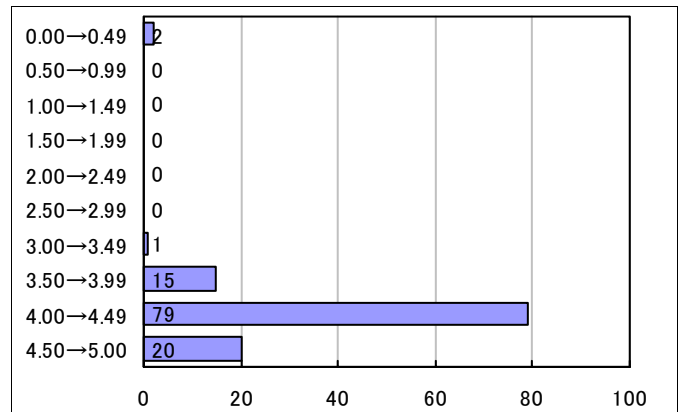
平均値 = 4.14

■経営学部



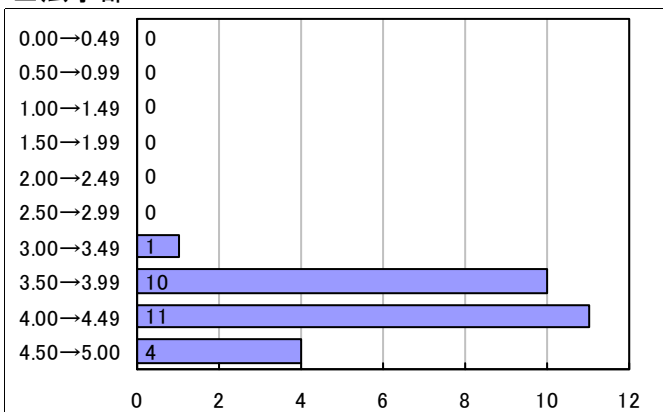
平均値 = 4.10

■非常勤



平均値 = 4.19

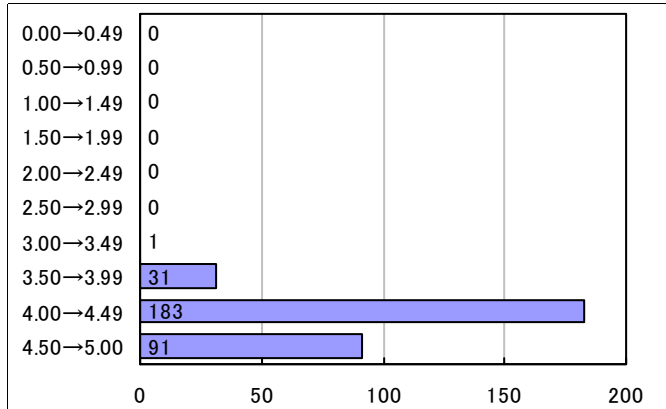
■法学部



平均値 = 4.03

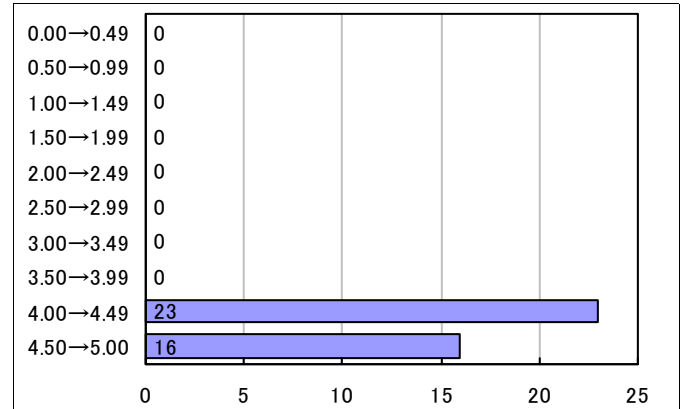
●6.教員の教え方には熱意があったと思いますか

■全体



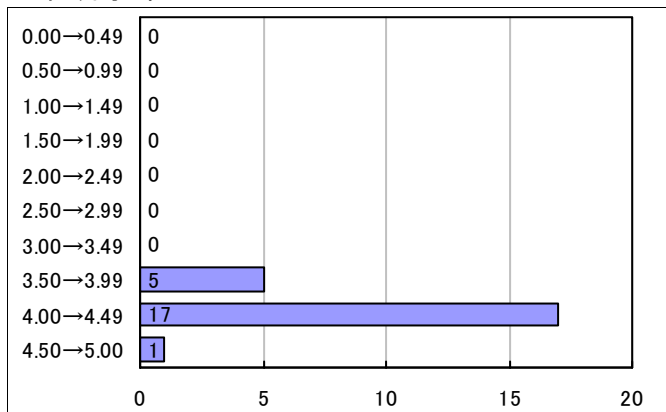
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・教育保育学科



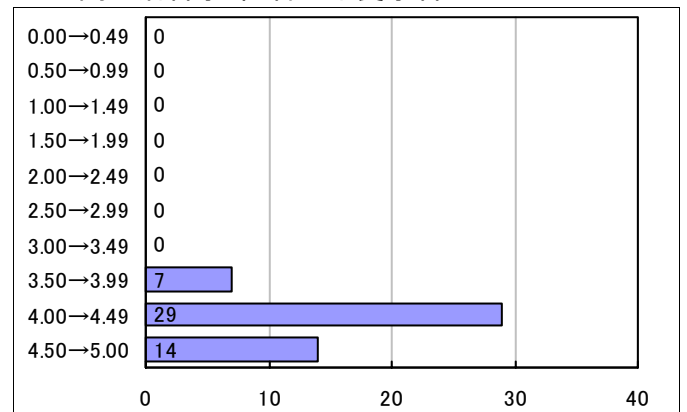
平均値 = 4.48

■経済学部



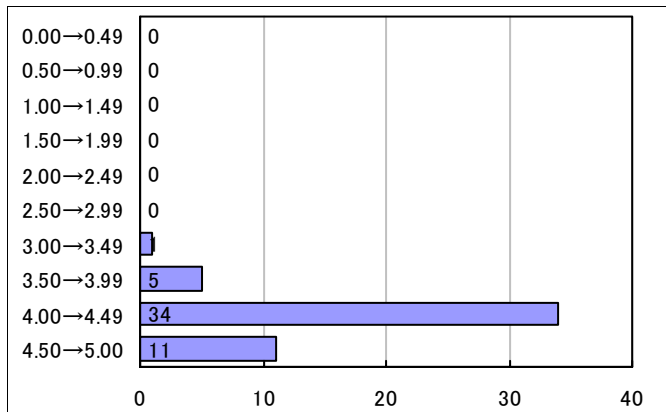
平均値 = 4.11

■人間生活科学部・管理栄養学科



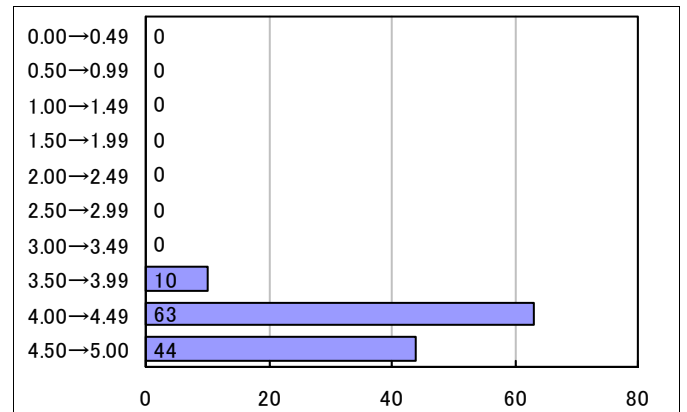
平均値 = 4.32

■経営学部



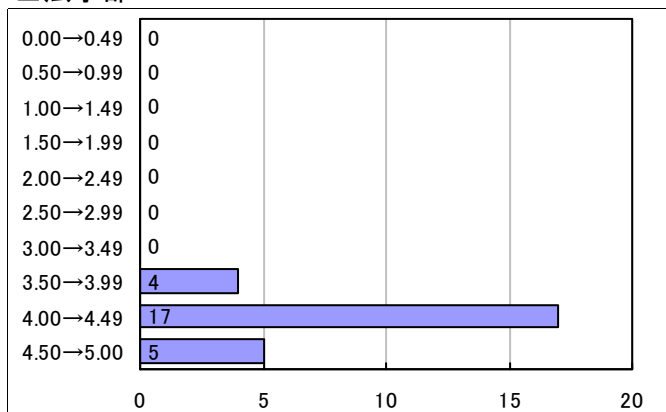
平均値 = 4.25

■非常勤



平均値 = 4.34

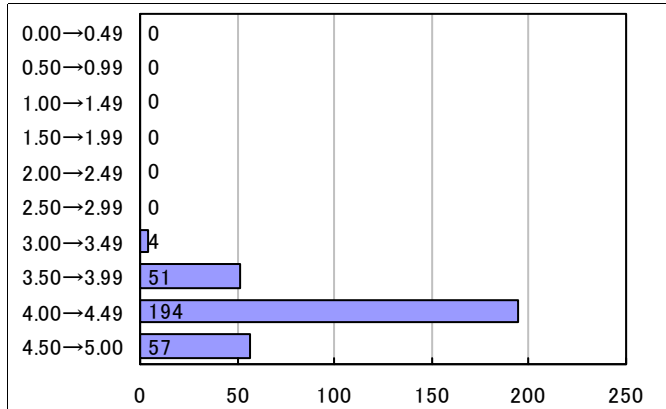
■法学部



平均値 = 4.18

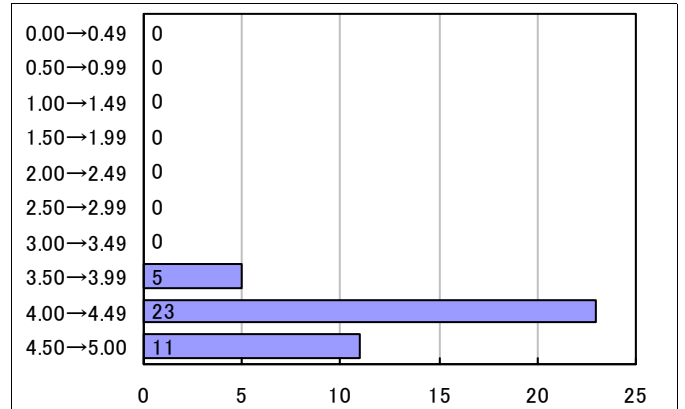
●7.授業の速さや進め方は適切だったと思いますか

■全体



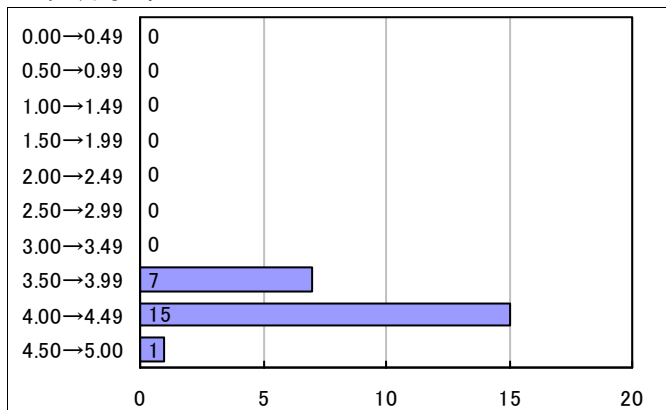
平均値 = 4.17

■人間生活科学部・教育保育学科



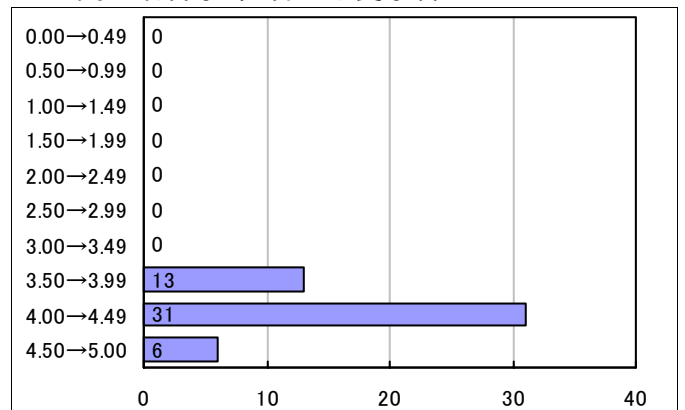
平均値 = 4.33

■経済学部



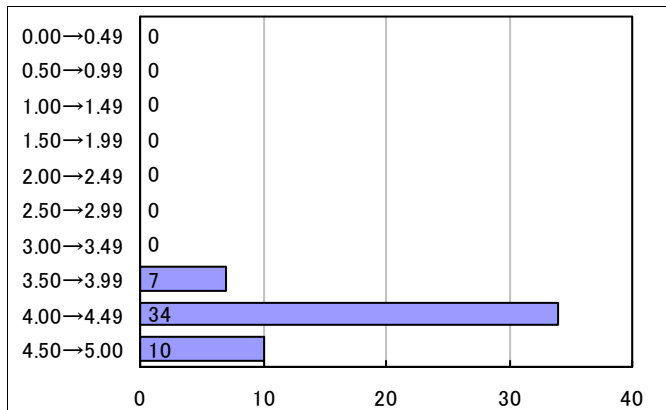
平均値 = 4.07

■人間生活科学部・管理栄養学科



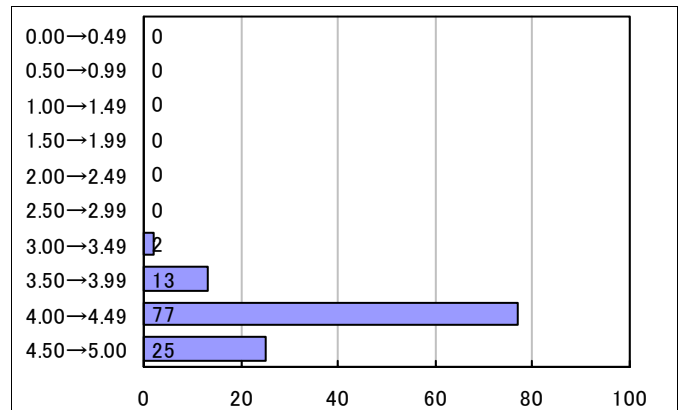
平均値 = 4.17

■経営学部



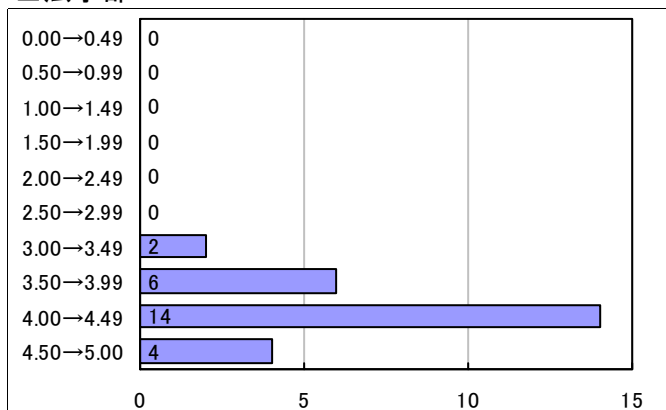
平均値 = 4.16

■非常勤



平均値 = 4.25

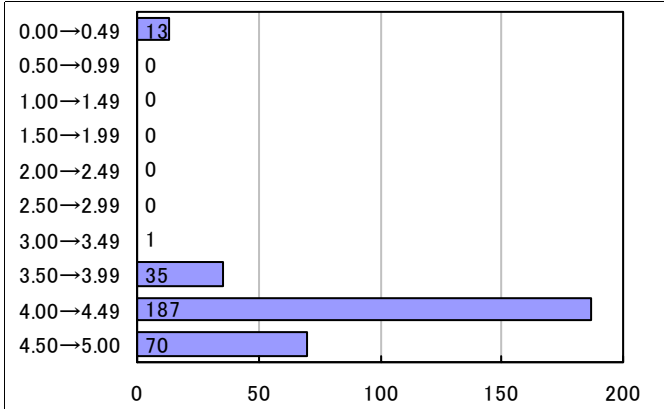
■法学部



平均値 = 4.02

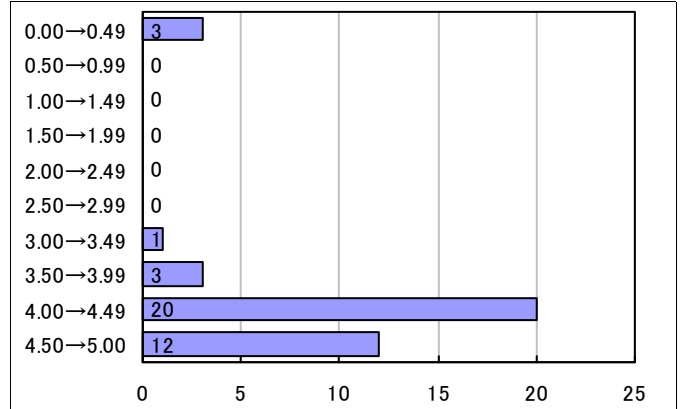
●8.教科書・配布資料は活用されていたと思いますか

■全体



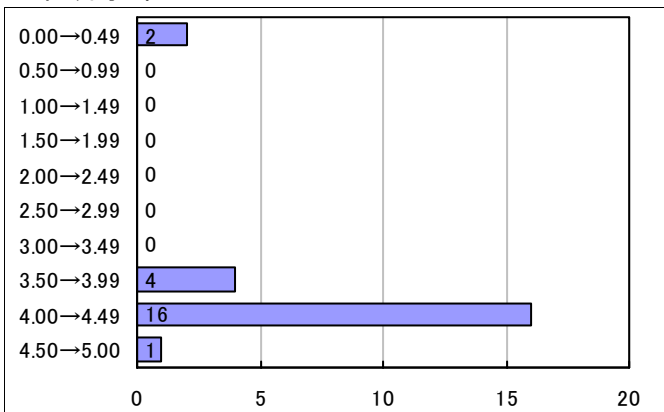
平均値 = 4.24

■人間生活科学部・教育保育学科



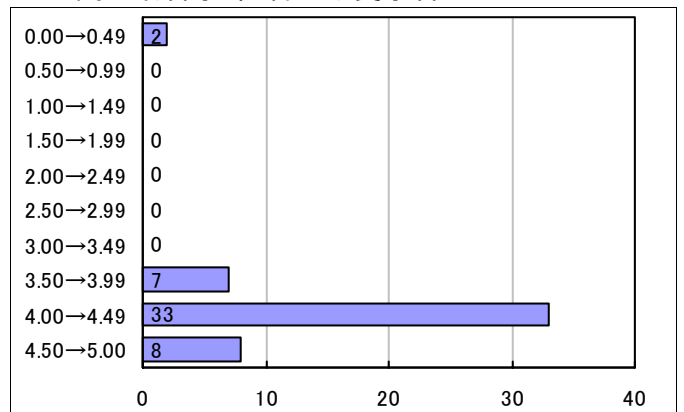
平均値 = 4.30

■経済学部



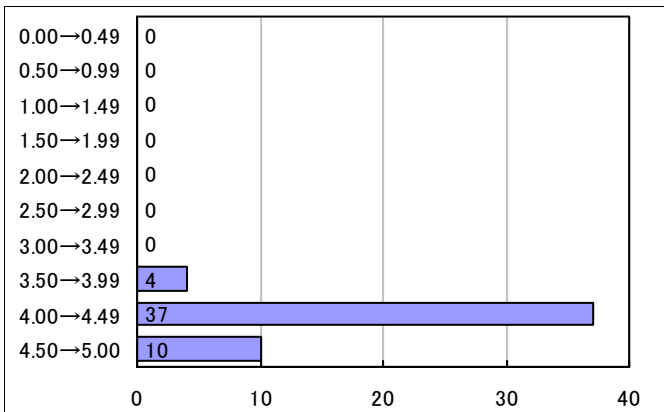
平均値 = 4.14

■人間生活科学部・管理栄養学科



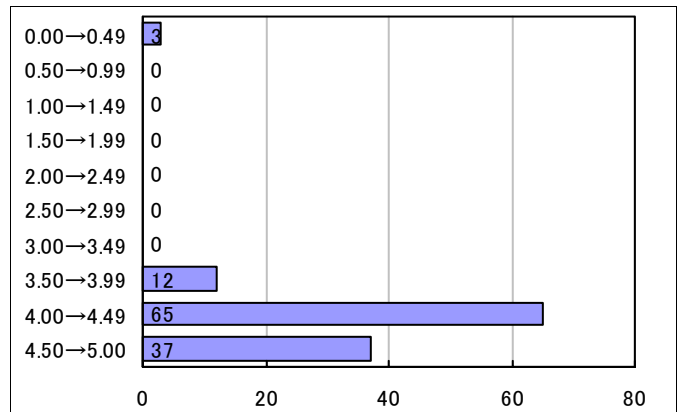
平均値 = 4.24

■経営学部



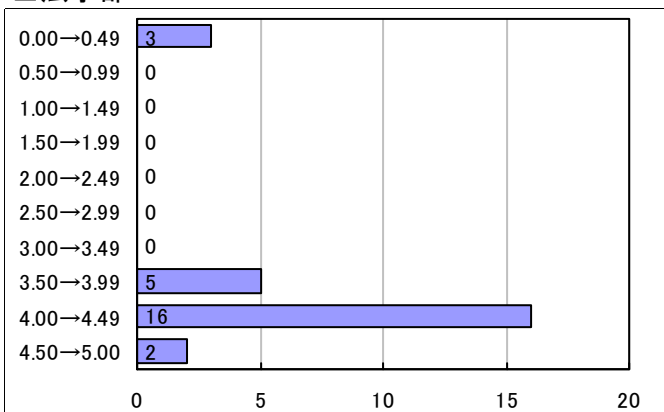
平均値 = 4.23

■非常勤



平均値 = 4.32

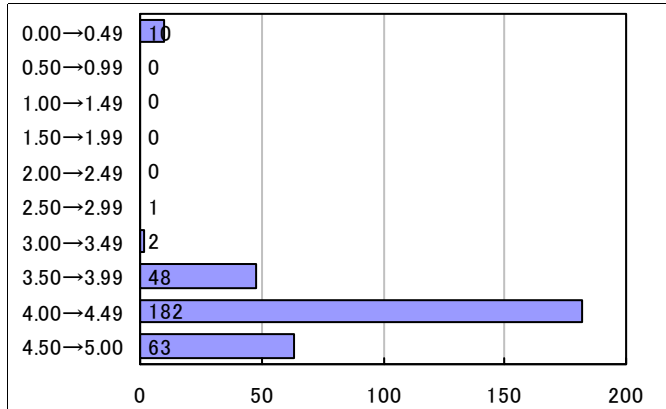
■法学部



平均値 = 4.16

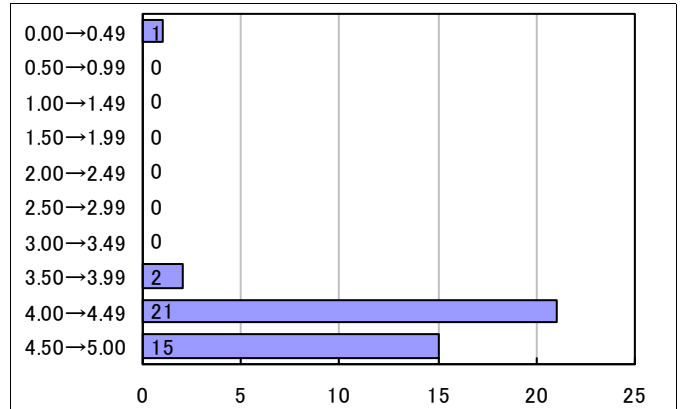
●9.板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか

■全体



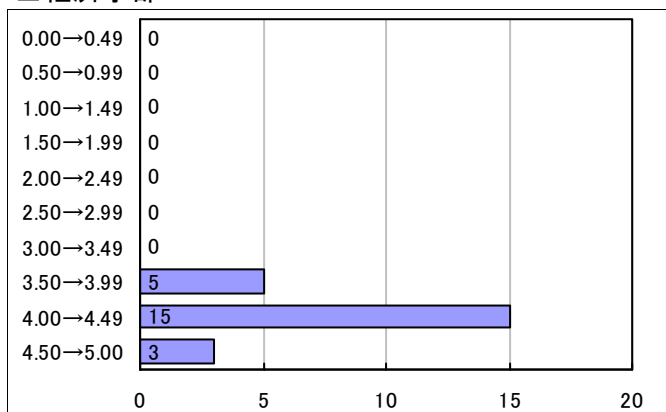
平均値 = 4.18

■人間生活科学部・教育保育学科



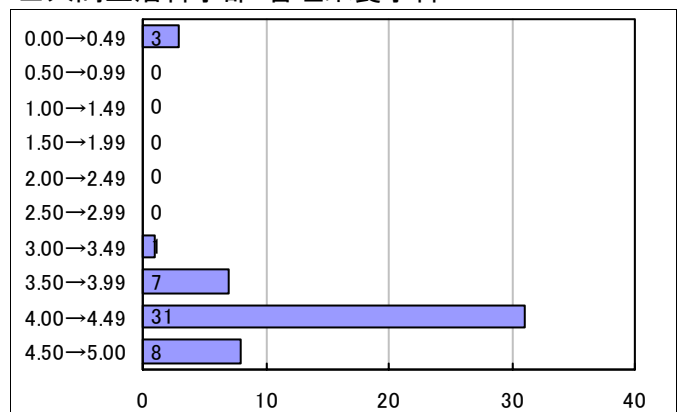
平均値 = 4.38

■経済学部



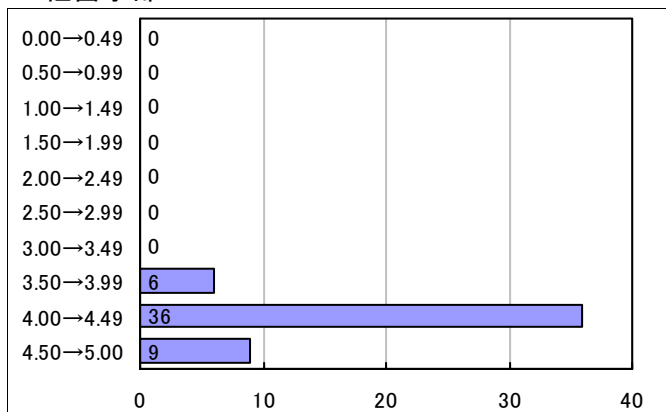
平均値 = 4.09

■人間生活科学部・管理栄養学科



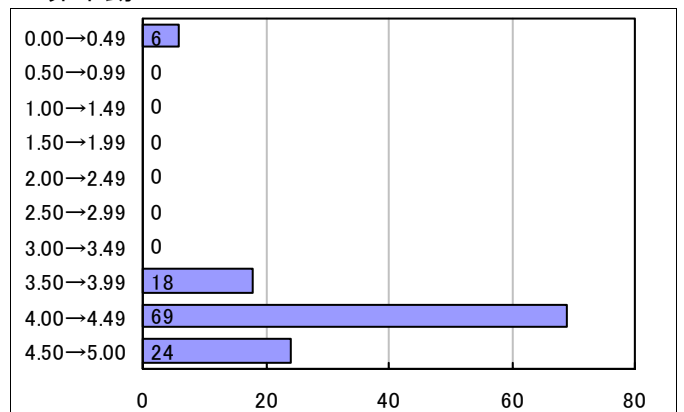
平均値 = 4.21

■経営学部



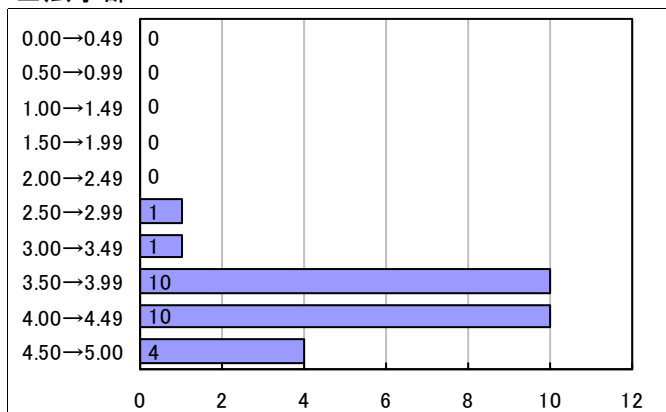
平均値 = 4.23

■非常勤



平均値 = 4.24

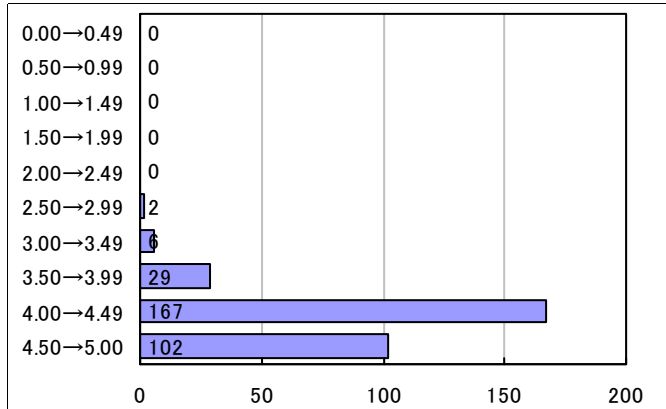
■法学部



平均値 = 3.94

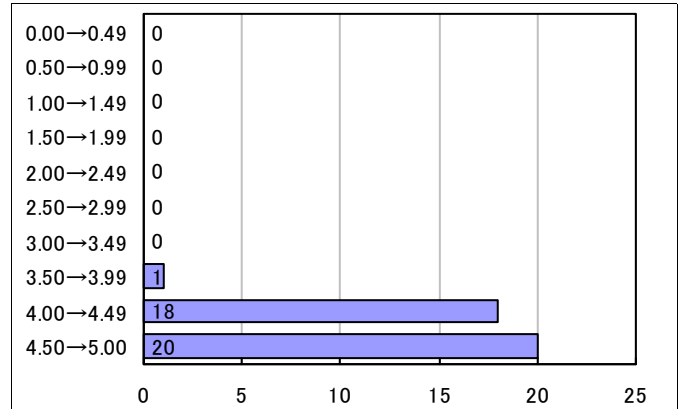
●10.教員の声は聞き取りやすかったですか

■全体



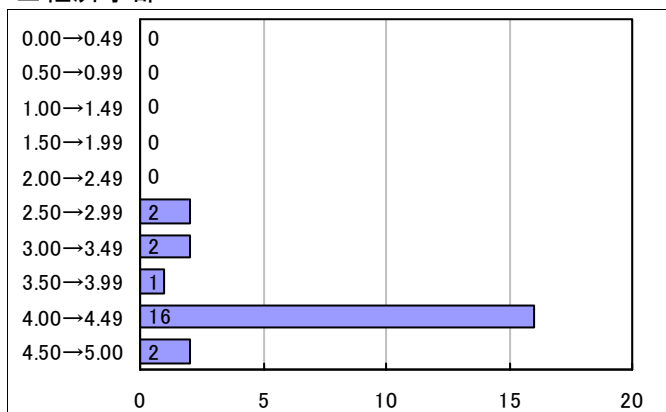
平均値 = 4.26

■人間生活科学部・教育保育学科



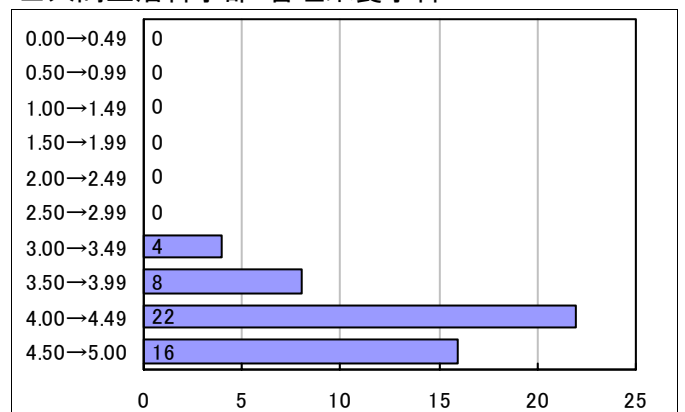
平均値 = 4.50

■経済学部



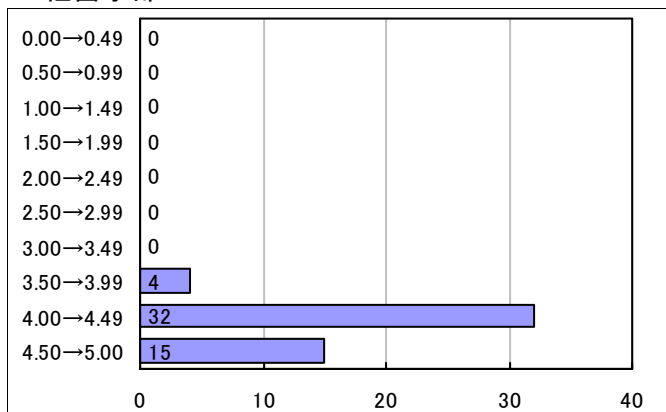
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



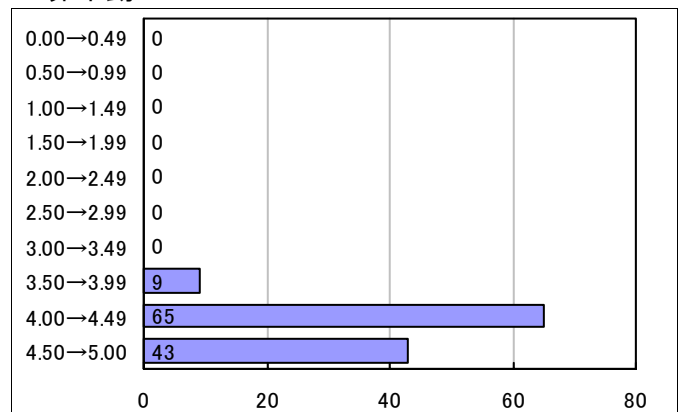
平均値 = 4.25

■経営学部



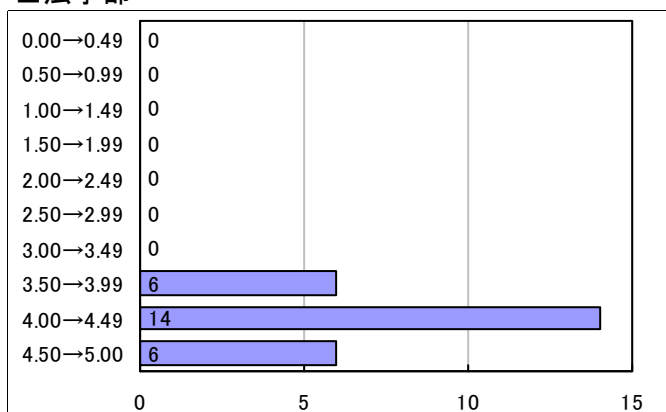
平均値 = 4.28

■非常勤



平均値 = 4.35

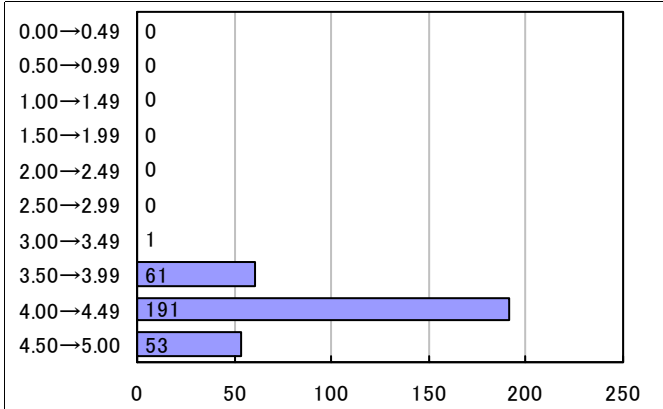
■法学部



平均値 = 4.20

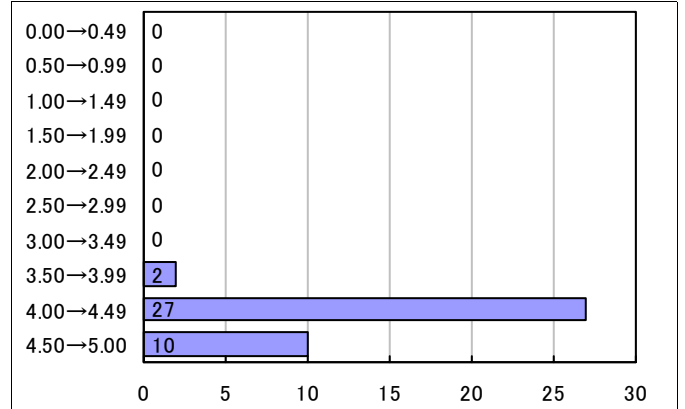
●11.一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか

■全体



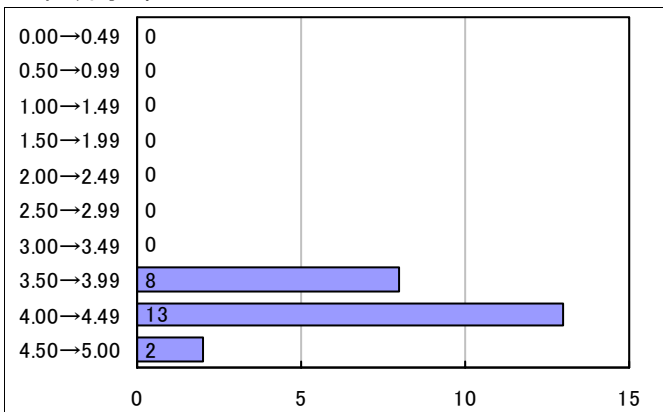
平均値 = 4.15

■人間生活科学部・教育保育学科



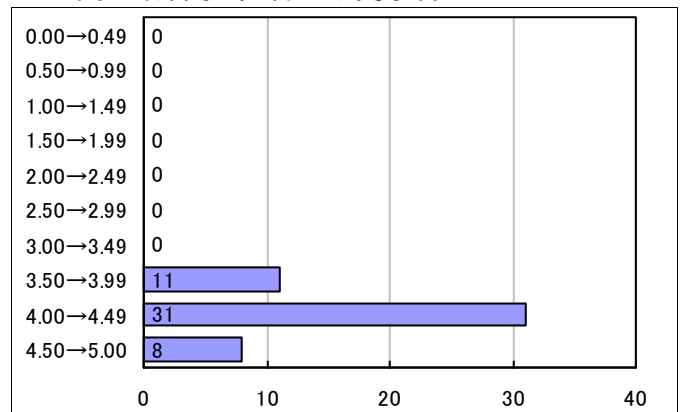
平均値 = 4.34

■経済学部



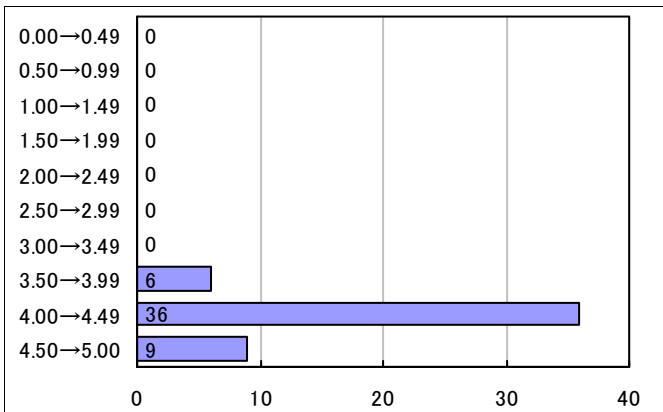
平均値 = 4.01

■人間生活科学部・管理栄養学科



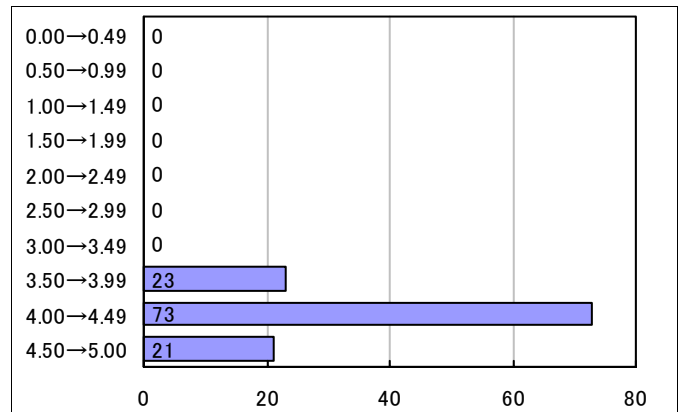
平均値 = 4.21

■経営学部



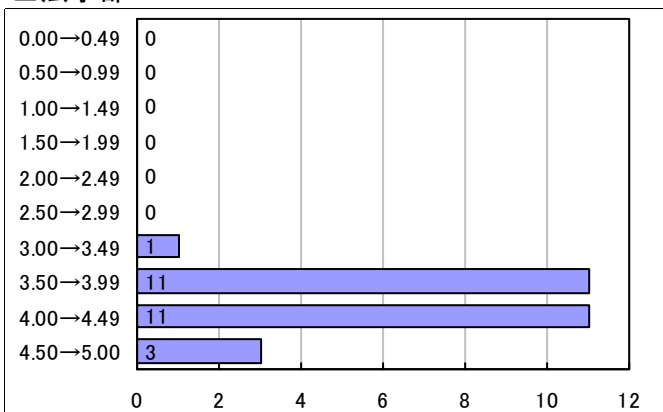
平均値 = 4.13

■非常勤



平均値 = 4.21

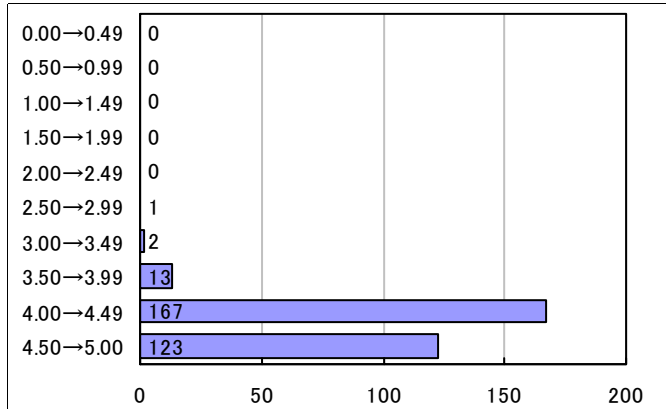
■法学部



平均値 = 4.01

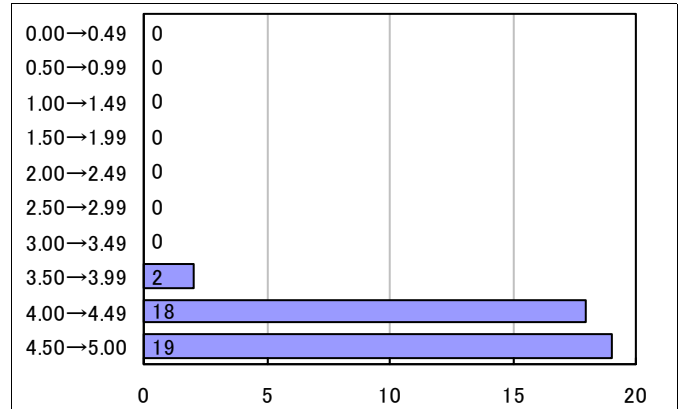
●12.教員は授業時間を守っていたと思いますか

■全体



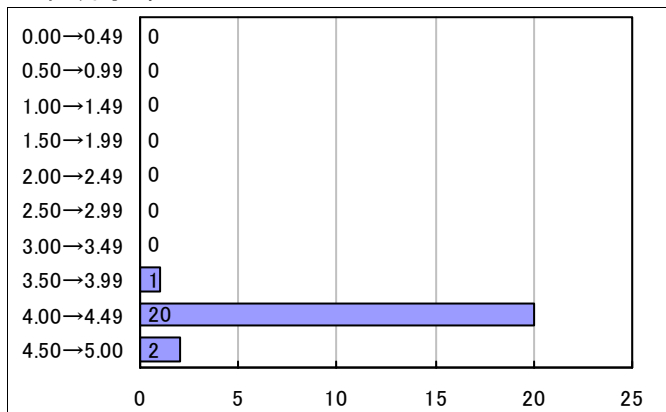
平均値 = 4.33

■人間生活科学部・教育保育学科



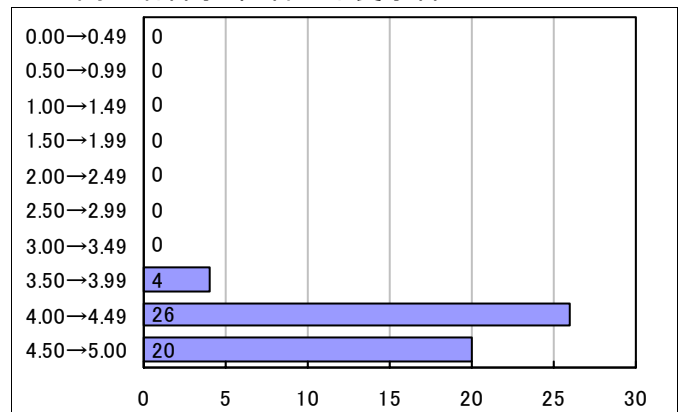
平均値 = 4.44

■経済学部



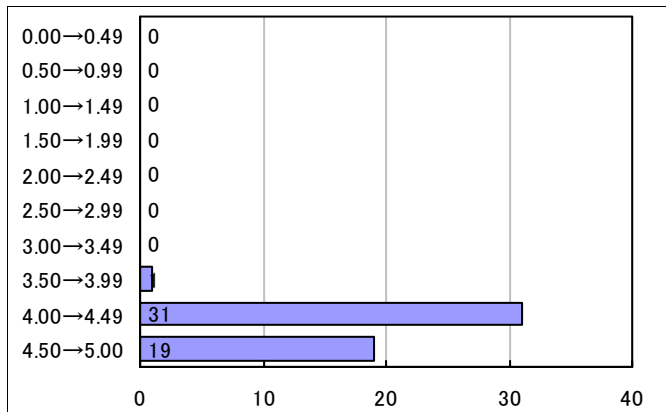
平均値 = 4.27

■人間生活科学部・管理栄養学科



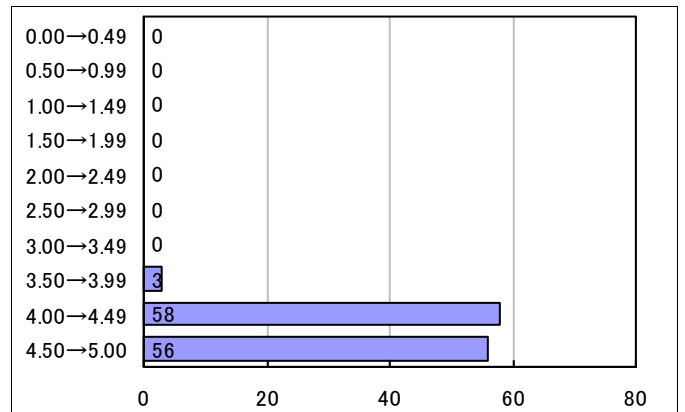
平均値 = 4.35

■経営学部



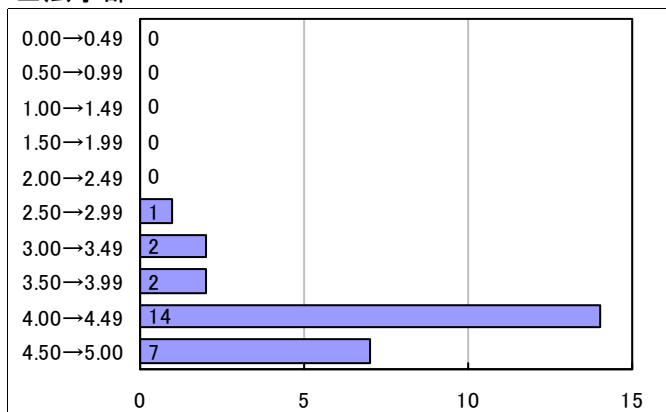
平均値 = 4.34

■非常勤



平均値 = 4.40

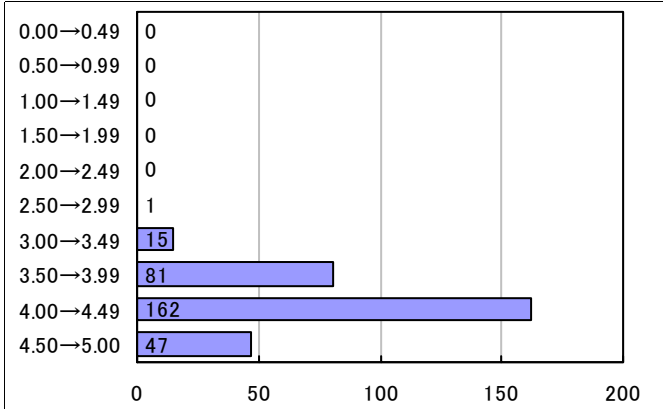
■法学部



平均値 = 4.16

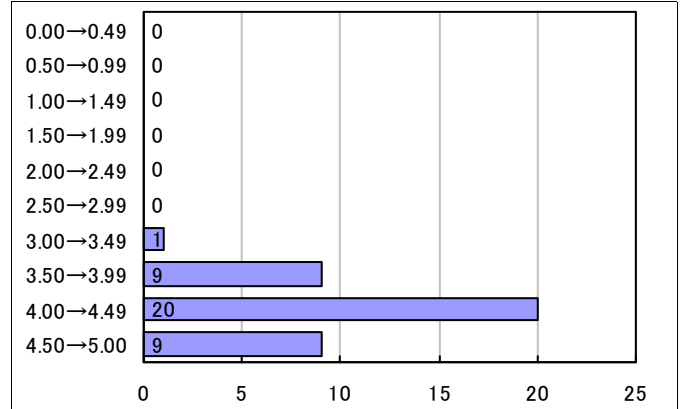
●13.この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか

■全体



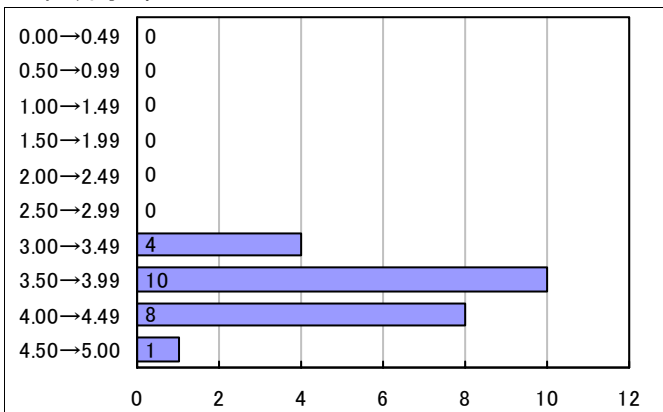
平均値 = 4.05

■人間生活科学部・教育保育学科



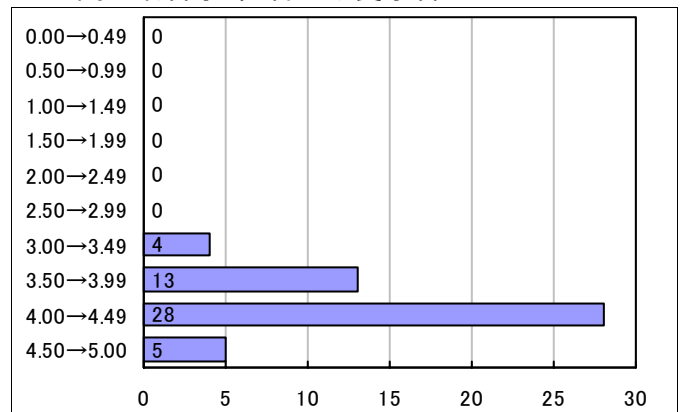
平均値 = 4.22

■経済学部



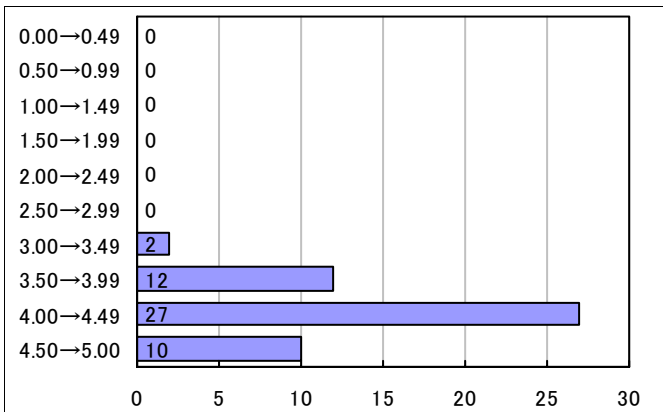
平均値 = 3.91

■人間生活科学部・管理栄養学科



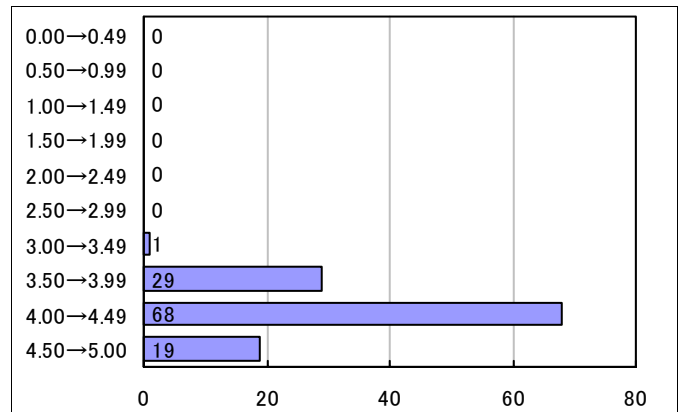
平均値 = 4.08

■経営学部



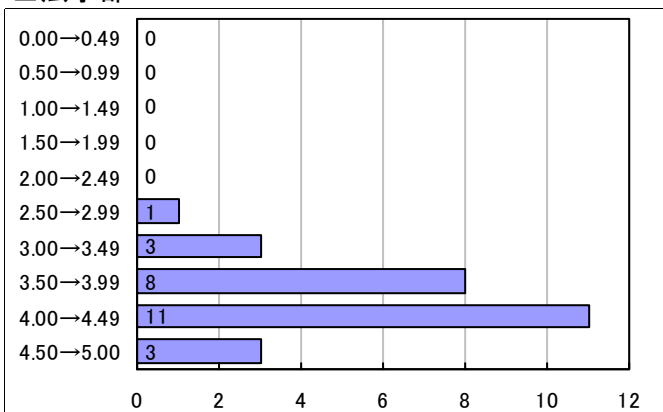
平均値 = 4.04

■非常勤



平均値 = 4.14

■法学部



平均値 = 3.89

2022（令和4）年度前期授業評価アンケート結果＜学生視点＞

1. 学部学科別

＜学部学科別回答数＞

学部学科	回答数
経済	3,388
経営	3,226
法	2,920
教育保育	1,099
管理栄養	1,833

※ 設問1の回答数

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養	全体
1	4.2	4.1	4.0	4.3	4.6	4.2
2	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	3.9
3	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	4.3
4	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0
5	4.1	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0
6	4.2	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2
7	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1
8	4.2	4.1	4.1	4.4	4.2	4.2
9	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1
10	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2	4.2
11	4.0	4.0	4.0	4.3	4.1	4.1
12	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3
13	4.0	3.9	4.0	4.1	3.9	4.0

※ 4.0を下回る項目を赤字で表している

2. 留学生

<設問 C 回答より：留学生の回答割合>

学部	回答総数	留学生回答数	留学生による 回答割合
経済	3,380	419	12.4%
経営	3,226	728	22.6%
法	2,916	299	10.3%

2019 年度前期と比較すると、留学生の回答割合が大きく減少している（経済学部 12.7% 減、経営学部 15.6% 減）。これは、留学生が大きく減少したことが影響しているものと思われる（2019 年 7 月 1 日現在と比べて、2022 年 7 月 1 日現在、経済学部 43.9%（157 名→88 名）、経営学部 41.8%（268 名→156 名）、それぞれ減少した）。なお、2019 年度は、法学部留学生は分析対象となっていない。

<留学生のみ>

設問	経済	経営	法
1	4.4	4.3	4.2
2	4.4	4.3	4.1
3	4.5	4.3	4.2
4	4.4	4.2	4.2
5	4.4	4.2	4.2
6	4.5	4.4	4.3
7	4.4	4.2	4.1
8	4.4	4.3	4.2
9	4.4	4.2	4.2
10	4.5	4.3	4.3
11	4.3	4.2	4.1
12	4.6	4.4	4.3
13	4.4	4.2	4.2

<留学生以外>

設問	経済	経営	法
1	4.1	4.1	4.0
2	3.8	3.8	3.8
3	4.2	4.2	4.2
4	4.0	4.0	4.0
5	4.0	3.9	4.0
6	4.2	4.1	4.2
7	4.1	4.0	4.1
8	4.2	4.1	4.1
9	4.0	4.1	4.1
10	4.1	4.1	4.2
11	4.0	4.0	4.0
12	4.3	4.3	4.3
13	3.9	3.9	3.9

※ 4.0 を下回る項目を赤字で表している

3. スポーツ学生

＜設問 D 回答より：スポーツ学生の回答割合＞

学部	回答総数	スポーツ学生回答数	スポーツ学生による回答割合
経済	3,355	258	7.7%
経営	3,202	243	7.6%
法	2,903	898	30.9%
教育保育	1,097	98	8.9%
管理栄養	1,830	226	12.3%

2019 年度前期と比較すると、すべての学部学科でスポーツ学生の回答割合が減少している（経済学部 2.3%減、経営学部 4.6%減、法学部 12.4%減、教育保育 5.8%減、管理栄養 3.5%減）。2022 年 7 月現在のスポーツ学生（375 名）は、2019 年 7 月（459 名）と比べると、18.3%減少しており、その影響と思われる。

＜スポーツ学生のみ＞

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.2	4.0	3.9	3.9	4.7
2	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9
3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
4	4.2	4.0	4.1	4.1	4.0
5	4.3	4.0	4.1	4.1	3.9
6	4.3	4.1	4.3	4.3	4.1
7	4.2	4.1	4.1	4.2	3.9
8	4.2	4.1	4.1	4.3	4.0
9	4.2	4.1	4.2	4.3	4.0
10	4.2	4.2	4.2	4.5	4.1
11	4.2	4.1	4.1	4.3	4.1
12	4.3	4.2	4.3	4.5	4.2
13	4.2	4.0	4.0	4.0	3.8

※ 4.0 を下回る項目を赤字で表している

<スポーツ学生以外>

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.2	4.1	4.1	4.3	4.6
2	3.9	3.9	3.8	4.1	3.9
3	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4
4	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0
5	4.0	4.0	4.0	4.2	4.0
6	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2
7	4.1	4.1	4.0	4.3	4.1
8	4.2	4.2	4.1	4.4	4.2
9	4.1	4.1	4.1	4.4	4.1
10	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2
11	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1
12	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4
13	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9

※ 4.0を下回る項目を赤字で表している

2022（令和4）年度後期授業評価アンケート結果＜学生視点＞

1. 学部学科別

＜学部学科別回答数＞

学部学科	回答数
経済	2,645
経営	2,630
法	2,359
教育保育	1,167
管理栄養	1,670

※ 設問1の回答数

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養	全体
1	4.0	3.9	3.9	4.2	4.4	4.0
2	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1	4.0
3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.3
4	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.1
5	4.0	4.1	4.1	4.3	4.1	4.1
6	4.2	4.3	4.3	4.5	4.3	4.3
7	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2
8	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2
9	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2	4.2
10	4.2	4.3	4.3	4.5	4.2	4.3
11	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1
12	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
13	4.0	4.1	4.0	4.2	4.1	4.0

※ 4.0を下回る項目を赤字で表している

2. 留学生

<設問 C 回答より：留学生の回答割合>

学部	回答総数	留学生回答数	留学生による 回答割合
経済	2,645	349	13.2%
経営	2,630	622	23.7%
法	2,359	236	10.0%

<留学生のみ>

設問	経済	経営	法
1	4.2	4.1	4.1
2	4.4	4.3	4.2
3	4.4	4.3	4.3
4	4.4	4.3	4.1
5	4.4	4.3	4.2
6	4.5	4.4	4.3
7	4.4	4.2	4.0
8	4.4	4.3	4.3
9	4.4	4.3	4.2
10	4.5	4.3	4.3
11	4.3	4.2	4.0
12	4.6	4.4	4.3
13	4.4	4.2	4.1

<留学生以外>

設問	経済	経営	法
1	3.9	3.9	3.9
2	3.8	3.9	3.9
3	4.3	4.3	4.3
4	4.0	4.1	4.1
5	4.0	4.1	4.1
6	4.2	4.2	4.3
7	4.1	4.2	4.1
8	4.2	4.2	4.2
9	4.1	4.2	4.1
10	4.1	4.2	4.3
11	4.0	4.1	4.1
12	4.2	4.3	4.3
13	3.9	4.0	4.0

※ 4.0 を下回る項目を赤字で表している

3. スポーツ学生

<設問 D 回答より：スポーツ学生の回答割合>

学部	回答総数	スポーツ学生回答数	スポーツ学生による 回答割合
経済	2,645	197	7.7%
経営	2,630	200	7.6%
法	2,359	557	23.6%
教育保育	1,167	98	8.4%
管理栄養	1,670	200	12.0%

<スポーツ学生のみ>

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	4.2	3.9	3.7	3.9	4.5
2	4.3	4.1	4.0	4.1	4.2
3	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5
4	4.4	4.3	4.1	4.4	4.1
5	4.3	4.3	4.1	4.4	4.1
6	4.4	4.4	4.3	4.5	4.2
7	4.4	4.3	4.2	4.3	4.2
8	4.4	4.3	4.2	4.4	4.2
9	4.4	4.3	4.2	4.4	4.1
10	4.4	4.3	4.3	4.5	4.2
11	4.3	4.3	4.2	4.3	4.2
12	4.4	4.4	4.3	4.5	4.3
13	4.3	4.2	4.1	4.2	4.0

※ 4.0 を下回る項目を赤字で表している

<スポーツ学生以外>

設問	経済	経営	法	教育保育	管理栄養
1	3.9	3.9	3.9	4.2	4.4
2	3.9	4.0	3.9	4.1	4.1
3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4
4	4.0	4.2	4.1	4.3	4.2
5	4.0	4.1	4.1	4.3	4.1
6	4.2	4.2	4.2	4.5	4.3
7	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2
8	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
9	4.1	4.2	4.1	4.4	4.2
10	4.2	4.3	4.2	4.5	4.2
11	4.1	4.2	4.1	4.3	4.2
12	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4
13	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1

※ 4.0を下回る項目を赤字で表している

2022 年度前期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2022 年度前期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2022 年度前期は、対面授業が実施され、授業評価アンケートは紙媒体で実施された。そこで、ここでは同様の条件でアンケートが実施された 2019 年度前期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4 では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここで学生の属性をこのように分ける理由は、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけ、科目選択や将来の目標などの志向、困難点などがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

表 1 に、2019 年度と 2022 年度の経済学部在籍学生数を示す。2022 年度は、2019 年度に比べて在籍学生数は約 1.2 倍に増えているが、そのうち留学生が占める割合は 25% から 15% 弱へと減少している。

表 1 経済学部在籍学生数（2019 年度 7 月 1 日現在、及び 2022 年 7 月 1 日現在）

	全て		留学生	
	2019	2022	2019	2022
1 年次	168	173	23	25
2 年次	177	172	61	21
3 年次	116	143	33	17
4 年次	92	184	42	27
合計	564	672	159	90

2. アンケート回答率

まず、表 2 に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表 2 経済学部教員による開講科目の回答率（2019 年・2022 年の比較）

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (%) (F÷E)
経済学部	2019	4,045	4,007	2,604	64.99
	2022	3051	3034	1955	64.44
全学	2019	13,780	13,742	9,685	70.48
	2022	18,645	18,019	12,502	69.38

全学では、授業評価アンケートの対象科目及び回答者数は2019年度よりも増えているが、その中で経済学部所属教員科目の占める割合は小さくなっていることがわかる。その要因は、2019年度経済学部の対象科目数は34であったのに対し、2022年度は23と少なくなっていることと思われる。

一方、回答率は、2019年度とほぼ同じ水準であり、経済学部の解答率は全学より0.5ポイント低いという傾向も同様であった。授業評価アンケートについては、当然、回答率は高いほど望ましい。このアンケートが実施された2022年度前期末には新型コロナウイルス感染症が拡大し欠席者が多かったが、今回のアンケートは授業中に紙媒体で実施されたため、実施週に欠席した学生はアンケートに回答することができなかった。回答率向上については、教員によっても実施しやすく、学生にとって回答しやすい形式に近づけていくため引き続き努力が必要と思われる。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表3に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。なお、設問Eは、2022年度の授業評価アンケートで新しく文面を更新して設定された設問であり、設問3の回答の前提として示されたが、回答の選択肢が「はい」または「いいえ」の2択であったため、ここでは「はい」の回答割合を示す。

表3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2019前期 経済学部	2022前期 経済学部	2022前期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.2	4.2	4.2
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.7	3.8	3.9
E	あなたはこの科目のシラバスを分かっていますか	-	はい 77%	はい 68%
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか (設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)	4.1	4.2	4.3
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.8	4.0	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.7	4.0	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.8	4.1	4.1
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.1	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9	4.0	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.0	4.1	4.2
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.8	4.0	4.1

12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.0	4.2	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	3.7	3.9	4.0

経済学部についてみると、2019年までの結果に比べ、すべての項目で0.1~0.3ポイント上昇している。0.3ポイント上昇した項目は、設問5（新しいものの見方）、設問7（授業の進め方）であった。

評価上昇の要因として考えられるのは、第一に、教員による授業の改善の効果、第二に、学生の受講意欲の向上、第三に、対面授業の再開により学生がオンライン授業と対面授業を比較したため、などが想定できる。ポイントの上昇率は大きくはないが、設問9や10のポイント上昇には、キャンパスリノベーションによる教室設備の改善も貢献しているのではないだろうか。

一方で、今年度の全学の結果と比較すると、傾向には大きな違いがないが、全体に0.1ポイントほど低いことがわかる。経済学部において最もポイントの低い項目は、設問2（意欲的に取り組んだか）であり、この傾向は全学平均と同様である。また、設問6（教員の熱意）のポイントは、全学平均より0.2低い。これらのことから、経済学部での今後の改善においては、学生の受講意欲を高めることと、そのための教員の働きかけの強化に重点をおくべきと言えるかもしれない。

4. 学生の属性別にみた結果

続いて、学生の属性別の結果を検討する。まず表4に、各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表4 経済学部教員開講科目における各設問ポイント平均値の、学生の属性別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	4.2	3.9	4.3	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.0	4.1
留学生のみ	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4
留学生を除く	4.1	3.8	4.2	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2	4.0	4.1	4.0	4.3	3.9	4.1
スポーツ学生のみ	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2
スポーツ学生を除く	4.2	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	3.9	4.1

表4から、留学生の回答が他に比べて0.3ポイント程度高いことがわかる。これは例年と同様の傾向である。その要因としては、第一に留学生の学習意欲が高いこと、第二に教員の教え方などに対して学生が意見を述べる習慣が母国にないこと、などが考えられる。他の学生と比べると、設問2（意欲的に取り組んだか）の項目の得点が高いことが目立つ。留学生の学習意欲が高いことは高く評価でき、他の学生にも良い影響を及ぼしていることが推測できるが、一方で、受講生の意見が教育活動の改善に有益であるということは留学生に対してはより積極的に伝えていくべきであると思われる。

また、スポーツ学生の回答は、全体に0.1ポイント高いことがわかる。履修における意欲や満足度は、その他の学生かそれ以上という傾向があるといえる。

次に、表5に、学年別の比較を示す。

表5 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1年生	4.3	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	4.0	4.2	4.0	4.2	4.0	4.3	3.9	4.1
2年生	4.2	3.9	4.3	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.4	4.0	4.2
3年生	4.2	3.8	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	3.9	4.2	3.9	4.0
4年生	3.7	3.9	4.3	4.1	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.0	4.1

平均点を見ると、学年による得点の差は2年生が全体的に高い。項目別に見ると、項目4（授業内容のわかりやすさ）が他学年よりやや高い。履修する科目が共通科目から専門科目に移り変わり、学生自身の関心によって科目を選べるようになり、専門分野の学びの面白さに出会う段階にあることが関係するのかもしれない。

学年によって回答傾向の違いが見られるのは、設問1（出席したか）である。1年生は設問1のポイントが高いのに対し、学年が上がるごとにポイントが低下し、4年生は最も低いことがわかる。また、設問11（教室管理）において、3年生のポイントのみが4を割っていることも目立つ。3年生前期に主に履修する科目は専門科目と推測できるが、学生によって学習意欲が分かれる科目であるともいえ、このことが影響しているのかもしれない。これについては専門科目と他の科目の結果の比較が必要である。

5. クラスサイズ別集計結果

次に、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

設問	該当 クラス数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1～50人	204	4.1	4.2	4.4	4.5	4.4	4.6	4.4	4.4	4.5	4.6	4.3	4.5	4.4	4.4
51～100人	18	4.1	3.8	4.2	3.7	3.9	4.0	3.9	4.1	3.9	3.7	3.9	4.2	3.8	3.9
101～150人	34	4.1	3.9	4.2	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.1	3.9	4.2	3.9	4.1
151～200人	28	4.3	3.6	4.2	3.8	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	3.9	4.2	3.7	3.9
201～250人	5	4.1	3.7	4.3	4.2	4.2	4.4	4.3	4.2	4.2	4.5	4.2	4.4	4.2	4.2
251～300人	1	4.1	4.0	4.2	4.0	4.1	4.3	4.1	4.0	4.1	4.3	3.9	4.2	4.0	4.1
301人以上	1	4.1	4.1	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.3	4.3

200人以上のクラスは該当数が少なく、対象クラスの個別的要因が色濃く反映されたものと考えられるため、200人以下のクラスについて検討する。最もポイントが高かったのは1～50人のクラスの科目であるのに対し、最も評価が低かったのは51～100人と151～200人までのクラスであり、少人数クラスの評価が高いことは明らかであるが、50人以上のクラスについては大きさと評価は反比例するもので

はないようであり、大人数クラスにおいても授業運営によっては高い評価を得ているクラスがあることが推測できる。

評価の低い、51～100人と151～200人までのクラスでは、4わかりやすさ、10聞き取りやすさ、13授業のやり方、が他のクラスサイズに比べてポイントが低い。これらのクラスを一般的に受講生の多いクラスととらえるなら、特に上記の項目に注意する必要がある。

6. 設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」の結果および相関

次に、授業のわかりやすさに関連すると思われる設問の結果について検討する。設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」が、授業のわかりやすさに関連する指標であると想定する。表 7 に、経済学部所属教員によるアンケート対象科目をすべて挙げ、これらに対する設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」のポイント平均値、及び、3項目の平均値を降順で示した。

表 7 経済学部教員開講科目における、設問 4「わかりやすさ」、設問 5「新しいものの見方」、設問 11「教室・授業管理」のポイント平均値

		設問 4	設問 5	設問 11	平均
1	(留)日本語コミュニケーションレベル 5(木 3)	4.8	4.6	4.6	4.7
2	地域政策(金 1)	4.5	4.3	4.3	4.3
3	雇用と労働(月 2)	4.4	4.3	4.2	4.3
4	全学ゼミナール(2)(火 2)	4.3	4.3	3.9	4.2
5	心の科学 I(月 4)	4.3	4.3	4.1	4.2
6	地域経済と産業①(月 3)	4.2	4.2	4.2	4.2
7	環境共生の探究 I(金 3)	4.2	4.1	4.0	4.1
8	(日)基礎力養成 I(A)(木 4)	4.0	3.6	3.8	3.8
9	財政学(月 1)	4.0	4.0	3.6	3.9
10	経済政策(火 1)	4.0	3.7	4.1	3.9
11	金融論(水 1)	4.0	4.1	3.9	4.0
12	経済地理学(水 2)	3.9	4.2	3.9	4.0
13	市民生活と経済(済)(木 2)	3.9	3.9	3.8	3.9
14	経済学史(木 4)	3.8	4.0	4.0	4.0
15	市民生活と経済(営)(木 2)	3.8	3.9	3.9	3.9
16	生活と数(月 1)	3.8	3.8	3.5	3.7
17	地域経済と産業②(月 3)	3.8	3.9	4.0	3.9

18	市民生活と経済(法)(木2)	3.7	3.9	3.9	3.8
19	アジア経済論(火1)	3.7	0.0*	4.0	2.6
20	マクロ経済学(金1)	3.7	4.0	4.1	3.9
21	地理学I(地誌を含む。)(月4)	3.5	3.6	3.8	3.6
22	ミクロ経済学(金2)	3.0	0.0*	3.5	2.2

*科目担当者の判断により、その科目の特性に適さないとしてアンケートから除外された項目

今回、項目4「わかりやすさ」ポイント4以上の科目は22科目中11科目(50%)であった。この割合は、経済学部の開講科目の今後の改善状況の指標とできる。

上記3項目で評価の高い科目には、全般にポイントの高い傾向にある留学生科目のほか、経済学部の専門科目、専門共通基礎II、共通科目、公務員講座など、種別は多様である。専門共通基礎Iの評価は全体に低めである。

設問4(わかりやすさ)、設問5(新しいものの見方)、設問11(教室管理)の項目は互いに相関があるように見える。各設問のポイント間の相関係数 r を算出したところ、設問4と5の間は $r=0.65$ 、設問4と11の間は $r=0.72$ 、設問5と11の間は $r=0.41$ であった。このことから、設問4と5、設問4と11の間については、一方が高ければもう一方も高いといえるが、設問5と11の間にはそのような関係はないようである。

7. 専門共通基礎について

最後に、専門共通基礎I・IIについて、6と同様にわかりやすさに関する項目の結果を検討する。専門共通基礎I・IIは、3学部学生全員が履修し、経済学部専門科目の入口となる科目であることから重要な科目である。また、学部別にクラスが分けられ、複数教員が分担する形式で開講されており、その点が学生にとっての理解度や満足度にどのような影響を与えているか検討する必要がある。

表8に、経済学部専門共通基礎I・II科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較を示した。

表8 経済学部専門共通基礎I・II科目における、設問4「わかりやすさ」設問5「新しいものの見方」設問11「教室・授業管理」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較

科目名	対象	有効数	設問	設問	設問
			04	05	11
市民生活と経済 (済)(木2)	全学生	115	3.90	3.90	3.84
	留学生のみ	18	4.28	4.11	3.56
	留学生を除く	97	3.82	3.86	3.90
	スポーツ学生のみ	9	4.11	4.11	4.33
	スポーツ学生を除く	106	3.88	3.88	3.80

市民生活と経済 (営)(木2)	全学生	109	3.83	3.92	3.85
	留学生のみ	26	3.96	3.96	4.00
	留学生を除く	83	3.80	3.90	3.81
	スポーツ学生のみ	8	4.50	4.50	4.50
	スポーツ学生を除く	101	3.78	3.87	3.80
市民生活と経済 (法)(木2)	全学生	81	3.73	3.90	3.90
	留学生のみ	11	4.18	4.18	3.36
	留学生を除く	70	3.66	3.86	3.99
	スポーツ学生のみ	18	3.83	3.83	4.06
	スポーツ学生を除く	63	3.70	3.92	3.86
地域経済と産業① (月3)	全学生	123	4.21	4.20	4.23
	留学生のみ	12	4.33	4.25	4.17
	留学生を除く	111	4.20	4.20	4.23
	スポーツ学生のみ	7	4.00	4.14	3.86
	スポーツ学生を除く	116	4.22	4.21	4.25
地域経済と産業② (月3)	全学生	113	3.79	3.87	3.96
	留学生のみ	21	4.19	4.33	4.14
	留学生を除く	92	3.70	3.76	3.91
	スポーツ学生のみ	10	3.30	3.40	3.40
	スポーツ学生を除く	103	3.83	3.91	4.01

まず、専門共通基礎 I 「市民生活と経済」の3つのクラスについて述べると、3クラスとも、この3つの設問の評価ポイントが4点を割っている。これは、経済学部及び全学の平均値を下回る値である。クラスによって大きなばらつきはないが、経営学部の留学生と法学部のスポーツ学生からの評価ポイントが、他のクラスに比べてやや低いことが特徴として挙げられる。1年生向けの入門科目であることから、わかりやすさは重要であると思われるが、このような評価傾向の要因は不明のため、改善のためには個別の調査が必要である。

次に、専門共通基礎 II 「地域経済と産業」の2つのクラスについて述べる。①は経済学部向けクラス、②は他学部向けクラスである。①クラスにおいては、設問4・5・11の評価ポイントはいずれも高く、表7においても経済学部開講科目の上位6位に位置する。一方、②クラスにおいては、全学生の平均ポイントは4を割っており、スポーツ学生の評価ポイントが特に低いことがわかる。この科目については、経済学部生に比べてそれ以外の学生にとってのわかりやすさが低いことがわかり、学生の所属学部によって到達目標や進め方を調整することも1つの案と思われる。

以上

2022 年度前期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	18,645	18,019	12,502	69.38
経営学部	4,721	4,694	3,130	66.68

実施予定 51 科目のうち 50 科目が実施され、回収率は 98.04%であった。経営学部教員担当科目の回答率は 66.68%であり、全体平均 69.38%に比べ、2.7%低かった。コロナ禍以前の 2019 年度までと同様、人間生活科学部の高い数値（教保 78.01%、管栄 83.36%）と比較すると低いものの、3 学部（経済学部：64.44%、法学部：65.17%）の中では一番高い。

なお、2019 年度前期の回答率 71.41%（全体平均：70.48%）と比較すると、4.73%低くなった。この下がり幅は、コロナ禍による出席率の低下を反映していると考えられる。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問項目	19 年度	本年度
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.2	4.2
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.8
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.1	4.2
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.9	4.0
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.1	4.2
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	4.0
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.1
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2	4.2
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	4.0
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	/	3.9

上表の集計データは、2019年度前期と本年度前期の平均ポイントをそれぞれ併記したものである。経営学部所属教員担当科目の平均値を見ると、全体において2019年度より同じか高い数値を示している。とくにシラバスによる授業構成、わかりやすさと教員の熱意、配布資料と板書・スクリーン、教室管理及び授業時間等の項目は2019年度より0.1ポイント上昇し、高い数値となった。授業評価に参加した学生の満足度はコロナ禍以前の水準に戻りつつあるといえる。

なお、設問2の予習・復習を含めた授業への取り組みのポイントは3.8ポイントと低いままとなっており、学生自らの学習意欲を引き出す授業づくりは依然として重要であり、改善する必要がある。また、エクセレントティーチャー選出のために新設した項目13「この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか」の平均値は3.9ポイントでやや低かった。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

*属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.1	4.3	4.1	4.0	4.1
2	3.9	4.3	3.8	4.0	3.9
3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
4	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0
5	4.0	4.2	3.9	4.0	4.0
6	4.2	4.4	4.1	4.1	4.2
7	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1
8	4.1	4.3	4.1	4.1	4.2
9	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1
10	4.2	4.3	4.1	4.2	4.2
11	4.0	4.2	4.0	4.1	4.0
12	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
13	3.9	4.2	3.9	4.0	3.9

留学生は全ての設問において、4.2ポイント以上の高い数値を示している。一方、日本人学生（留学生を除く）は全ての設問において留学生より低く、設問2の授業に対する姿勢と設問5の新しいものの見方に関しては、2019年度同様、4.0ポイント未満の低い数値となった。また新しい設問13も留学生より0.3ポイント低い数値となっている。引き続き、日本人学生の学習意欲の向上を促していく必要がある。

スポーツ学生のみに関しては、2019年度では4.0ポイントが未満の項目が多かったのに対して、本年度は全てにおいて4.0ポイント以上の高い数値となった。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201～250人
1	4.3	4.1	4.1	4.2	4.1
2	4.1	4.0	3.8	3.8	3.6
3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.0
4	4.1	4.2	4.0	4.0	3.6
5	4.1	4.1	4.0	3.9	3.8
6	4.3	4.3	4.1	4.2	4.1
7	4.1	4.3	4.0	4.0	3.7
8	4.3	4.4	4.2	4.1	3.6
9	4.2	4.3	4.1	4.1	3.8
10	4.4	4.5	4.1	4.2	3.8
11	4.1	4.0	4.0	4.0	3.8
12	4.4	4.4	4.3	4.3	4.1
13	4.1	4.2	3.9	3.9	3.4

*251～300人、300人以上は、該当クラスなし。

*履修者数別の中で、4.0以下の数値は赤字表記。

該当するクラス数は、1～50人で23、51～100人で4、101～150人で9、151～200人で11、201～250人で3である。2019年度前期に比べると、本年度は全体的に高い数値を示している。平均して数値が一番高いのは51～100人規模であり、次に高いのは1～50人規模である。それ以外はクラス規模が大きくなるにしたがって数値が低くなっている。とくに201～250人規模は9項目において4.0未満となった。

5. クロス集計について

*「設問11：教室管理」と「設問4：わかりやすさ」

		設問4						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問11	回答なし		1	4	1		
		5	1	682	258	61	18	6
		4	1	168	890	147	44	12
		3	1	72	231	254	45	17
		2		16	42	43	28	10
		1	1	4	11	16	15	30

* 「設問 11 : 教室管理」と「設問 8 : 教科書・配布資料の活用」

		設問 8						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 11	回答なし	1	1	4			
		5	3	776	170	60	7	10
		4	1	237	884	114	19	7
		3	1	107	234	243	22	13
		2	1	32	43	33	20	10
		1		9	14	14	9	31

* 「設問 11 : 教室管理」と「設問 9 : 板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

		設問 9						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 11	回答なし	2	2	1	1		
		5	1	796	179	32	13	5
		4	1	215	897	117	22	10
		3		108	197	263	42	10
		2		25	48	31	27	8
		1		12	11	9	18	27

* 「設問 11 : 教室管理」と「設問 10 : 教員の声の聞こえやすさ」

		設問 10						
		回答なし	5	4	3	2	1	
経営学部	設問 11	回答なし	2	3	1			
		5	1	840	140	30	8	7
		4	4	278	865	77	30	8
		3		117	241	229	23	10
		2		34	39	28	31	7
		1		15	13	8	8	33

設問 11「教室管理」と設問 4「わかりやすさ」、設問 8「教科書・配布資料の活用」、設問 9「板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」、設問 10「教員の声の聞こえやすさ」の 4 項目のクロス集計においては、2019 年度前期同様、いずれも「教室管理」の評価が高ければ、クロス項目の評価も高くなるという相関関係が認められる。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の分析

	科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室管理
1	中国語中級(金 3)	4.91	4.55 ②	4.55 ②
2	中国語初級(月 2)	4.68	4.11	4.11
3	(留)アカデミック日本語レベル5(木 4)	4.64	4.50 ④	4.55 ③
4	国際経済・ビジネス事情(火 4)	4.63	4.60 ①	4.62 ①
5	中国語入門(金 1)	4.56	4.52 ③	4.26 ⑩
6	中国語入門(金 2)	4.46	4.27 ⑩	3.96
7	情報リテラシー(営 4)(火 2)	4.45	4.27 ⑩	4.32 ⑧
8	中国語入門(火 1)	4.44	4.00	4.50 ④
9	(留)日本事情 II(木 1)	4.39	4.39 ⑤	4.50 ④
10	簿記 I(株式会社会計)(金 2)	4.37	4.13	4.13
11	キャリア支援講座 I(済)(水 3)	4.33		
12	情報リテラシー(済 1)(金 1)	4.28		
13	簿記 II(製造業会計)(金 3)	4.26		
14	情報リテラシー(営 2)(火 1)	4.25		
15	財務会計(水 1)	4.22		
16	経営情報論(月 1)	4.22		
17	ビジネス情報処理 I(金 3)	4.21		
18	日本史(火 2)	4.21		
19	(留)日本事情 V(木 3)	4.20		
20	情報リテラシー(営 5)(火 2)	4.19		
21	情報システムの世界(火 1)	4.16		
22	(留)日本事情 I(木 2)	4.16		
23	人的資源管理論(水 2)	4.15		
24	(日)公務員試験対策 I(就職支援含む)(火 2)	4.15		
25	情報リテラシー(営 3)(火 1)	4.13		
26	販売管理論(水 3)	4.13		
27	キャリア支援講座 I(人間)(月 2)	4.13		
28	情報リテラシー(営 1)(火 1)	4.09		
29	市民生活とキャリア形成(再 3)(月 1)	4.08		
30	(日)基礎力養成 I(B)(木 4)	4.08		
31	情報リテラシー(済 4)(金 2)	4.07		
32	情報リテラシー(済 5)(金 2)	4.04		
33	会計と資金の経営学②(水 2)	4.04		

上表では、設問4「わかりやすさ」の数値が4.0以上の科目を高い順に並べ、中央の列に設問5「新しいものの見方」、右側に設問11「教室管理」の数値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問4の数値が高い科目と設問5及び設問11の数値が高い科目に相関関係が概ね認められる。なお、設問4「わかりやすさ」の数値が4.0以上の科目は50科目中33科目（66%）であり、その割合は2019年度前期の45.7%に比べ20.3%上昇した。

***設問5「新しいものの見方」結果**

1	国際経済・ビジネス事情(火4)	4.60
2	中国語中級(金3)	4.55
3	中国語入門(金1)	4.52
4	(留)アカデミック日本語レベル5(木4)	4.50
5	(留)日本事情II(木1)	4.39
6	(留)日本事情I(木2)	4.37
7	ビジネス情報処理I(金3)	4.36
8	情報リテラシー(済4)(金2)	4.33
9	情報リテラシー(済1)(金1)	4.28
10	情報リテラシー(営4)(火2)	4.27
11	中国語入門(金2)	4.27
12	キャリア支援講座I(済)(水3)	4.25
13	キャリア支援講座I(人間)(月2)	4.19
14	情報システムの世界(火1)	4.15
15	情報リテラシー(済5)(金2)	4.15
16	情報リテラシー(営1)(火1)	4.14
17	(留)日本事情V(木3)	4.13
18	簿記I(株式会社会計)(金2)	4.13
19	人的資源管理論(水2)	4.12
20	中国語初級(月2)	4.11
21	日本史(火2)	4.10
22	情報リテラシー(営2)(火1)	4.10
23	販売管理論(水3)	4.09
24	簿記II(製造業会計)(金3)	4.07
25	経営情報論(月1)	4.03
26	アジアの中の思想(木3)	4.01
27	会計と資金の経営学②(水2)	4.01

28	中国語入門(火 1)	4.00
29	情報リテラシー(済 3)(金 1)	4.00

設問 5「新しいものの見方」において数値が 4.0 以上の科目は 50 科目中 29 科目（58%）であり、2019 年度前期（40%）より 18%上昇した。

* 設問 11「教室管理」の結果

1	国際経済・ビジネス事情(火 4)	4.62
2	中国語中級(金 3)	4.55
3	(留)アカデミック日本語レベル 5(木 4)	4.55
4	中国語入門(火 1)	4.50
5	(留)日本事情 II(木 1)	4.50
6	(留)日本事情 V(木 3)	4.40
7	情報リテラシー(済 5)(金 2)	4.33
8	情報リテラシー(営 4)(火 2)	4.32
9	(留)日本事情 I(木 2)	4.26
10	中国語入門(金 1)	4.26
11	人的資源管理論(水 2)	4.26
12	キャリア支援講座 I(済)(水 3)	4.23
13	情報リテラシー(営 5)(火 2)	4.20
14	情報リテラシー(営 1)(火 1)	4.18
15	情報リテラシー(済 4)(金 2)	4.13
16	簿記 I(株式会社会計)(金 2)	4.13
17	中国語初級(月 2)	4.11
18	情報システムの世界(火 1)	4.10
19	情報リテラシー(済 3)(金 1)	4.10
20	(日)基礎力養成 I(B)(木 4)	4.08
21	情報リテラシー(営 3)(火 1)	4.07
22	市民生活とビジネス(済)(月 1)	4.05
23	キャリア支援講座 I(人間)(月 2)	4.04
24	簿記 II(製造業会計)(金 3)	4.02
25	財務会計(水 1)	4.00
26	市民生活とキャリア形成(再 3)(月 1)	4.00

27	情報リテラシー(済1)(金1)	4.00
----	-----------------	------

設問11「教室管理」において数値が4.0以上の科目は50科目中27科目(54%)であり、その割合は2019年度前期(51.4%)より2.6%上昇した。

「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」のどれも2019年度前期より数値が上昇した。とくに「わかりやすさ」、「新しいものの見方」の上昇幅が大きかった。ただし、コロナ禍のため、2020年度と2021年度のオンライン授業形式より、本年度は2年ぶりに全面的な対面授業に切り替わった。本年度前期の評価結果は2019年度前期より良好であったとはいえ、引き続き上昇していくかどうかについては今後の評価結果を注視していく必要がある。

7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅰ,Ⅱについて

* 専門共通基礎Ⅰ

対象	有効数	科目名	設問4	設問5	設問11
全学生	127	市民生活とビジネス(済)(月1)	3.80	3.95	4.05
留学生のみ	16		3.69	4.25	4.13
留学生を除く	111		3.81	3.91	4.04
スポーツ学生のみ	8		4.13	4.38	4.13
スポーツ学生を除く	119		3.77	3.92	4.04
全学生	119	市民生活とビジネス(営)(月1)	3.73	3.66	3.82
留学生のみ	34		3.85	3.85	3.82
留学生を除く	85		3.68	3.59	3.81
スポーツ学生のみ	11		3.45	3.36	3.73
スポーツ学生を除く	108		3.76	3.69	3.82
全学生	75	市民生活とビジネス(法)(月1)	3.72	3.81	3.96
留学生のみ	9		3.78	3.78	3.78
留学生を除く	66		3.71	3.82	3.98
スポーツ学生のみ	17		4.00	4.00	4.24
スポーツ学生を除く	58		3.64	3.76	3.88

オムニバスの科目として、どのクラスも「わかりやすさ」と「新しいものの見方」において大学全体の平均数値に到達しなかった。

経済学部向けクラスでは、留学生のみの「わかりやすさ」の数値が低かったのに対して、スポーツ学生のみ数値が全体的に高かった。

経営学部向けクラスでは、留学生除くの「わかりやすさ」と「新しいものの見方」の数値が低く、とくにスポーツ学生のみ数値は2019年度前期同様、3.5以下の低い数値となった。引き続き、教員によるわかりやすい講義及び日本人学生の学習意欲を引き出す工夫などの改善策が求められる。

法学部向けクラスは、経済学部向けのクラス同様、スポーツ学生のみの数値が全体的に高かった。

*** 専門共通基礎Ⅱ**

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	127	会計と資金の経営学①(火 2)	3.95	3.95	3.98
留学生のみ	29		3.90	4.14	4.07
留学生を除く	98		3.97	3.90	3.96
スポーツ学生のみ	12		4.17	4.08	4.00
スポーツ学生を除く	115		3.93	3.94	3.98
全学生	165	会計と資金の経営学②(水 2)	4.04	4.01	3.93
留学生のみ	12		4.08	4.17	3.82
留学生を除く	153		4.03	3.99	3.93
スポーツ学生のみ	31		4.10	3.90	3.97
スポーツ学生を除く	134		4.02	4.03	3.92

－ 「会計と資金の経営学」①（経営学部必修）

「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の数値は3.95～3.98であり、2019年度前期の3.81～4.03より全体平均値が上昇した。スポーツ学生のみは4.0以上の高い結果となった。

－ 「会計と資金の経営学」②（経済・法学部選択）

「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の数値は3.93～4.04であり、「会計と資金の経営学」①同様、良好な結果といえる。

対象	有効数	科目名	設問 4	設問 5	設問 11
全学生	143	商品と流通の経営学①(火 4)	3.81	3.90	3.97
留学生のみ	36		4.06	4.11	4.17
留学生を除く	107		3.73	3.83	3.91
スポーツ学生のみ	13		3.46	3.38	3.54
スポーツ学生を除く	130		3.85	3.95	4.02
全学生	174	商品と流通の経営学②(木 1)	3.56	3.75	3.78
留学生のみ	15		4.07	4.40	4.40
留学生を除く	159		3.51	3.69	3.72
スポーツ学生のみ	47		3.60	3.68	3.77
スポーツ学生を除く	127		3.54	3.77	3.79

－ 「商品と流通の経営学」①（経営学部必修）

「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の数値は3.81～3.97であり、2019年度前期の3.27～3.66より上昇した。留学生のみは4.0以上となっており、結果は良好といえる。スポーツ学生のみは3.38～3.54と数値が低く、全体の平均値を引き下げている。

－「商品と流通の経営学」①（経済・法学部選択）

「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の数値は3.56～3.78であり、「商品と流通の経営学」①に比べると低くなっているが、留学生のみは4.07～4.40と良い結果となっている。日本人学生の学習意欲の向上を促進していく必要がある。

2022 年度前期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	3,305	3,305	2,154	65.17
【全体】	18,645	18,019	12,502	69.38

法学部の専任教員担当科目のうち 28 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 65.17%であった。経済学部よりは高いが、他の学部学科より低い数値である。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.0
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	3.9

大半の項目が 4.0～4.2 の範囲となっている。もっとも評価が高い項目は、設問 12 である。逆に最も評価が低いのは、設問 2 と設問 13 である。学習意欲や授業に対する満足といった点に注意する必要がある。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	4.0	4.3	4.0	4.0	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	3.9	3.8	4.0	3.7
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2	4.4	4.1	4.3	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.0	4.0	4.0	4.1	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.0	4.0	4.0	4.2	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.1	4.3	4.1	4.1	3.9
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.0	4.0	3.9	4.0	3.8
E	あなたは、この授業のシラバスを分かっていますか(結果は%単位)	75.0	69.1	67.0	89.2	69.3

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.9	4.2	3.8	3.9	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.5	4.1	4.3	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.2	4.1	4.2	4.2
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.2	4.0	4.1	4.1
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0
E	あなたは、この授業のシラバスを分かっていますか(結果は%単位)	74.1	72.0	69.2	81.3	76.1

まず、学生全体について、設問毎にみると、設問2(学生の意欲的な取組)の数値が低いことが目につく。逆に、設問3(シラバスに沿った授業)や設問6(教員の熱意)、設問10(教員の声)、設問12(授業時間の遵守)は高い傾向にある。設問E(シラバスを読んだか)は、2019年以前は、ほぼ50%を割る状況が続いていただけに、隔世の感がある。学年別に見ると、3年生の数値が高く、4年生の数値が低い。3年生はコロナ禍の影響が大きく、全国的にも学生生活への満足度が低い傾向が指摘されていた学年であり、今回のアンケート結果の大きな特徴といえる。一方、2019年度以前は、4年生は概ね高い数値を示す傾向にあっただけに、4年生の数値が低いことも大きな特徴といえる。他に、1年生の数値が高く、2年生の数値が比較的低い。

次に、スポーツ学生について、全体的な数値は、むしろ、学生全体よりも高い。設問毎にみると、設問1(出席)が、全体よりも低く、逆に、設問3(シラバスに沿った授業)などは、全体よりも高い。学年別に見ると、1年生と3年生の数値が高く、2年生と4年生の数値が低い。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.9	3.9	4.0	4.1	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.2	4.0	3.9	3.8	3.9
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.5	4.1	4.1	3.9	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.5	4.2	4.1	4.0	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.6	4.3	4.2	4.2	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.5	4.2	4.1	4.0	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.4	4.2	4.0	4.0	3.8
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.6	4.3	4.2	4.1	4.1
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.4	4.1	4.0	3.9	3.9
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.6	4.3	4.3	4.2	4.2
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.4	4.1	3.9	3.9	3.9

※ 履修者数が250名を超えるクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1~50名規模のものが5、51~100名規模のものが4、101~150名規模のものが10、151~200名規模のものが8、201~250名規模のものが1ある。

履修者数別に平均値を見ると、1名~50名規模は4.4、51名~100名規模は4.2、101名~150名規模は4.1、151名~200名規模は4.0、201名~250名規模は4.0となっている。少人数授業については、評価が高い傾向が見られるが、一定以上のクラス規模になると、全体的な差異は見られない。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(教)社会科教育法Ⅰ(火4)	4.64	4.64①
市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.57	4.40⑥
憲法(金3)	4.53	4.47③
政治の世界(木4)	4.53	4.58②
(教)教育実習Ⅰ(高一免用)(中一免用)(年)21後-22前(火5.木5)	4.45	4.45④
キャリア支援講座Ⅰ(法)(水3)	4.45	4.43⑤
地域創生と文化遺産(木4)	4.43	4.37⑨
キャリア支援講座Ⅰ(営)(月2)	4.42	4.40⑦
(教)社会科・公民科教育法Ⅰ(火3)	4.31	4.38⑧
西洋史(金4)	4.27	4.20
企業と法②(水1)	4.25	4.20
(日)公務員・就職試験基礎力養成Ⅰ(SPI含む)(火3)	4.24	4.04
歴史との対話(水2)	4.21	4.28⑩
知的財産法(水2)	4.12	4.15
市民生活と法(法)(木1)	4.09	4.08
特殊専門講義Ⅱ(税理士による租税講座)(木2)	4.04	4.21
特殊専門講義Ⅱ(中国法)(金4)	4.04	4.22
企業と法①(水1)	3.99	3.88
裁判と法①(木2)	3.96	3.97
租税法(金2)	3.90	3.99
市民生活と法(営)(木1)	3.80	3.99
裁判と法②(木2)	3.77	3.93
債権各論(火1)	3.77	3.75
民法総則(金1)	3.76	3.83
市民生活と法(済)(木1)	3.64	3.86
刑法各論(金3)	3.61	3.97
法哲学(金1)	3.47	3.65
行政法総論(水1)	3.31	3.58

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。なお、それぞれ「企業と法」及び「裁判と法」の①は法学部生向け、②は他学部生向けのクラスである。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
(教)教育実習Ⅰ(高一免用)(中一免)	4.64
憲法(金3)	4.53
(教)社会科教育法Ⅰ(火4)	4.45
キャリア支援講座Ⅰ(営)(月2)	4.29
キャリア支援講座Ⅰ(法)(水3)	4.28
市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.27
特殊専門講義Ⅱ(中国法)(金4)	4.25
政治の世界(木4)	4.25
(教)社会科・公民科教育法Ⅰ(火3)	4.23
歴史との対話(水2)	4.21

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	2			1		
		5		505	130	36	6	1
		4	2	126	644	122	24	2
		3		43	155	219	35	11
		2	1	11	28	11	10	4
		1	1	4	7	1	3	9
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	2		1			
		5	26	514	108	23	4	3
		4	25	174	624	85	8	4
		3	6	61	160	215	16	5
		2	3	8	25	19	8	2
		1	1	3	4	7	2	8
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	2	1				
		5		529	118	23	7	1
		4	1	145	625	117	25	7
		3		53	138	224	37	11
		2		11	15	22	9	8
		1	1	2	7	3	3	9
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	2	1				
		5		596	62	19	1	
		4	4	208	626	71	7	4
		3	2	76	174	184	24	3
		2		13	25	14	5	8
		1	1	3	5	2	3	11

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問4、設問8、設問9、設問 10 とで行なわれている。今年度前期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	77	市民生活と法(済)(木1)	3.64	3.86	3.87
留学生のみ	10		3.70	4.00	4.10
留学生を除く	67		3.63	3.84	3.84
全学生	132	市民生活と法(営)(木1)	3.80	3.99	4.09
留学生のみ	35		3.74	4.06	4.03
留学生を除く	97		3.81	3.97	4.11
スポーツ学生のみ	9		4.11	4.00	4.33
スポーツ学生を除く	123		3.77	3.99	4.07
全学生	80	市民生活と法(法)(木1)	4.09	4.08	3.91
留学生のみ	10		3.70	3.90	3.70
留学生を除く	70		4.14	4.10	3.94
スポーツ学生のみ	19		4.32	4.16	4.21
スポーツ学生を除く	61		4.02	4.05	3.82
全学生	15	市民生活とキャリア形成(再2)(月1)	4.57	4.40	4.27

専門共通基礎 II

全学生	108	企業と法①(水1)	3.99	3.88	3.92
留学生のみ	11		3.80	3.70	3.90
留学生を除く	97		4.01	3.90	3.93
スポーツ学生のみ	41		4.10	3.98	4.02
スポーツ学生を除く	67		3.92	3.82	3.86
全学生	113	企業と法②(水1)	4.25	4.20	4.20
留学生のみ	23		4.57	4.43	4.65
留学生を除く	90		4.17	4.13	4.09
全学生	115	裁判と法①(木2)	3.96	3.97	3.87
留学生のみ	14		4.00	4.29	3.93
留学生を除く	101		3.95	3.93	3.86
スポーツ学生のみ	39		3.95	3.95	3.87
スポーツ学生を除く	76		3.96	3.99	3.87
全学生	110	裁判と法②(木2)	3.77	3.93	3.99
留学生のみ	6		4.17	4.17	4.83
留学生を除く	104		3.75	3.91	3.94
全学生	116	国際社会と法①(火2)	3.85	3.78	4.11
留学生のみ	12		3.92	4.00	4.00
留学生を除く	104		3.85	3.76	4.13
スポーツ学生のみ	45		4.00	3.96	4.07
スポーツ学生を除く	71		3.76	3.68	4.14
全学生	100	国際社会と法②(火1)	4.11	4.21	4.22
留学生のみ	18		4.11	4.24	4.17
留学生を除く	82		4.11	4.21	4.23
スポーツ学生のみ	5		4.60	4.80	4.80
スポーツ学生を除く	95		4.08	4.18	4.19

今学期の専門共通基礎 I は、「市民生活と法」「市民生活とキャリア形成（再履修）」が分析の対象となっている。設問 4（わかりやすさ）でいうと、スポーツ学生の方が平均値が高い傾向が見られ、留学生は平均値が低い傾向となっている。「市民生活と法」は同じ教員 3 名によるオムニバスであるにもかかわらず、クラスによって大きく数値が異なることにも注意する必要がある。

専門共通基礎 II については、それぞれの科目の①が科目設置学部学生向け、②がそれ以外の学部学生向けとなっている。①と②を比較すると、「裁判と法」では、①の方が若干平均値が高いものの、「企業と法」「国際社会と法」では①より②の方が平均値が高い。スポーツ学生の平均値が高いのは、専門共通基礎 I と同じであるが、留学生は、専門共通基礎 II 科目では、むしろ日本人学生より高い傾向にある。コロナ禍の影響に注意しつつ、引き続き、傾向を見ていく必要がある。

2022年度前期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科FD委員会

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは42科目について行われた。今回の回答率は78.01%であり、大学全体よりも高い値となっている（表1）。

表1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	1,425	1,387	1,082	78.01
【全体】	18,645	18,019	12,502	69.38

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表2から、どの設問に関しても比較的高いポイント（すべての設問に対し4.0以上のポイント）が得られていることが明らかとなった。ただし、設問2「あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか」と新設された設問13「この授業のやり方でほかの授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか」は、他の設問よりやや低い評価となった。設問13に関しては、教員が学生に合わせて授業を行っており、この科目だからこそ、この授業方法がよいと感じているのではないかと思われる。

表2

	設問項目	本学科	大学全体
1	あなたは授業によく出席しましたか	4.3	4.19
2	あなたは予習・復習を含め授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.1	3.90
3	授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.4	4.27
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.2	4.05
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.2	4.05
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.4	4.24
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.3	4.09
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.2	4.17
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.3	4.12
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.4	4.22
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.3	4.05
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.4	4.33
13	この授業のやり方でほかの授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.1	3.95

設問5 新しいものの見方・考え方については、平均値上位10名中7名（表3）、設問11教室・授業管理については、上位10名中4名が教育保育学科教員であった（表4）。学科教員の授業方法について、非常に高い評価を獲得できたため、今後も継続して、学科全体で創意工夫をしながら、授業を行っていききたい。

表3「設問5 新しいものの見方・考え方について」

No.	科目名	平均	所属名
1	音楽(金 4)	4.91	人間生活科学部・教育保育学科
2	英語コミュニケーション(3)(木 2)	4.90	非常勤
3	子どものことばと文学(2 組)(月 2)	4.86	人間生活科学部・教育保育学科
4	造形演習(2 組)(金 3)	4.82	人間生活科学部・教育保育学科
5	図画工作(水 2)	4.77	人間生活科学部・教育保育学科
6	Q2(留)日本語コミュニケーションレベル 4(木 3.金 3)	4.75	非常勤
7	道徳の理論と指導法(小)(月 3)	4.75	非常勤
8	幼児体育(2 組)(金 4)	4.71	人間生活科学部・教育保育学科
9	保育リーダーシップ論(木 3)	4.68	人間生活科学部・教育保育学科
10	教科教育法(社会)(月 2)	4.68	人間生活科学部・教育保育学科

表4「設問11 教室管理・授業運営について」

No.	科目名	平均	所属名
1	英語コミュニケーション(3)(木 2)	4.90	非常勤
2	幼児体育(2 組)(金 4)	4.86	人間生活科学部・教育保育学科
3	コリア語入門(金 1)	4.73	非常勤
4	音楽(金 4)	4.73	人間生活科学部・教育保育学科
5	造形演習(2 組)(金 3)	4.71	人間生活科学部・教育保育学科
6	英語コミュニケーション(1)(水 3)	4.67	非常勤
7	コリア語入門(木 2)	4.65	非常勤
8	子どものことばと文学(2 組)(月 2)	4.64	人間生活科学部・教育保育学科
9	(教)教育実習 I(高一免用)(中一免用)	4.64	法学部
10	(教)栄養教諭論I(火 4)	4.64	人間生活科学部・管理栄養学科

3. 学生視点からのデータ分析（教育保育学科）

（1）学年別の結果

表5

	1年	2年	3年	4年
1	4.4	4.2	4.3	4.0
2	4.3	4.1	<u>3.8</u>	4.1
3	4.4	4.5	4.3	4.3
4	4.3	4.3	4.0	4.4
5	4.2	4.4	4.0	4.3
6	4.4	4.5	<u>4.4</u>	<u>4.6</u>
7	4.3	4.3	4.2	4.5
8	4.3	4.4	4.3	4.5
9	4.4	4.4	4.2	4.4
10	<u>4.5</u>	4.5	<u>4.4</u>	4.6
11	4.3	4.3	4.2	4.4
12	<u>4.5</u>	<u>4.6</u>	<u>4.4</u>	<u>4.6</u>
13	4.0	4.2	3.9	4.1

すべての学年で設問12の「教員は授業時間を守っていた」と回答する割合が高く、さらに高学年では「教員の教え方に熱意があった」と回答する割合が高かった。一方、全学年を通して最も低いポイントは3年設問2「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」の3.8であった。コロナ禍以前の2019年のアンケートでもこの項目は低いポイントであったが他学年は数値が改善しているため、実習が集中し多忙な3年で予習復習を進められるような指導やサポートが必要であろう。

また、ほとんどの項目で2019年のアンケートよりも高いポイントを得ているのは、コロナ禍を経て、1回1回の授業に真剣に取り組むことが大切だということが実感できたからではないかと分析する。

(2) スポーツ推薦入学の学生

表6

	1年		2年		3年		4年	
	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く	スポーツ 学生のみ	スポーツ 学生除く
1	4.7	4.4	<u>3.6</u>	4.3	<u>3.8</u>	4.4	<u>3.4</u>	4.2
2	4.4	4.2	4.2	4.1	<u>3.2</u>	<u>3.9</u>	4.2	4.1
3	4.5	4.4	4.5	4.5	4.0	4.3	4.5	4.3
4	4.2	4.3	4.3	4.3	<u>3.8</u>	4.1	4.4	4.4
5	4.3	4.2	4.4	4.4	<u>3.7</u>	4.1	4.5	4.2
6	4.2	4.4	4.4	4.5	4.2	4.4	4.5	4.6
7	4.2	4.4	4.2	4.4	4.2	4.2	4.5	4.5
8	4.3	4.3	4.7	4.4	4.1	4.3	4.4	4.5
9	4.5	4.4	4.6	4.4	<u>3.9</u>	4.2	4.4	4.4
10	4.6	4.5	4.6	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6
11	4.2	4.3	4.7	4.2	4.1	4.2	4.5	4.3
12	4.7	4.4	4.7	4.6	4.2	4.4	4.6	4.6
13	4.1	4.0	4.2	4.2	<u>3.6</u>	4.0	4.3	4.1

4.0未満の数値を太字下線で表した。3年の設問2以外は、4.0未満の項目はすべてスポーツ推薦で入学した学生であった。特筆すべきは、設問1「授業に出席したか」の項目で1年は4.7と高い値であるのに対し、2,3,4年では4.0未満の低い値となっていることである。また、低学年では項目によってはスポーツ学生の方が高い値であるのに対し、3年では4.0未満の項目が6項目もあることから、学外実習が本格化する高学年になると部活と勉強の両立が困難になるのではないかと分析する。

4. シラバスについて

今年度より、設問Eの内容が変更され、「あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか」という質問になった。55.5%の学生が「1. はい」と回答している。半分以上の学生がシラバスを理解して授業に臨んでいるが、初回授業でシラバスを説明するなど、100%に近づくよう指導していくことが必要である。また、受講人数が多い授業ほどシラバスを理解している学生の割合が高いことも特徴的である（表7）。

表7

受講者数	1～50人	51～100人	101～150人	全体
シラバスを分かっている学生の割合	52.3	59.9	66.5	55.5

(%)

2022 年度前期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	305	291	95	18,645	18,019	12,502	69
人間生活科学部・管理栄養学科	54	54	100	2,193	2,193	1,828	83

実施予定 54 科目のすべてが実施され、回収率は 100%、回答率も全体の 69% に比較し、83% と高い回答率であった。

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについての 2022 年度前期と 2019 年度前期の比較

設問	内 容	2022年度前期		2019年度前期	
		管理栄 養学科	全体	管理栄 養学科	全体
	全平均値	4.14	4.13	4.08	4.00
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.48	4.19	4.65	4.19
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.87	3.90	3.70	3.79
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること	4.31	4.27	4.14	4.15
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.03	4.05	3.94	3.90
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.99	4.05	3.89	3.83
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.26	4.24	4.11	4.08
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.06	4.09	3.96	3.92
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.16	4.17	4.11	4.03
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.11	4.12	4.06	3.96
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.18	4.22	4.15	4.11
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.11	4.05	4.01	3.92
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.37	4.33	4.19	4.15
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	3.92	3.95	—	—

2019 年度前期に比較し、設問 1 を除くすべての項目で 2022 年度前期の方が高い値を示した。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により教育現場では、オンライン授業や感染拡大の予防など、大きな変化を余儀なくされたが、現在、本学科では管理栄養士養成課程に関わるすべての授業を対面授業としている。その結果、新型コロナ感染拡大の以前の 2019 年より、学生の学習意欲が高まったのではないかと考えられる。一方、設問 1 の値が低いことから、新型コロナウイルス感染により、やむなく出席できない学生がいることが推察される。

全体と比較すると、設問 2、設問 4、設問 5、設問 7、設問 8、設問 10、設問 13 が低く、設問 2、設問 5、設問 13 はポイント 4 を下回っていた。

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

設問	1年生		2年生		3年生		4年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
平均	672	4.1	517	4.1	514	4.2	48	4.2
1	703	4.7	542	4.5	538	4.5	50	4.2
2	705	3.7	542	4.1	539	4.0	50	4.1
3	289	4.4	306	4.3	281	4.4	23	4.3
4	705	3.9	543	4.0	539	4.1	50	4.3
5	705	3.9	541	4.1	539	4.1	50	4.2
6	705	4.2	540	4.1	537	4.3	49	4.3
7	704	4.0	541	4.0	539	4.2	50	4.2
8	703	4.2	521	4.0	536	4.2	50	4.0
9	705	4.1	480	4.1	478	4.3	49	4.2
10	702	4.1	540	4.0	537	4.4	48	4.5
11	705	4.0	542	4.1	539	4.2	49	4.1
12	705	4.4	543	4.2	538	4.4	50	4.3
13	699	3.8	542	3.9	539	4.0	50	4.1

低学年ほど出席率は良いが、全体の平均ポイントが低く、1年生では「設問2：学習意欲」「設問4：わかりやすさ」「設問5：新しいものの見方」「設問13：教え方」がポイント4を下回り、2年生では「設問13：教え方」がポイント4を下回った。

特に1年生で「設問2：学習意欲」が著しく低かった結果を踏まえ、低学年から医療人として管理栄養士となる覚悟と関心を強化するために、早期体験実習 (Early exposure) 導入の必要性があるのではなかと考える。

4年生で出席率が低い原因は、主に就職活動によるものである。

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1年生	2年生	3年生	平均	1年生	2年生	3年生	平均
平均	4.0	4.2	3.9	4.4	4.1	4.1	4.3	4.2
1	4.7	4.7	4.6	3.8	4.7	4.5	4.5	4.3
2	3.6	4.2	3.6	4.2	3.7	4.1	4.1	4.1
3	4.0	4.4	4.4	4.6	4.4	4.3	4.5	4.2
4	3.8	4.1	3.7	4.5	3.9	4.0	4.2	4.3
5	3.9	4.1	3.7	4.7	3.9	4.1	4.2	4.1
6	4.1	4.2	4.0	4.5	4.2	4.1	4.4	4.3
7	3.9	4.1	3.6	4.3	4.0	4.0	4.2	4.2
8	4.1	4.1	3.9	4.2	4.2	4.0	4.2	4.0
9	3.8	4.2	4.1	4.3	4.1	4.0	4.3	4.2
10	4.0	4.1	4.0	4.3	4.1	3.9	4.4	4.5
11	4.1	4.2	3.9	4.3	4.0	4.1	4.3	4.0
12	4.3	4.2	4.2	4.7	4.4	4.2	4.4	4.3
13	3.7	4.0	3.6	4.5	3.8	3.9	4.1	4.0

非スポーツ学生に比較し、スポーツ学生では、特に1年生、3年生でポイント4を下回る

設問が多かった。1年生では大学生活に不慣れな中でスポーツと学習を両立させなければならぬことが考えられ、3年生では専門科目が増えて更に臨地実習が始まり、スポーツでは試合があり、管理栄養士養成課程での文武両道の難しさがうかがえる結果であった。

4. 「設問4：わかりやすさ」＝理解度における専門科目ごとのクラス間の比較

科目名	学年	平均	1組	2組
食品学実験I	1	4.48	4.57	4.39
食品学I	1	4.33	4.42	4.23
調理学	1	4.20	4.25	4.16
調理科学実験	1	4.10	3.90	4.29
健康管理論	1	3.95	4.06	3.85
生化学実験I	1	3.67	3.77	3.56
生化学I	1	3.37	3.71	3.03
解剖生理学I	1	2.61	2.68	2.55
		3.84	3.92	3.76

科目名	学年	平均	1組	2組
基礎栄養学I	2	4.44	4.19	4.68
公衆栄養学II	2	4.32	4.24	4.41
応用栄養学I	2	4.21	4.11	4.30
応用栄養学実習	2	4.13	4.00	4.27
病態学I	2	3.30	3.07	3.52
		4.04	3.38	4.16

科目名	学年	平均	1組	2組
公衆衛生学I	3	3.97	4.06	3.87
公衆栄養学実習	3	4.20	4.17	4.23
応用栄養学演習	3	4.20	4.16	4.23
臨床栄養学II	3	4.14	3.97	4.32
臨床栄養学実習I	3	4.07	4.00	4.14
栄養教育論II	3	4.05	4.20	3.89
栄養教育論実習II	2	4.20	4.13	4.28
		4.12	4.10	4.14

科目名	学年	平均	1組	2組
臨床栄養学演習	4	4.36	4.65	4.06

1年生では、1組の平均ポイント3.92に比較し、2組の平均ポイントは3.76と低い傾向を示したが、優位な相関関係は認められなかった ($p=0.15$)。

2年生では、1組の平均ポイント3.42に比較し、2組の平均ポイントは4.16と高く、優位な相関関係が認められた ($p=0.01$)。

3年生では、1組の平均ポイント4.10に比較し、2組の平均ポイントは4.14と高い傾向を示したが、優位な相関関係は認められなかった ($p=0.67$)。

本学科は、これまで入学後にクラス変えをすることはなかったが、今後、そのメリットとデメリットを検討し、4年間でクラス編成が必要か否か、もっとも良い方法を考えたい。

5. 「設問 11：教室管理」に対する各設問のクロス集計

【管理栄養学科】

	設問4					
	回答なし	5	4	3	2	1
回答なし		1	2			
5		431	174	43	7	5
4		123	526	104	36	5
3		27	114	130	27	10
2		5	20	8	10	3
1			3	6	4	4

	設問9					
	回答なし	5	4	3	2	1
回答なし		1	1	1		
5		54	463	103	24	13
4		51	132	513	71	19
3		17	37	92	128	29
2			11	14	10	6
1			2	5	3	2

	設問8					
	回答なし	5	4	3	2	1
回答なし		1		1		
5		7	491	125	31	3
4		6	142	550	77	15
3		1	46	103	138	17
2			10	18	9	8
1			3	6	1	2

	設問10					
	回答なし	5	4	3	2	1
回答なし		1	1	1		
5		2	536	84	26	10
4		4	183	514	62	19
3		2	51	94	125	20
2		1	12	16	6	6
1			4	4	2	1

「設問 11：教室管理」が高いと、「設問 4：授業内容のわかりやすさ」、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：板書、スクリーン・モニターの見やすさ」、「設問 10：声の聞き取りやすさ」も高く、関連性が認められた。さらに教育の質を上げ、学生の受講意欲を高める工夫が望まれる。

6. 考察

回収率 100%、回答率 83%と高かったが、更に回答率を上げるためには、アンケート実施日に欠席した学生がオンラインで回答できる期間を設けることを提案したい。

低学年から医療人として管理栄養士となる覚悟と関心を強化するために、早期体験実習 (Early exposure) の導入を検討する。

病気や試合、臨地実習など、やむを得ない事由で授業を欠席する学生に対して、どのような支援を行うべきかを検討し、標準化する。

クラス間で評価ポイントに差が認められたことから、入学後 4 年間でクラス編成を行う必要があるのか、また行うとしたらどのようにしたら良いのかを検討する。

管理栄養士の素養と技能を向上させる質の高い教育を実践するために、関連する専門科目間の連携を図り、話し方、伝え方、使用する教材などの教育方法についても教員間で情報交換しながら、更なる教育方法の改善・開発が必要である。

2022 年度前期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

1 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

前期授業評価アンケート対象科目 109 科目のうち、非常勤講師担当は 99 科目についてアンケートが実施された。これは全実施科目の約 34%に当たる。

実施科目の内訳は、英語科目 31、情報科目 15、留学生用日本語科目 19、諸外国語 12、その他共通科目 14、学部学科専門科目等 26 であった。

なお、非常勤講師担当科目中、授業評価アンケートを実施することが出来なかった 1 科目は、急な担当者変更の結果、授業の開講時期が変更され、その結果、アンケート実施期間中に、授業を終えることが出来なかったものである。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
非常勤	107	97	90.65	97	100
【全体】	305	291	95.41	285	97.94

所属名	対象科目履修者数 (D)	回収科目履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
非常勤	3,950	3,406	2,353	69.08
【全体】	18,645	18,019	12,502	69.38

回答率は、全体平均を若干下回っている。

2 集計結果について

設問内容

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか
E	あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか

(1) 非常勤講師担当授業全体の平均ポイント

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問E (Yes率)
4.1	4.0	4.3	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.4	4.1	70.4

全ての設問で、4.0以上となっており、適切な授業が行われたものと評価できる。

(2) クラスサイズ別の平均ポイント

履修者数別	クラス数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問E (Yes率)
1-50	89	4.2	4.1	4.4	4.2	4.1	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4	4.2	4.5	4.1	70.2%
51-100	1	4.4	3.5	4.0	2.9	3.3	3.9	3.5	4.1	3.9	4.3	3.7	4.4	2.8	52.3%
101-150	6	4.0	3.9	4.2	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	3.8	4.3	4.0	69.9%
151-200	1	4.3	3.9	4.3	4.0	4.0	4.1	4.1		4.1	4.2	3.8	4.2	4.0	82.4%

実施科目 97 科目中、89 科目が履修者数 50 人までの少人数科目である。

履修者数 1-50 人のクラスでは、いずれも、全ての設問で、平均値が 4.0 以上となっており、適切な授業が行われたものと評価できる。

一方、履修者数 51 人以上のクラスでは、設問 2(学生の熱意)が、4.0 を下回るなど、受講者の意識の低下が見られる。履修者数 51-100 人のクラスは、全体的に評価が悪いが、履修者数 101 以上のクラスではこれよりよい数値となっており、当該クラス特有の事情によるものと思われる。なお、履修者数 151-200 人のクラスの設問 8 の数値が空白になっているのは、当該クラスにおいて、設問 8 を集計から除外したためである。

(3) 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

ア 英語科目

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
必修	基礎英語 I	A	3.42	3.57	3.77
	基礎英語 I	B	4.48	4.36	4.40
	基礎英語 I	C	4.36	4.24	4.34
	基礎英語 I	D	4.21	4.05	4.17
	基礎英語 I	E	4.43	4.33	4.39
	基礎英語 I	F	4.55	4.46	4.45
	基礎英語 I	A	3.61	3.58	3.82
	基礎英語 I	B	4.32	4.19	4.25
	基礎英語 I	C	4.21	4.08	4.17
	基礎英語 I	D	4.20	4.01	4.14
	基礎英語 I	F	4.17	4.00	4.12
	基礎英語 I	E	4.13	3.97	4.11
	基礎英語 I(再)	E	4.78	4.56	4.56
	基礎英語 I(再)	C	4.33	4.20	4.27
	スキルアップ英語 I	A	3.82	3.75	3.92
	スキルアップ英語 I	B	4.50	4.36	4.40
	スキルアップ英語 I	C	4.24	4.10	4.18
	スキルアップ英語 I	D	3.92	3.82	4.00
	スキルアップ英語 I	E	4.29	4.17	4.21
	スキルアップ英語 I	A	3.83	3.77	3.96
	スキルアップ英語 I	B	4.52	4.45	4.44
	スキルアップ英語 I	C	3.96	3.83	4.03
スキルアップ英語 I	D	3.90	3.80	4.00	
スキルアップ英語 I	E	4.50	4.38	4.41	

	スキルアップ英語 I(再)	E	4.45	4.34	4.39
	スキルアップ英語 I(再)	A	4.18	4.00	4.13
	英語コミュニケーション	E	4.36	4.24	4.33
	英語コミュニケーション	F	4.21	4.04	4.17
	英語コミュニケーション	B	4.37	4.26	4.36
	英語コミュニケーション	C	4.56	4.50	4.50
一部 必修	英語コミュニケーション	G	4.33	4.21	4.32
	英語コミュニケーション	G	4.00	3.83	4.03
	英語コミュニケーション	D	4.90	4.90	4.90
	英語リーディング	H	4.56	4.47	4.48
	英語リーディング	H	4.27	4.17	4.20
選択	トピック対策英語 II	H	4.25	4.14	4.18

※ 「一部必修」は、一部の学部学科にとっては、必修科目であるが、他の学部学科によっては選択科目であることを示す。

8名の非常勤講師が36のクラスを担当した。なお、「基礎英語 I」と「スキルアップ英語 I」は、それぞれ、社会科学系3学部の1年次と2年次の必修科目である。「英語コミュニケーション」と「英語リーディング」は、社会科学系3学部では選択科目であるが、人間生活科学部管理栄養学科では必修科目となっている。

必修・選択を問わず、概ね、適正に授業が行われているものと思われるが、担当者 A が 4.0 を下回る評価となっている点が目に付く。他に、担当者 C と D も一部科目で 4.0 を下回る評価を得ている。授業の改善を期待したい。

イ 情報科目

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
必修	情報リテラシー	I	4.31	4.18	4.24
	情報リテラシー	J	3.83	3.75	3.94
	情報リテラシー	J	4.50	4.45	4.43
	情報リテラシー	I	4.25	4.10	4.18
	情報リテラシー	J	3.61	3.61	3.84
	情報リテラシー	I	4.32	4.19	4.25
	情報リテラシー	J	3.72	3.67	3.89
	情報(Word)	K	3.83	3.78	3.96

選択必修	情報(Word)	K	4.42	4.32	4.37
	情報(Excel)	L	4.33	4.21	4.31
	情報(Excel)	K	4.22	4.08	4.17
	情報(Power Point)	K	3.75	3.68	3.90

※ 「一部必修」は、一部の学部学科にとっては、必修科目であるが、他の学部学科にとっては選択科目であることを示す。

4名の非常勤講師が12のクラスを担当した。「情報リテラシー」は全ての学部で必修科目である。また、社会科学系3学部では、「情報(Word)」「情報(Excel)」「情報(Power Point)」が選択必修となっているが、前期で「情報」を履修しているのは、2年次以降の学生である。

担当者Iは、いずれのクラスでも4.0を上回る評価を得ているが、担当者JとKは、クラスによって、評価に差がある。もっとも、情報科目は、全て履修者50名以下の少人数クラスであるにも関わらず、評価の低いクラスが目立つ。情報科目のあり方も含めて、再度検討する必要があるかもしれない。

ウ 留学生対象日本語科目

科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル2	L	4.35	4.22	4.32
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル2	L	4.57	4.50	4.50
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル4	M	4.81	4.61	4.63
Q2(留)日本語コミュニケーションレベル4	M	4.41	4.29	4.36
Q2(留)アカデミック日本語レベル2	N	4.19	4.00	4.13
Q2(留)アカデミック日本語レベル2	N	4.09	3.96	4.09
Q2(留)アカデミック日本語レベル2	O	4.19	4.00	4.13
Q2(留)アカデミック日本語レベル2	O	4.09	3.96	4.09
(留)日本語コミュニケーションレベル7	P	4.69	4.54	4.54
(留)アカデミック日本語レベル3	Q	4.69	4.50	4.52
(留)アカデミック日本語レベル7	R	4.59	4.50	4.50
(留)日本事情 III	S	4.25	4.13	4.18
(留)日本事情 IV	S	4.64	4.50	4.50

※ 「Q2」は、クォーター制における、第2クォーターを意味する。

8名の非常勤講師が13のクラスを担当した。留学生対象日本語科目では、1年生を対象に、クォーター制を採用している。クォーター制科目は、全て1年生のみが受講者である。

1年生は、入学時に、アカデミック、コミュニケーション、それぞれについてクラス分けを行われ、順調にいけば、各クォーター毎に、レベルが1ずつ上がっていく

全体的に評価は高いが、担当者 N と O の授業が比較的数値が悪い。

エ 諸外国語科目

科目名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
コリア語入門	4.78	4.56	4.56
コリア語入門	4.77	4.56	4.55
コリア語入門	4.56	4.47	4.50
コリア語入門	4.81	4.61	4.56
コリア語入門	4.83	4.64	4.64
コリア語入門	4.83	4.75	4.67
コリア語入門	4.86	4.75	4.73
ポルトガル語入門	4.00	3.86	4.04
ポルトガル語入門	4.00	3.85	4.04
スペイン語入門	3.67	3.64	3.88
スペイン語入門	3.86	3.79	4.00

諸外国語科目は、各言語を1人の非常勤講師が担当している。諸外国語科目は、人間生活科学部管理栄養学科を除く、学部学科において、選択必修となっている。

特に「コリア語入門」は、全般的に、非常に高い評価を得ている。「ポルトガル語」と「スペイン語」は、相対的に低い評価を得ている。

オ その他の共通科目

科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
交通と社会(火1)	S	3.89	3.79	4.00
文学と現代(月2)	T	4.29	4.17	4.22
文学と現代(月3)	T	4.26	4.15	4.19
ジェンダーと現代社会(木3)	U	3.75	3.73	3.91
アートと現代社会(火4)	V	4.01	3.88	4.05
科学と人間社会II(水3)	W	4.07	3.94	4.07

「文学と現代」の評価はよいが、その他は振るわない。今後の改善を期待したい。

カ 学部学科専門科目等

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
専門共通基礎	市民生活とキャリア形成(再1)	X	4.45	4.35	4.40
専門科目	中小企業論	Y	4.04	3.89	4.06
	マネジメント特論(ドラッカー)	Z	4.33	4.20	4.31
	教育の方法・技術(幼・小)	α	2.91		3.22
	子どもの健康と安全	β	4.05	3.91	4.06
	教科教育法(外国語)	γ	4.08	3.95	4.08
	道徳の理論と指導法(小)	δ	4.83	4.67	4.65
	生徒・進路指導論	ε	4.27	4.17	4.20
	給食経営管理論 I	ζ	3.24		3.70
	給食経営管理論 I	ζ	3.15		3.66
	栄養調理学実習	ζ	3.36	3.54	3.75
	栄養調理学実習	ζ	3.73	3.67	3.90
	食品衛生学実習 I	η	4.41	4.31	4.36
	食品衛生学実習 I	η	4.32	4.19	4.26
	食品衛生学 I	η	4.17	4.00	4.11
食品衛生学 I	η	4.08	3.95	4.08	
専門・教職	特別活動・総合的な学習の時間の指導法／(教)特別活動・総合的な学習の時間の指導法	θ	4.13	4.00	4.11
教職	(教)教育の方法・技術(中・高・栄養)	α	3.35	3.30	3.71
	(教)道徳の理論と指導法	δ	4.81	4.61	4.62

概ね、高い評価を得られている。もっとも、担当者 α と ζ の担当科目は、軒並み評価が低い。改善を期待したい。

2022 年度後期 経済学部授業評価アンケート報告書

1. 実施概要

ここでは、2022 年度後期授業評価アンケートのうち、経済学部所属教員が開講する各科目の結果を示し、その要因や背景を分析する。2022 年度後期は、対面授業が実施され、授業評価アンケートは紙媒体で実施された。そこで、ここでは同様の条件でアンケートが実施された、2019 年度後期および 2022 年度前期の授業評価アンケート結果を主な比較対象とする。

4では、学生の属性による授業評価アンケート結果の特性について検討する。属性としては、留学生、スポーツ推薦により入学した学生、それら以外の学生、および学年を取り上げる。ここで学生の属性をこのように分ける理由は、留学生については日本語を母語とせず、背景となる学習履歴が異なること、スポーツ推薦により入学した学生については強化指定クラブでの活動と学習を両立させる必要があることから、いずれも学習の動機づけ、科目選択や将来の目標などの志向、困難点などがそれら以外の学生と異なることが想定されるためである。

表 1 に、2019 年度と 2022 年度の経済学部在籍学生数を示す。2022 年度は、2019 年度に比べて在籍学生数は約 1.2 倍に増えているが、そのうち留学生が占める割合は 25%から 15%弱へと減少している。

表 1 経済学部在籍学生数 (2019 年度 7 月 1 日現在、及び 2022 年 7 月 1 日現在)

	全て		留学生	
	2019	2022	2019	2022
1 年次	168	173	23	25
2 年次	177	172	61	21
3 年次	116	143	33	17
4 年次	92	184	42	27
合計	564	672	159	90

2. アンケート回答率

まず、表 2 に、経済学部所属教員が開講する科目における授業評価アンケートの回答率を示す。

表 2 経済学部教員による開講科目の回答率

所属名		対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (%) (F÷E)
経済学部	2019後期	3227	2905	1876	64.58
	2022前期	3051	3034	1955	64.44
	2022後期	3251	3071	1623	52.85
全学	2019後期	11565	11243	7615	67.73
	2022前期	18,645	18,019	12,502	69.38

	2022後期	17231	16864	10504	62.29
--	--------	-------	-------	-------	-------

全学では、授業評価アンケートの対象科目履修者数及び回答者数は2019年度よりも増えているが、その中で経済学部所属教員科目が開講する科目の履修者数が占める割合は小さくなっていることがわかる。この理由は、全開講科目数、開講科目の分類ごとの総数等のデータが提供されていないため不明だが、情報科目等のクラス数の多い科目を担当する教員が経済学部以外の科目に多く所属することによるものと推測される。

一方、経済学部の回答率は、2019年度、および2022年度前期より約12ポイント低下しており、全学においても7ポイント低下している。この回答率の低下は、実施週に欠席した学生がアンケートに回答することができなかったことが影響しているものと思われる。このアンケートが実施された2022年度後期末には新型コロナウイルス感染症が拡大し欠席者が多かったが、今回のアンケートは授業中に紙媒体で実施された。授業評価アンケートについては、当然、回答率が高いほど望ましい。回答率向上については、教員によっても実施しやすく、どの学生にとっても回答しやすい形式となるよう、改善が必要であると思われる。

3. 設問別にみた結果

次に、設問別の結果を検討する。表3に、経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値を示す。なお、設問Eは、2022年度の授業評価アンケートで新しく文面を更新して設定された設問であり、設問3の回答の前提として示されたが、回答の選択肢が「はい」または「いいえ」の2択であったため、ここでは「はい」の回答割合を示す。同様に、設問13は、2022年度の授業評価アンケートで新しく文面を更新して設定された設問である。

表3 経済学部教員による開講科目における各設問のポイント平均値

	設問	2019後期 経済学部	2022前期 経済学部	2022後期 経済学部	2022後期 全学
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.1	4.2	3.95	4.03
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.8	3.86	3.98
E	あなたはこの科目のシラバスを分かっていますか	-	はい 77%	はい 80.5%	データ なし
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか (設問Eで「はい」と答えた人のみ回答)	4.1	4.2	4.23	4.32
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	3.8	4.0	3.98	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	4.0	3.96	4.12
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.1	4.11	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	3.9	4.1	4.07	4.17
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.0	4.1	4.14	4.24

9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていますか	3.9	4.0	4.09	4.18
10	教員の声は聞き取りやすかったですか	4.0	4.1	4.01	4.26
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	4.0	4.01	4.15
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.0	4.2	4.27	4.33
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	-	3.9	3.91	4.05

経済学部についてみると、2019年までの結果に比べ、多数の項目で0.1ポイント上昇しているが、2022年度前期と比較するとほぼ同等、または0.1ポイント程度低下した項目もある。2022年度前期と比較して上昇した項目は、項目2（予復習）、項目3（シラバス遵守）、項目6（教員の熱意）、項目8（資料の活用）、項目9（板書等の見やすさ）、項目11（私語等対応）、項目12（時間遵守）、項目13である。項目E（シラバスの理解）のポイントは2022年度前期に比べ改善している。

一方、前期と比較して低下した項目は、設問1（出席）、設問4（わかりやすさ）、設問5（新しいものの見方）、設問7（授業の進め方）、設問10（聞き取りやすさ）であった。これらの設問の多くは2019年度と比較すると大きく上昇しているが、後期にはごくわずかに低下する結果となっている。

2019年度前期からの評価上昇の要因として考えられるのは、第一に、教員による授業の改善の効果、第二に、学生の受講意欲の向上、第三に、対面授業の再開により学生がオンライン授業と対面授業を比較したため、などが想定でき、設問8や9のポイント上昇には、キャンパスリノベーションによる教室設備の改善や、Google クラウドルーム等のオンラインによる資料提供の普及も貢献しているのではないだろうか。

一方で、今年度の全学の結果と比較すると、全体に0.1～0.2ポイントほど低いことがわかる。全額の傾向と経済学部との差が最も大きい項目は、設問4（わかりやすさ）、設問5（新しいものの見方）、設問10（聞き取りやすさ）であり、全額平均より約0.2ポイント低い。この傾向から、学生の到達度の想定や、学生の希望に沿った内容の見直しなどを図りつつ、聞き取りやすさに配慮することが経済学部の課題といえる。

4. 学生の属性別にみた結果

続いて、学生の属性別の結果を検討する。まず表4に、各設問別ポイント平均値を、学生の属性別に示す。スポーツ推薦により入学した学生を、以下ではスポーツ学生と略す。

表4 経済学部教員開講科目における各設問ポイント平均値の、学生の属性別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
全学生	4.0	3.9	4.3	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	4.1
留学生のみ	4.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4
留学生を除く	3.9	3.8	4.3	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1

スポーツ 学生のみ	4.2	4.3	4.5	4.4	4.3	4.4	4.4	4.8	4.4	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4
スポーツ 学生を除く	3.9	3.9	4.3	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	4.1

表4から、留学生およびスポーツ学生の回答が、その他に比べて0.3ポイント程度高いことがわかる。これは例年と同様の傾向であり、2022年度前期と比較するとスポーツ学生の回答が0.2ポイント上昇している。その要因としては、第一に留学生の学習意欲が高いこと、第二に教員の教え方などに対して学生が意見を述べる習慣が母国にないこと、第三にスポーツ学生や留学生の到達度を想定した講義が成功していること等が考えられる。この結果について、まず留学生の学習意欲が高いことは高く評価でき、他の学生にも良い影響を及ぼしていることが推測できるが、一方で、受講生の意見が教育活動の改善に有益であるということは留学生に対してはより積極的に伝えていくべきであると思われる。また、スポーツ学生の学習目標や到達度に配慮した指導が成功していることは望ましいことであり、今後も継続すべきである。一方で、それ以外の一般日本人学生の満足度が留学生やスポーツ学生と比べて低いという見方もできる。多様な背景や目標を持つ学生を念頭に置くことは本学において重要である一方で、一般日本人学生の期待する到達度や講義内容について再検討する必要もあるのではないだろうか。

次に、表5に、学年別の比較を示す。

表5 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、学年別比較

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1年生	4.1	4.0	4.3	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.4	4.0	4.2
2年生	4.0	3.9	4.3	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	3.9	4.1
3年生	3.9	3.9	4.2	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	4.2	4.0	4.1
4年生	3.5	3.8	4.2	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.3	4.0	4.1

平均点を見ると、学年による得点の差は1年生が全体的に高い。これは、2年生の値が最も高かった2022年度前期とは異なる傾向である。大半の項目において、1年生の満足度が2年生以上に比べて高い傾向にある。1年生後期は専門共通基礎IIの履修が始まる時期であり、履修科目数も4年間の中で最も多い時期である。学生自身の関心によって科目を選べるようになり、専門分野の学びの面白さに出会う段階にあることが関係するのかもしれない。

学年が上がるにつれポイントが低下する傾向が明らかなのは、まず設問1（出席したか）であり、この点は2022年度前期も同様の傾向が見られた。また2022年度後期においては、設問2（学習意欲）の項目についても、1年生が高く学年を追って低下する傾向がみられる。専門科目の履修が大半となる3年生以上の学生が学習意欲をより高めていけるような改善が望ましいと言える。

5. クラスサイズ別集計結果

次に、クラスサイズによる結果の違いを検討する。表6に、設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較を示す。

表6 経済学部教員開講科目における設問別ポイント平均値の、クラスサイズ別比較

履修者数 (人)	授業 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平均
1~50	5	4.0	4.1	4.3	4.1	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.3	4.4	4.1	4.3
51~100	1	3.9	3.8	4.3	4.3	4.0	4.3	4.3	4.2	4.2	4.4	4.2	4.4	4.2	4.2
101~150	8	3.8	3.8	4.2	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0	4.3	4.0	4.0
151~200	5	4.0	3.9	4.3	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	3.7	3.9	4.3	3.9	4.0
201~250	2	3.8	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2	4.3	4.1	4.2
301~	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表6より、100人以下のクラスと200人以上のクラスの評価が比較的高く、100~200人のクラスの評価が低い結果となっている。少人数クラスの評価が高いことは明らかであるが、大人数クラスにおいても授業運営によっては高い評価を得ているクラスがあることが推測できる。

評価の低い、100人~200人までのクラスでは、設問1（出席）、設問2（予復習）、設問10（聞き取りやすさ）、設問13（私語等の対応）のポイントが低い。これらのクラスを一般的に受講生の多いクラスととらえるなら、特に上記の項目に注意する必要がある。

6. 設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」の結果および相関

次に、授業のわかりやすさに関連すると思われる設問の結果について検討する。設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」が、授業のわかりやすさに関連する指標であると想定する。表7に、経済学部所属教員によるアンケート対象科目をすべて挙げ、これらに対する設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」のポイント平均値、及び、3項目の平均値を降順で示した。

No.	科目名	項目4平均	項目5平均	項目11平均	項目4・5・11平均
1	(留)日本語コミュニケーションレベル6(木3)	4.50	4.58	4.58	4.56
2	社会政策と社会保障(月3)	4.34	4.26	4.24	4.28
3	国際経済論(水2)	4.34	4.28	4.13	4.25
4	G I S 概論(月2)	3.71	4.47	4.53	4.24
5	全学ゼミナール(4)(火2)	4.10	4.50	4.10	4.23
6	心の科学II(火3)	4.39	4.37	3.93	4.23
7	東海地方の産業(火2)	4.24	4.09	4.24	4.19

8	多様な言語の世界(木2)	4.16	4.18	4.11	4.15
9	(日)公務員・就職試験基礎力養成IV (SPI含む)(水3)	4.26	3.96	4.21	4.15
10	世界の中のアジア(月4)	4.15	4.09	4.11	4.12
11	資格・検定講座V(月2)	4.08	4.11	3.93	4.04
12	経済システム論(金1)	3.82	3.97	4.11	3.96
13	国民経済と政府②(金1)	3.94	3.94	4.01	3.96
14	(日)基礎力養成II(A)(木4)	4.10	3.77	4.01	3.96
15	国民経済と政府①(水1)	3.92	3.87	4.07	3.95
16	全学ゼミナール(3)(水3)	4.00	3.86	4.00	3.95
17	国際金融論(木2)	3.90	4.02	3.88	3.93
18	地方財政論(月1)	3.96	3.81	3.89	3.89
19	地理学II(月3)	3.72	3.79	4.00	3.84
20	生活と数(火3)	3.80	3.73	3.93	3.82
21	経済統計学(月4)	3.85	3.77	3.73	3.78
22	市場の経済学②(月2)	3.42	3.47	3.77	3.56
23	市場の経済学①(水2)	3.27	3.45	3.71	3.47

今回、項目4「わかりやすさ」ポイント4以上の科目は22科目中11科目（50%）であり、これは2022年度前期と同じであった。この割合は、経済学部の開講科目の今後の改善状況の指標とできる。

上記3項目で評価の高い科目には、全般にポイントの高い傾向にある留学生科目のほか、経済学部の専門科目、専門共通基礎II、共通科目、公務員講座など、種別は多様である。専門共通基礎Iの評価は全体に低めである。

設問4（わかりやすさ）、設問5（新しいものの見方）、設問11（教室管理）の項目は互いに相関があるように見える。各設問のポイント間の相関係数 r を算出したところ、設問4と5の間は $r=0.72$ 、設問4と11の間は $r=0.76$ であり、強い正の相関があるといえる。一方、設問5と11の間は $r=0.54$ であり、正の相関があると言える。このことから、設問4と5、設問4と11の間については、一方が高ければもう一方も高いと考えられ、設問5と11の間についてもある程度そのように言える。

7. 専門共通基礎について

最後に、専門共通基礎I・IIについて、6と同様にわかりやすさに関する項目の結果を検討する。専門共通基礎I・IIは、3学部学生全員が履修し、経済学部専門科目の入口となる科目であることから重

要な科目である。また、学部別にクラスが分けられ、複数教員が分担する形式で開講されており、その点が学生にとっての理解度や満足度にどのような影響を与えているか検討する必要がある。

表8に、経済学部専門共通基礎Ⅰ・Ⅱ科目における、設問4「わかりやすさ」、設問5「新しいものの見方」、設問11「教室・授業管理」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較を示した。

表8 経済学部専門共通基礎Ⅰ・Ⅱ科目における、設問4「わかりやすさ」設問5「新しいものの見方」設問11「教室・授業管理」のポイント平均値の、クラス・学生属性別比較

科目名	対象	有効数	設問 04	設問 05	設問 11
市民生活と経済 (再)(金5)	全学生	29	4.38	4.28	4.31
	留学生のみ	-	-	-	-
	留学生を除く	-	-	-	-
	スポーツ学生のみ	8	4.63	4.63	4.75
	スポーツ学生を除く	21	4.29	4.14	4.14
国民経済と政府① (水1)	全学生	163	3.92	3.87	4.07
	留学生のみ	23	3.87	4.26	4.00
	留学生を除く	140	3.93	3.81	4.08
	スポーツ学生のみ	11	4.64	4.45	4.45
	スポーツ学生を除く	152	3.87	3.83	4.04
国民経済と政府② (金1)	全学生	93	3.94	3.94	4.01
	留学生のみ	18	4.11	4.22	3.88
	留学生を除く	75	3.89	3.87	4.04
	スポーツ学生のみ	17	4.00	4.12	4.29
	スポーツ学生を除く	76	3.92	3.89	3.95
市場の経済学① (水2)	全学生	128	3.27	3.45	3.71
	留学生のみ	19	4.32	4.26	4.17
	留学生を除く	109	3.08	3.30	3.63
	スポーツ学生のみ	13	4.31	4.31	4.15
	スポーツ学生を除く	115	3.15	3.35	3.66
市場の経済学② (火2)	全学生	57	3.42	3.47	3.77
	留学生のみ	12	4.08	4.17	4.17
	留学生を除く	45	3.24	3.29	3.67
	スポーツ学生のみ	-	-	-	-
	スポーツ学生を除く	-	-	-	-

まず、2022年度後期に開講された専門共通基礎Ⅰ「市民生活と経済」再履修クラスについては、3つの設問の評価ポイントが4点を超過しており、このクラス学生に適した指導が行われたと評価して良いと思われる。

次に、専門共通基礎Ⅱ「国民経済と政府」および「市場の経済学」のそれぞれ2つのクラスについて述べる。①は経済学部向けクラス、②は他学部向けクラスである。今学期のこれらの科目の各クラスについては、①クラスと②クラスの評価は概ね同様の傾向を示した。どちらの科目・クラスにおいても、留学生とスポーツ学生の評価が高めであり、それ以外の学生の評価は4ポイント前後またはそれ以下であった。これらの科目については、学部を問わず経済学に初めて触れる若者にとっての関心やわかりやすさを考慮した内容や進め方を検討するのも一案であると考え。

以上

2022 年度後期 経営学部 授業評価アンケート報告書

経営学部 FD 委員会

1. 実施概要

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
【全体】	17,231	16,864	10,504	62.29
経営学部	3,826	3,826	2,120	55.41

実施予定 51 科目の全てにおいて授業評価アンケートが実施され、回収率は 100%である。なお、経営学部教員担当科目の回答率は 55.41%であった。これは全体平均の 62.29%を下回り、3 学部では、経済学部 (52.85%) と法学部 (58.94%) の中間に位置している。

前期アンケート時の回答率と比べると、前期は全体平均が 69.38%、経営学部が 66.68%であったことと比較すると、今後期は全体・経営学部ともに低下している。これは前期と後期の授業構成(学生数など)の違いが影響していると思われるが、回答率の改善が新たな課題となりつつあることを認識しておく必要があると思われる。

なおコロナ禍前の 2019 年度後期では、経営学部の回答率 71.60%、全体平均 67.73%あったが、今後期の回答率と比較すると、当時より 16% (全体平均では 5.44%) 低く、その差は依然として小さくない。これは、コロナ禍による出席率の低下が継続していることを反映していると考えられるため、今後は政府の新型コロナの感染症法上の位置づけの移行決定 (5 類) による影響を注視する必要がある。

2. 経営学部教員担当科目の平均ポイント

	設問項目	19 年度後期	本年度後期
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.1	4.0
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.8	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.2	4.3
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.0	4.2
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	3.8	4.1
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.0	4.3
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.0	4.2
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.1	4.2

9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.0	4.2
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.1	4.3
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	3.9	4.1
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.2	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	/	4.0

上表の集計データは、経営学部教員担当科目の授業における、2019年度後期と本年度後期の学生評価に係る平均値を、設問番号毎に併記したものである。設問全体としてみると、今後期は2019年度後期と同じか、それより高い数値を示していることがわかる。ここから、コロナ禍により懸念された、学生・教員それぞれの「学びづらさ」と「教えづらさ」が、双方の熱意や配慮、その他の工夫などにより克服され、学生の授業満足度はコロナ禍以前の水準に戻りつつあるが、前期においても同様の結果であったことに鑑みれば、上昇に転じたとみてよいであろう（但し、設問1の“授業出席”を除く。）

なお、学生の自己評価項目である、設問2（予習・復習を含めた授業への取り組み）のポイントが3.9と、従前より低いままとなっている。一方で、教員への評価項目である設問5（新しいものの見方・考え方）および、設問11（一部の学生の授業の妨げに対する教員の対応。以下「教室管理」と称す。）は、従来の3ポイント台から4ポイント台に上昇し、改善がみられる。設問2に関するこうした評価の改善は、設問5、および、設問11のほか、設問13（この授業のやり方で他の授業も勉強したいか）に関する評価（上昇）が牽引することが期待できるとみて差し支えないであろう。

3. 経営学部学生視点からのデータ分析

* 属性別のポイント（1～13の設問内容は上記参照）

	全学部生	留学生のみ	留学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	3.9	4.1	3.9	3.9	3.9
2	4.0	4.3	3.9	4.1	4.0
3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3
4	4.2	4.3	4.1	4.3	4.2
5	4.1	4.3	4.1	4.3	4.1
6	4.3	4.4	4.2	4.4	4.2
7	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
8	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
9	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2
10	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3
11	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2

12	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3
13	4.1	4.2	4.0	4.2	4.0

留学生は全ての設問において、日本人学生のポイントと同じか、あるいはそれを上回る数値を示している。とりわけ、設問2（予習・復習を含めた授業への取り組み）は、日本人学生に比べ0.4ポイント上回っており、こうした留学生全体の授業への参加意欲が、日本人学生への刺激となり、切磋琢磨して励むなどの日本人学生との相乗効果が期待されるが、そのための授業環境の改善をあらためて考えてみたい。また、日本人学生は2019年度後期に比べると、全ての設問において数値が高く、今年度前期と比べても全体的に数値が上がっている。

スポーツ学生に関しては、本年度後期では、設問1を除くすべての項目において、留学生のみと同様、4.1ポイント以上の高い数値となった。またスポーツ学生を除く学生も、今後期においては、設問1を除くすべての項目において、4.0ポイント以上の良い結果となり、相対的にスポーツ学生の授業に対する修学意欲が高まりつつあるといえる。

4. 経営学部教員担当科目の履修者数別結果

	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201～250人	251～300人
1	4.0	3.9	3.9	4.0	4.2	4.1
2	4.1	3.8	3.8	3.9	4.1	3.9
3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
4	4.4	4.1	4.0	4.2	4.5	4.2
5	4.3	4.0	4.0	4.1	4.3	4.0
6	4.4	4.1	4.1	4.3	4.4	4.4
7	4.3	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2
8	4.4	4.1	4.1	4.2	4.2	4.4
9	4.3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.3
10	4.4	4.2	4.2	4.3	4.1	4.5
11	4.3	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1
12	4.5	4.2	4.3	4.3	4.3	4.5
13	4.3	3.9	3.9	4.1	4.0	4.1

*300人以上は、該当クラスなし。

*履修者数別の中で、4.0以下の数値は赤字表記。

該当するクラス数は、1～50人で28クラス、51～100人で8クラス、101～150人で8クラス、151～200人で5クラス、201～250人で1クラス、251～300で1クラスであった。評価ポイントは、2019年度後期に比べると本年度は全体的に高い数値を示しており、ポイントが一番高いのは、平均4.3をマーク

した 1～50 人の履修者クラスであり、その他は、51～100 人で平均 4.05 ポイント、101～150 人で平均 4.08 ポイント、151～200 人で平均 4.17 ポイント、201～250 で平均 4.22 ポイント、251～300 人で平均 4.23 となっている。1～50 人のクラスを除けば、今年度前期では、クラス規模が大きくなるにしたがって評価ポイントが低くなっていたが、後期は前期のこうした傾向と真逆に触れている。

5. クロス集計について

* 「設問 11：教室管理」と「設問 4：わかりやすさ」

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし		1	2			
		5		618	150	34	5	2
		4		134	665	71	6	5
		3		48	136	152	15	3
		2		9	19	5	11	3
		1		4	5	2	2	13

* 「設問 11：教室管理」と「設問 8：教科書・配布資料の活用」

			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし	1		2			
		5		663	104	32	7	3
		4		163	649	60	7	2
		3		54	127	156	13	4
		2		11	15	11	8	2
		1		6	3	3	3	11

* 「設問 11：教室管理」と「設問 9：板書やスクリーン・モニターなどの見やすさ」

			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし	1		2			
		5		675	104	21	5	4

		4		144	660	63	9	5
		3	1	53	133	151	11	5
		2	1	8	13	11	13	1
		1		6	4	3	1	12

* 「設問 11 : 教室管理」と「設問 10 : 教員の声の聞こえやすさ」

			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
経営学部	設問 11	回答なし	2		1			
		5	1	697	95	9	3	4
		4	2	182	641	42	10	4
		3	1	56	135	150	8	4
		2		10	16	6	10	5
		1		4	7	2	2	11

設問 11 (教室管理) と、設問 4 (わかりやすさ)、設問 8 (教科書・配布資料の活用)、設問 9 (板書やクリーン・モニターなどの見やすさ)、設問 10 (教員の声の聞こえやすさ) の計 4 項目に関するそれぞれのクロス集計についてみると、2022 年度前期は、2019 年度前・後期同様、教室管理の評価が高ければクロス項目の評価も高くなる、という相関関係が認められてきたが、今後期のアンケート結果についても同様である。

6. 「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の分析

科目名	わかりやすさ	ものの見方	教室管理
統計学入門(金 3)	5.00	4.67③	4.50⑨
中国語入門(月 1)	5.00	4.67④	4.44
中国語初級(月 2)	4.90	4.62⑤	4.57⑦
情報 (Word) (3) (木 2)	4.83	4.17	4.17
中国語入門(金 2)	4.82	4.55⑦	4.73①
(留)アカデミック日本語レベル 6(木 4)	4.75	4.75①	4.63④
統計学入門(火 2)	4.67	4.67②	4.50⑧
統計学入門(火 1)	4.59	4.41⑩	4.41
ベンチャービジネス(金 3)	4.54	4.21	4.71②

原価計算論(火 2)	4.52	4.26	4.32
情報(Word)(済 4)(水 3)	4.50		
情報システムの理論と実際(木 2)	4.47		
情報技術の経営学①(火 2)	4.46		
情報(Word)(営 2)(金 1)	4.43		
ビジネスモデル(月 3)	4.42		
情報(Word)(法 2)(金 2)	4.41		
商業簿記(水 2)	4.40		
中国語入門(金 1)	4.40		
情報(Word)(営 4)(金 1)	4.37		
情報技術の経営学②(水 3)	4.36		
情報通信ネットワーク(木 4)	4.33		
情報(Word)(営 3)(金 1)	4.33		
(留)日本事情 V(水 3)	4.31		
犬山学入門(木 1)	4.29		
生活経営論(金 2)	4.26		
キャリア支援講座 II(SPI 対策)(水 1)	4.25		
地域産業論(水 3)	4.21		
(日)市民生活とキャリア形成 T(月 1)	4.20		
アジア史(金 2)	4.19		
基本経営学(木 2)	4.18		
税法会計論(水 2)	4.16		
生産システム論(金 2)	4.14		
情報(Word)(済 1)(水 3)	4.13		
日本史(月 2)	4.12		
流通論(木 1)	4.12		
アジアの中の思想(木 3)	4.11		
管理会計と財務分析(月 1)	4.10		
(留)市民生活とキャリア形成 U(月 2)	4.07		
人と組織の経営学①(月 1)	4.04		
市民生活とビジネス(再)(月 5)	4.03		
(日)基礎力養成 II(B)(木 4)	4.00		
情報(Power Point)(2)(木 3)	4.00		

上表では、設問4（わかりやすさ）の数値4.0以上の科目を、その高い順に並べ、中央の列に設問5（新しいものの見方）、右側に、設問11（教室管理）の数値が高い、上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。その結果、設問4の評価ポイントが高い科目と、設問5及び設問11のポイントが高い科目との相関関係が概ね認められることがわかる。なお、設問4（わかりやすさ）のが4.0ポイント以上の科目は、51科目中42科目（82%）であり、その割合は2019年度後期の67.7%及び本年度前期の66%に比べ、およそ15%と大幅に上昇した。

*** 設問5「新しいものの見方」結果**

(留)アカデミック日本語レベル6(木4)	4.75
統計学入門(火2)	4.67
統計学入門(金3)	4.67
中国語入門(月1)	4.67
中国語初級(月2)	4.62
情報(Word)(済4)(水3)	4.60
中国語入門(金2)	4.55
情報システムの理論と実際(木2)	4.53
中国語入門(金1)	4.50
情報(Word)(法2)(金2)	4.47
統計学入門(火1)	4.41
ビジネスモデル(月3)	4.38
情報(Word)(営3)(金1)	4.33
情報(Word)(営4)(金1)	4.32
(留)日本事情V(水3)	4.31
マーケティング特論(中小企業のブランディング論)(火1)	4.30
情報(Word)(営2)(金1)	4.29
情報技術の経営学①(火2)	4.28
生産システム論(金2)	4.27
地域産業論(水3)	4.26
原価計算論(火2)	4.26
生活経営論(金2)	4.23
ベンチャービジネス(金3)	4.21
犬山学入門(木1)	4.19
(日)市民生活とキャリア形成T(月1)	4.18

情報通信ネットワーク(木 4)	4.17
情報(Word)(3)(木 2)	4.17
文学と現代(木 3)	4.16
アジアの中の思想(木 3)	4.15
(留)市民生活とキャリア形成U(月 2)	4.13
税法会計論(水 2)	4.13
情報(Word)(済 1)(水 3)	4.13
情報技術の経営学②(水 3)	4.12
日本史(月 2)	4.10
市民生活とビジネス(再)(月 5)	4.06
管理会計と財務分析(月 1)	4.05
アジア史(金 2)	4.05
ガバナンスと監査(火 2)	4.01

設問 5「新しいものの見方」において評価ポイントが 4.0 以上の科目は、51 科目中 38 科目 (74.5%) であり、2019 年度後期 (38.7%) より 35.8% と大幅に上昇した。また今年度前期 (58%) よりもおおよそ 14% 上昇した。

* 設問 11「教室管理」の結果

中国語入門(金 2)	4.73
ベンチャービジネス(金 3)	4.71
情報(Word)(営 3)(金 1)	4.67
(留)アカデミック日本語レベル 6(木 4)	4.63
マーケティング特論(中小企業のブランディング論)(火 1)	4.60
中国語入門(金 1)	4.60
中国語初級(月 2)	4.57
統計学入門(火 2)	4.50
統計学入門(金 3)	4.50
地域産業論(水 3)	4.45
中国語入門(月 1)	4.44
情報システムの理論と実際(木 2)	4.42
統計学入門(火 1)	4.41
情報(Word)(法 2)(金 2)	4.35

原価計算論(火 2)	4.32
情報(Word)(済 4)(水 3)	4.30
情報(Word)(営 2)(金 1)	4.29
情報(Word)(済 1)(水 3)	4.25
情報通信ネットワーク(木 4)	4.21
情報技術の経営学①(火 2)	4.20
税法会計論(水 2)	4.19
アジアの中の思想(木 3)	4.17
ビジネスモデル(月 3)	4.17
管理会計と財務分析(月 1)	4.17
情報(Word)(3)(木 2)	4.17
アジア史(金 2)	4.16
(留)日本事情 V(水 3)	4.15
(日)市民生活とキャリア形成 T(月 1)	4.14
人と組織の経営学①(月 1)	4.14
生産システム論(金 2)	4.14
文学と現代(木 3)	4.13
人と組織の経営学②(木 1)	4.12
犬山学入門(木 1)	4.11
キャリア支援講座 II(SPI 対策)(水 1)	4.11
情報(Word)(営 4)(金 1)	4.11
商業簿記(水 2)	4.10
市民生活とビジネス(再)(月 5)	4.10
情報技術の経営学②(水 3)	4.10
生活経営論(金 2)	4.09
ガバナンスと監査(火 2)	4.08
(留)市民生活とキャリア形成 U(月 2)	4.07
(日)基礎力養成 II(B)(木 4)	4.05
流通論(木 1)	4.03
基本経営学(木 2)	4.00
情報(Word)(法 3)(金 2)	4.00

設問 11 (教室管理) において、評価ポイントが 4.0 以上の科目は、51 科目中 45 科目 (88%) であり、

その割合は2019年度後期（38.7%）より大幅に上昇し、今年度前期の54%からもさらに上昇していることがわかる。

以上の結果のとおり「わかりやすさ」、「新しいものの見方」、「教室管理」の項目は、いずれも2019年度後期および今年度前期より評価ポイントが上昇しており、中でも「新しいものの見方」「教室管理」の上昇幅が大きかった。ただし、コロナ禍のため、2020年度と2021年度にオンライン授業が採用され、本年度は2年ぶりに全面的な対面授業に切り替わったことから、今後のアンケート評価結果を注視していきたい。

7. 経営学部担当の専門共通基礎Ⅱについて

対象	有効数	科目名	設問4	設問5	設問11
全学生	156	情報技術の経営学①(火2)	4.46	4.28	4.20
留学生のみ	36		4.39	4.17	4.19
留学生を除く	120		4.48	4.32	4.20
スポーツ学生のみ	14		4.57	4.50	4.36
スポーツ学生を除く	142		4.45	4.26	4.18
全学生	113	情報技術の経営学②(水3)	4.36	4.12	4.10
留学生のみ	25		4.48	4.48	4.44
留学生を除く	88		4.33	4.02	4.00
スポーツ学生のみ	20		4.20	4.05	4.20
スポーツ学生を除く	93		4.40	4.14	4.08

－（経営学部必修）情報技術の経営学①(火2)

経営学部必修科目の「情報技術の経営学①」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、4.31ポイントとなり、2019年度後期より評価ポイントが上がるなど結果は良好であった。なおスポーツ学生は最も高い4.47ポイントをマークした。

－（経済、法学部選択）情報技術の経営学②(水3)

経済、法学部選択科目の「情報技術の経営学②」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、4.19ポイントとなるなど、2019年度後期同様、良好な結果を示している。中でも留学生は、最も高い4.47ポイントをマークした。

対象	有効数	科目名	設問4	設問5	設問11
全学生	105	人と組織の経営学①(月1)	4.04	3.98	4.14

留学生のみ	30		4.20	4.33	4.20
留学生を除く	75		3.97	3.84	4.12
スポーツ学生のみ	6		3.50	3.67	4.00
スポーツ学生を除く	99		4.07	4.00	4.15
全学生	59	人と組織の経営学②(木1)	3.92	3.90	4.12
スポーツ学生のみ	9		4.11	3.78	4.44
スポーツ学生を除く	50		3.88	3.92	4.06

－（経営学部必修）人と組織の経営学①(月1)

経営学部必修科目の「人と組織の経営学①(月1)」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、4.05ポイントであったが、中でも留学生は、最も高い4.24ポイントをマークした。2019年度後期と比較すると、とくに留学生は上昇幅の大きい結果となった。

－（経済、法学部選択）人と組織の経営学②(木1)

経済、法学部選択科目の「人と組織の経営学②(木1)」で、全受講生が授業アンケートの中で評価した項目のうち「わかりやすさ」「新しいものの見方」、「教室管理」3項目の平均は、3.98ポイントであったが、スポーツ学生のみでは4.11ポイントであり、全受講生より0.13ポイント高い結果となっている。

以上

2022 年度後期 法学部授業評価アンケート結果報告

1 実施概要

所属名	対象科目 履修者数(D)	回収科目 履修者数(E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
法学部	2,630	2,630	1,550	58.94
【全体】	17,231	16,864	10,504	62.29

法学部の専任教員担当科目のうち 26 科目が今回のアンケート対象であり、全科目のアンケートが回収された。該当科目履修者数に対する回答率は 58.94%と、今年度前期より 6.23 ポイント低下した。全体と比べて低い数値にはなっているが、3 学部の中では、最も高い数値となった。今後も回答率のより一層の向上を目指して、呼びかけを行いたい。

2 法学部所属教員の結果（他学部科目及び他学部履修生を含む）

設問	内容	平均
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	3.9
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.0
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.0
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.2
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.0
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	3.9
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.2
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.0
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.2
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	3.9

今年度前期の結果と比較すると、およそ半分の項目で、0.1 ポイント低下しており、全体の平均値において 0.04 ポイント低下した。上昇した項目は 8 だけである。低下した項目は 1, 5, 7, 9, 12 である。教材の活用の面で良い評価を得ているともいえるが、授業に対する満足といった点に注意する必要がある。

3 法学部生学年別結果（全学生）

設問	内容	全学年平均	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.9	4.0	3.9	3.9	3.5
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	3.9	4.0	3.8	4.0	3.8
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.2	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.2	4.0	4.2	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.3	4.2	4.3	4.1
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.1	4.3	4.1	4.1	3.9
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.4	4.2	4.3	4.1
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.1	4.2	4.1	4.1	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.4	4.2	4.2	4.1
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.1	4.2	4.0	4.1	3.9
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.0	4.1	4.0	4.1	3.9
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	79.1	75.7	74.4	87.5	68.7

同(スポーツ学生)

設問	内容	全学年平均	1年	2年	3年	4年
1	あなたは、この授業によく出席しましたか	3.7	3.7	3.7	3.7	3.3
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	3.8	4.0	4.0	3.9
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたと思いますか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.0	4.3	4.2	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.2	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.1	4.4	4.4	4.4
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.2	4.3	4.3	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.0	4.3	4.1	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.1	4.4	4.3	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.1	4.5	4.3	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.1	3.9	4.3	4.1	4.2
E	あなたは、この授業のシラバスを読みましたか(結果は%単位)	79.9	69.4	80.2	87.7	72.7

まず、学生全体について、設問毎にみると、設問1(学生の授業出席)の数値が低いことが目につく。特に、全学年において、今年度前期と比べて、0.1-0.3ポイントの低下が見られた。何らかの対応が必要である。設問E(シラバスを読んだか)は、3,4年生では高い傾向にあったが、1,2年生でも6ポイント以上の上昇が見られ、大きな改善が見られる。

次に、スポーツ学生について、例年通りに設問1(出席)が、全体よりも低くなっているが、その他の設問はおおよそ、全体と大きな差が見られなくなっている。

4 履修者数別結果

設問	内容	1-50	51-100	101-150	151-200	201-250
1	あなたは、この授業に出席しましたか	3.7	3.7	3.7	3.7	3.3
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.0	3.8	4.0	4.0	3.9
3	この授業は、シラバスにそっておこなわれたか(設問 E で「はい」と答えた人のみ回答)	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3
4	授業内容は、わかりやすかったと思いますか	4.1	4.0	4.3	4.2	3.9
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.1	4.0	4.2	4.2	3.9
6	教員の教え方には、熱意があったと思いますか	4.3	4.1	4.4	4.4	4.4
7	授業の速さや進め方は、適切だったと思いますか	4.2	4.1	4.3	4.2	4.1
8	教科書、配布資料が活用されていたと思いますか	4.2	4.2	4.3	4.3	4.0
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.2	4.0	4.3	4.1	4.0
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.3	4.1	4.4	4.3	4.3
11	一部の学生の私語、携帯電話、遅刻などの授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.2	4.0	4.2	4.2	4.2
12	教員は、授業時間を守っていたと思いますか	4.3	4.1	4.5	4.3	4.3
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか 教え方はいいですか	4.1	3.9	4.3	4.1	4.2

※ 履修者数が250名を超えるクラスは存在しない。

履修者数別結果であるが、アンケート対象の授業数について、1-50名規模のものが5、51-100名規模のものが11、101-150名規模のものが5、151-200名規模のものが3、201-250名規模のものが1ある。

履修者数別に平均値を見ると、1名-50名規模は4.6、51名-100名規模は4.1、101名-150名規模は4.0、151名-200名規模は3.9、201名-250名規模は4.1となっている。1名-50名規模は各項目で、今年度前期と比較して、0.2ポイント以上の上昇が見られた。少人数授業については、評価が高い傾向が見られるが、一定以上のクラス規模になると、全体的な差異は見られない。

5 授業のわかりやすさ（設問4）及び新しいものの見方（設問5）（法学部関係科目及び法学部専任教員が担当する科目）

科目名	わかりやすさ	ものの見方
(教) 社会科・公民科教育法 II(火 3)	5.00	5.00①
(教) 教師論(木 5)	5.00	5.00①
(教) 社会科教育法 II(火 4)	4.86	4.86③
市民生活と法(再)(木 5)	4.63	4.58④
地域創生と文化遺産(木 4)	4.47	4.41⑤
(日) 公務員試験対策 II(就職支援含む)(火 2)	4.44	4.15
政治の世界(火 2)	4.39	4.26⑨
(日) 市民生活とキャリア形成 S(月 1)	4.36	4.39⑥
刑事訴訟法(木 2)	4.34	4.23⑩
(留) 市民生活とキャリア形成 X(月 2)	4.33	4.27⑧
情報と法(火 1)	4.21	4.08
歴史との対話(水 2)	4.20	4.28⑦
物権法(金 2)	4.12	4.14
(日) 公務員・就職試験基礎力養成Ⅲ(SPI 含む)(火 3)	4.05	3.9
国家と法(日本国憲法)①(火 1)	3.99	4.04
国家と法(日本国憲法)②(金 4)	3.99	3.96
会社法(水 1)	3.92	3.85
外国法(水 2)	3.92	4.03
債権総論(水 3)	3.89	3.98
行政救済法(金 4)	3.84	3.96
国際法(木 1)	3.82	3.98
家族法(金 1)	3.79	3.97
民事訴訟法(金 3)	3.70	3.88
犯罪と法①(水 2)	3.60	3.75
犯罪と法②(火 1)	3.43	3.5
刑法総論(木 2)	3.36	3.42

上の表では、授業のわかりやすさ（設問4）の値が高い順に科目を列挙し、最も右の列に新しいものの見方（設問5）の値が高い上位10科目について丸囲みの数字でその順番を示した。設問4の値が高い科目と設問5の値の高い科目は概ね対応する関係があるように認められる。

6 授業・教室管理について

科目名	平均
(教) 教師論(木 5)	5.00
(教) 社会科・公民科教育法 II(火 3)	4.90
(教) 社会科教育法 II(火 4)	4.71
市民生活と法(再)(木 5)	4.47
(日) 市民生活とキャリア形成 S(月 1)	4.44
(留) 市民生活とキャリア形成 X(月 2)	4.40
政治の世界(火 2)	4.26
地域創生と文化遺産(木 4)	4.24
情報と法(火 1)	4.21
刑事訴訟法(木 2)	4.16

授業及び教室管理について、高評価順に10科目を示すと、左記の通りである。

			設問 4					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	2	1				1
		5		394	130	23	4	2
		4		85	415	71	14	3
		3	1	23	92	167	22	4
		2		6	22	14	10	3
		1		2	11	6	9	13
			設問 8					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	3			1		
		5	34	424	82	11	1	1
		4	3	106	424	47	7	1
		3		38	92	164	12	3
		2		16	22	10	6	1
		1		4	14	9	5	9
			設問 9					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4					
		5		400	101	44	7	1
		4	1	72	405	88	14	8
		3		16	71	185	29	8
		2		8	14	13	16	4
		1		2	10	8	6	15
			設問 10					
			回答なし	5	4	3	2	1
法学部	設問 11	回答なし	4					
		5	1	471	70	5	5	1
		4	4	131	415	29	7	2
		3		37	87	167	15	3
		2	1	18	14	11	8	3
		1		8	11	6	6	10

クロス集計は、教室管理（設問 11）と設問4、設問8、設問9、設問 10 とで行なわれている。今年度後期についても、一般に 教室・授業管理について高い評価を得ている場合、クロス項目の評価も高いということが認められる。

9 専門共通基礎科目について（設問 4：わかりやすさ、設問 5：新しいものの見方、設問 11：教室管理）

専門共通基礎 I

対象	有効数	科目名	設問04 (わかりやすさ)	設問05 (新しいものの見方)	設問11 (教室・授業管理)
全学生	19	市民生活と法(再)(木5)	4.63	4.58	4.47
留学生のみ	6	市民生活と法(再)(木5)	4.67	4.50	4.50
留学生を除く	13	市民生活と法(再)(木5)	4.62	4.62	4.46
全学生	59	(日)市民生活とキャリア形成S(月1)	4.36	4.39	4.44
スポーツ学生のみ	14	(日)市民生活とキャリア形成S(月1)	4.43	4.36	4.07
スポーツ学生を除く	45	(日)市民生活とキャリア形成S(月1)	4.33	4.40	4.56
全学生	15	(留)市民生活とキャリア形成X(月2)	4.33	4.27	4.40

専門共通基礎 II

全学生	162	国家と法(日本国憲法)①(火1)	3.99	4.04	4.14
留学生のみ	20	国家と法(日本国憲法)①(火1)	3.80	3.90	3.90
留学生を除く	142	国家と法(日本国憲法)①(火1)	4.02	4.06	4.18
スポーツ学生のみ	44	国家と法(日本国憲法)①(火1)	3.93	4.12	3.89
スポーツ学生を除く	118	国家と法(日本国憲法)①(火1)	4.02	4.01	4.24
全学生	72	国家と法(日本国憲法)②(金4)	3.99	3.96	3.92
スポーツ学生のみ	10	国家と法(日本国憲法)②(金4)	4.20	4.30	4.00
スポーツ学生を除く	62	国家と法(日本国憲法)②(金4)	3.95	3.90	3.90
全学生	55	犯罪と法①(水2)	3.60	3.75	3.53
留学生のみ	5	犯罪と法①(水2)	3.60	3.80	3.80
留学生を除く	50	犯罪と法①(水2)	3.60	3.74	3.50
スポーツ学生のみ	16	犯罪と法①(水2)	3.94	3.94	3.63
スポーツ学生を除く	39	犯罪と法①(水2)	3.46	3.67	3.49
全学生	106	犯罪と法②(火1)	3.43	3.50	3.58
留学生のみ	10	犯罪と法②(火1)	4.20	4.10	3.80
留学生を除く	96	犯罪と法②(火1)	3.35	3.44	3.55

今学期の専門共通基礎 I は、「市民生活と法（再履修）」「市民生活とキャリア形成」が分析の対象となっている。「市民生活と法（再履修）」では、留学生と全学生との差異は小さく、全体的に満足度が高くなっている。「市民生活とキャリア形成」では、スポーツ学生と全学生に大きな差異はないが、設問 11（教室・授業管理）において、スポーツ学生の方が平均値が低い傾向が見られる。

専門共通基礎 II については、「国家と法（日本国憲法）」「犯罪と法」が分析の対象となっている。それぞれの科目の①が科目設置学部（法学部）の学生向け、②がそれ以外の学部（経済学部）学生向けとなっている。「国家と法（日本国憲法）」では、留学生、スポーツ学生に大きな差異は見られない。「犯罪と法」では、①はスポーツ学生で平均値が高い傾向に、②は留学生で平均値が高い傾向になっている。コロナ禍の影響に注意しつつ、日本人学生の満足度を高める方策を立てていく必要がある。

2022年度後期人間生活科学部教育保育学科授業評価アンケート報告書

教育保育学科FD委員会

1. 実施概要

本学科の授業評価アンケートは39科目について行われ、回答率は78.29%であった。全体に比べて回答率は高い（表1）。

表1

所属名	対象科目 履修者数 (D)	回収科目 履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
教育保育学科	1,200	1,179	923	78.29
【全体】	17,231	16,864	10,504	62.29

2. 教育保育学科の教員担当科目の平均ポイント

表2から、どの設問に関しても比較的高いポイント（すべての設問に対し4.0以上のポイント）が得られていることが明らかとなった。ただし、設問2「あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか」は、他の設問よりやや低い評価となった。一方、高いポイントを得たのは、設問6「教員の教え方には熱意があったと思いますか」と設問10「教員の声は聞き取りやすかったと思いますか」であり、教員の授業に対する熱意が反映された形となった。

表2

	設問項目	本学科	大学全体
1	あなたは授業によく出席しましたか	4.13	4.03
2	あなたは予習・復習を含め授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.09	3.98
3	授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか	4.44	4.32
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.32	4.15
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.35	4.12
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.48	4.27
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.33	4.17
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.30	4.24
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.38	4.18
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.50	4.26
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.34	4.15
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.44	4.33
13	この授業のやり方でほかの授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.22	4.05

3. 学生視点からのデータ分析（教育保育学科）

（1）学年別の結果

表3

	1年	2年	3年	4年
1	4.2	4.1	4.1	4.1
2	4.3	4.1	<u>3.8</u>	<u>3.9</u>
3	<u>4.5</u>	<u>4.6</u>	<u>4.3</u>	<u>4.4</u>
4	4.3	4.4	4.2	4.3
5	4.4	4.4	4.2	4.3
6	<u>4.5</u>	<u>4.5</u>	<u>4.4</u>	<u>4.5</u>
7	4.4	4.4	4.2	4.3
8	4.4	4.4	4.2	4.0
9	4.4	4.5	4.2	4.3
10	<u>4.5</u>	<u>4.6</u>	<u>4.4</u>	<u>4.5</u>
11	4.4	4.4	4.1	4.2
12	<u>4.5</u>	<u>4.5</u>	<u>4.2</u>	<u>4.4</u>
13	4.2	4.4	4.1	4.3

すべての学年で設問3「授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか」、設問6「教員の教え方に熱意があった」、設問10「教員の声は聞き取りやすかったと思いますか」、設問12の「教員は授業時間を守っていた」と回答する割合が高かった。一方、高学年になるほど低いポイントに下がってしまったのは、設問2「予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだか」であった（表3）。

（2）スポーツ推薦入学の学生

表4

	1年		2年		3年		4年	
	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く	スポーツ学生のみ	スポーツ学生除く
1	4.1	4.2	<u>3.8</u>	4.2	<u>3.8</u>	4.2	4.2	4.1
2	4.4	4.3	4.4	4.1	<u>3.5</u>	<u>3.8</u>	<u>3.5</u>	4.0
3	4.6	4.5	4.9	4.6	4.3	4.3	4.1	4.4
4	4.5	4.3	4.6	4.4	4.0	4.2	4.2	4.3
5	4.5	4.3	4.6	4.4	<u>3.8</u>	4.2	4.2	4.4

6	4.6	4.5	4.7	4.5	4.2	4.4	4.4	4.5
7	4.4	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.3
8	4.5	4.4	4.5	4.4	4.2	4.2	4.0	4.0
9	4.6	4.4	4.5	4.5	4.1	4.2	4.1	4.3
10	4.8	4.5	4.5	4.6	4.3	4.4	4.1	4.6
11	4.2	4.4	4.6	4.4	4.1	4.1	4.2	4.2
12	4.5	4.5	4.6	4.5	4.2	4.2	4.3	4.4
13	4.3	4.2	4.4	4.4	<u>3.9</u>	4.1	4.2	4.3

4.0未満の数値を太字下線で表した。3年の設問2以外は、4.0未満の項目はすべてスポーツ推薦で入学した学生であった。特筆すべきは、設問1「授業に出席したか」の項目で1年は4.1と高い値であるのに対し、2,3年では4.0未満の低い値となっていることである。今年度前期の結果は、4年も4.0未満の低い数値であったのに対し、4年の設問1は4.2と比較的高い値になったのは、卒業に向けて学業に取り組む姿勢の表れであろう。

また、低学年では項目によってはスポーツ学生の方が高い値であるのに対し、3年では4.0未満の項目が6項目もあることから、学外実習が本格化する高学年になると部活と勉強の両立が困難になるのではないかと分析する。

4. シラバスについて

今年度より、設問Eの内容が変更され、「あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか」という質問になった。57.1%の学生が「1.はい」と回答している。半分以上の学生がシラバスを理解して授業に臨んでいるが、初回授業でシラバスを説明するなど、100%に近づくよう指導していくことが必要である。また、受講人数が多い授業ほどシラバスを理解している学生の割合が高いことも特徴的である（表5）。

また、コロナ禍以前の2019年後期の設問E「あなたはこの授業のシラバスを読みましたか」の本学科結果が18.6%であったのと比較すると、格段にシラバスを理解して授業に臨んでいる学生が増加していることが見てわかる。

表5

受講者数	1～50人	51～100人	101～150人	全体
シラバスを分かっている学生の割合	60.4	52.2	74.6	57.1

(%)

2022 年度後期 人間生活科学部管理栄養学科 授業評価アンケート報告書

管理栄養学科 FD 委員

1. 実施概要

実施予定 54 科目のすべてが実施されたが、回収率は 92.6%、回答率は全体の 69.6%に比較し、79.1%と高い回答率であった。しかし、前期の回答率 83.4%に対して後期は 4.3 ポイント低かった。その原因として、後期に管理栄養士養成課程に必要な厚生労働省設置基準の臨地実習へ行く学生が特別欠席し、回答できなかったことが影響した。

所属名		対象科目数	回収科目数	回収率	対象科目履修者数	回収科目履修者数	回答者数	回答率
		(A)	(B)	(B÷A)	(D)	(E)	(F)	(F÷E)
【全体】		368	360	97.8	6,324	6,158	4,288	69.6
人間生活科学部・管理栄養学科	後期	54	50	92.6	1,962	1,828	1,446	79.1
	前期	54	54	100	2,193	2,193	1,828	83.4

2. 管理栄養学科全体の平均ポイントについての 2022 年度後期と 2022 年度前期および 2019 年度後期との比較

2019 年度後期、2022 年度前期に比較し、2022 年度後期の全平均値は 4.23 ポイントと高い値であった。また、設問 1、設問 12 を除くすべての項目で、2022 年度後期が一番高い値を示した。すべての授業を対面授業としたことで、学生同士や教員とのコミュニケーションが取りやすい環境となり、学生の学習意欲が高まったのではないかと考えられる。

設問	内 容	2022年度後期		2022年度前期		2019年度後期	
		管理栄養学科	全体	管理栄養学科	全体	管理栄養学科	全体
	全平均値	4.23	4.17	4.14	4.13	4.12	4.00
1	あなたはこの授業によく出席しましたか	4.35	4.03	4.48	4.19	4.47	4.08
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか	4.06	3.98	3.87	3.90	3.91	3.81
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問Eで「はい」と答えた人のみ回答すること	4.43	4.32	4.31	4.27	4.34	4.15
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか	4.16	4.15	4.03	4.05	4.01	3.92
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか	4.14	4.12	3.99	4.05	3.98	3.88
6	教員の教え方には熱意があったと思いますか	4.32	4.27	4.26	4.24	4.27	4.06
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか	4.17	4.17	4.06	4.09	3.97	3.95
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか	4.24	4.24	4.16	4.17	4.04	4.04
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか	4.21	4.18	4.11	4.12	4.01	3.97
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか	4.25	4.26	4.18	4.22	4.17	4.12
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか	4.21	4.15	4.11	4.05	4.02	3.92
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか	4.35	4.33	4.37	4.33	4.28	4.11
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか	4.08	4.05	3.92	3.95	—	—

3. 管理栄養学科の属性別平均ポイントの比較

(1) 学年別の比較

2022年度後期は、2022年度前期に比較し、1、2年生の低学年で平均ポイントおよび各設問のポイントも高くなった。特に1年生で「2：予習復習、学習意欲」「4：わかりやすさ」「5：新しいものの見方」が前期より後期の方が高くなっているのは、人間関係を築き、学生生活に慣れたことで、落ち着いて学習しやすい環境が整ったこともあると考えられる。

4年生で出席率が低い原因は、就職活動や管理栄養士国家試験受験の有無のよるモチベーションが影響している可能性がある。

設問	2022年度後期								2022年度前期							
	1年生		2年生		3年生		4年生		1年生		2年生		3年生		4年生	
	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均	有効数	平均
平均	609	4.2	530	4.3	436	4.2	18	4.0	672	4.1	517	4.1	514	4.2	48	4.2
1	633	4.5	562	4.5	455	4.2	19	3.9	703	4.7	542	4.5	538	4.5	50	4.2
2	634	4.1	562	4.2	455	4.0	19	3.9	705	3.7	542	4.1	539	4.0	50	4.1
3	330	4.5	263	4.4	240	4.4	7	4.4	289	4.4	306	4.3	281	4.4	23	4.3
4	634	4.2	562	4.2	455	4.1	19	3.8	705	3.9	543	4.0	539	4.1	50	4.3
5	634	4.1	562	4.2	455	4.1	19	3.8	705	3.9	541	4.1	539	4.1	50	4.2
6	633	4.3	558	4.3	453	4.3	19	4.0	705	4.2	540	4.1	537	4.3	49	4.3
7	634	4.2	561	4.2	455	4.2	19	3.8	704	4.0	541	4.0	539	4.2	50	4.2
8	626	4.3	508	4.2	455	4.1	19	4.1	703	4.2	521	4.0	536	4.2	50	4.0
9	633	4.2	508	4.2	425	4.2	19	4.1	705	4.1	480	4.1	478	4.3	49	4.2
10	633	4.3	560	4.3	455	4.2	19	4.3	702	4.1	540	4.0	537	4.4	48	4.5
11	634	4.2	561	4.2	455	4.2	19	3.8	705	4.0	542	4.1	539	4.2	49	4.1
12	633	4.4	560	4.4	455	4.3	19	4.4	705	4.4	543	4.2	538	4.4	50	4.3
13	631	4.1	561	4.1	455	4.0	19	3.9	699	3.8	542	3.9	539	4.0	50	4.1

(2) スポーツ学生と非スポーツ学生との比較

非スポーツ学生に比較し、スポーツ学生では、特に3年生で、「2：予習復習、学習意欲」が3.7ポイント、「4：わかりやすさ」3.5ポイント、「5：新しいものの見方」3.7ポイント、「8：教科書・配布資料の活用」3.8ポイント、「9：板書・スクリーンの見やすさ」3.9ポイント、「13：授業の教え方」3.5ポイントと低い値を示した。3年生になるとレギュラーとして試合に出場する頻度も高くなり、それに加え、後期は臨地実習へ行く学生も多いため、疲れて授業に集中できていない、また予習復習ができていないことから、授業がわからなくなってしまうというように、管理栄養士養成課程での文武両道の難しさが示唆された。

設問	スポーツ学生				非スポーツ学生			
	1年生	2年生	3年生	平均	1年生	2年生	3年生	平均
平均	4.1	4.4	3.9	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2
1	4.4	4.7	4.4	4.5	4.5	4.4	4.2	4.4
2	4.2	4.4	3.7	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1
3	4.3	4.7	4.5	4.5	4.5	4.3	4.4	4.4
4	4.1	4.3	3.5	4.0	4.2	4.2	4.1	4.2
5	4.0	4.3	3.7	4.0	4.1	4.2	4.1	4.1
6	4.2	4.3	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
7	4.1	4.3	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2
8	4.1	4.4	3.8	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2
9	4.0	4.3	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2
10	4.1	4.4	4.0	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2
11	4.2	4.3	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
12	4.2	4.4	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4
13	4.0	4.2	3.5	3.9	4.1	4.1	4.0	4.1

4. 「設問4：わかりやすさ」における専門科目ごとのクラス間の比較

クラス間や学年間における有意な差は認められなかった。

科目名	学年	平均	1組	2組
食品学II	1	4.65	4.58	4.73
食品学実験II	1	4.63	4.57	4.69
調理学実習	1	4.48	4.50	4.47
解剖生理学実習	1	3.61	3.63	3.59
解剖生理学II	1	3.36	3.24	3.48
基礎栄養学実習	2	4.47	4.48	4.46
基礎栄養学II	2	4.43	4.44	4.42
栄養教育論実習I	2	4.38	4.38	4.38
公衆栄養学I	2	4.38	4.38	4.38
栄養教育論	2	4.34	4.35	4.33
臨床栄養学I	2	4.16	4.19	4.14
応用栄養学II	2	4.06	4.12	4.00
病態学II	2	3.84	3.89	3.80
栄養教育論演習	3	4.30	4.29	4.30
臨床栄養学実習II	3	4.20	4.23	4.16
臨床栄養学III	3	4.15	4.16	4.14
公衆衛生学実習	3	4.09	4.12	4.07
公衆衛生学II	3	3.97	4.07	3.86
運動生理学	3	3.55	3.53	3.57

5. 「設問5：新しいものの発見」における専門科目ごとのクラス間の比較

クラス間や学年間における有意な差は認められなかった。

科目名	学年	平均	1組	2組
食品学II	1	4.58	4.52	4.64
調理学実習	1	4.48	4.47	4.50
食品学実験II	1	4.43	4.43	4.42
栄養教育論実習I	1	4.31	4.35	4.27
解剖生理学II	1	3.43	3.28	3.59
基礎栄養学実習	2	4.67	4.67	4.67
栄養教育論	2	4.38	4.42	4.33
公衆栄養学I	2	4.35	4.38	4.32
基礎栄養学II	2	4.33	4.36	4.29
応用栄養学II	2	4.19	4.15	4.22
臨床栄養学I	2	4.16	4.11	4.22
病態学II	2	4.08	4.00	4.16
栄養教育論演習	3	4.32	4.35	4.28
臨床栄養学実習II	3	4.24	4.23	4.24
臨床栄養学III	3	4.19	4.16	4.22
公衆衛生学実習	3	3.91	3.96	3.85
運動生理学	3	3.72	3.82	3.62
公衆衛生学II	3	3.70	3.80	3.60

6. 「設問 11：教室管理」に対する各設問のクロス集計

全体と同様に、本学科でも「設問 11：教室管理」が高いと、「設問 4：わかりやすさ」、「設問 8：教科書・配布資料の活用」、「設問 9：見やすさ」、「設問 10：聞き取りやすさ」も高く、関連性が認められた。さらに教育の質を上げ、学生の受講意欲を高める工夫が望まれる。

設問11に対する クロス集計		設問4:わかりやすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
管理栄養学科 人間生活科学部	回答なし						
	5		486	104	25	6	2
	4	1	68	417	61	12	2
	3		24	58	126	8	7
	2		3	10	5	5	2
	1			2	3	2	7

設問11に対する クロス集計		設問4:わかりやすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
全体	回答なし		5	8	11	3	1
	5	1	3196	767	170	37	15
	4	3	634	2985	398	79	25
	3	1	182	592	897	94	42
	2		33	84	51	44	11
	1	1	12	30	20	19	53

設問11に対する クロス集計		設問8:教科書・配布資料の活用					
		回答なし	5	4	3	2	1
管理栄養学科 人間生活科学部	回答なし						
	5	31	477	93	18	2	2
	4	20	68	426	39	6	2
	3	4	37	56	116	9	1
	2	1	5	7	6	3	3
	1		2	4	3		5

設問11に対する クロス集計		設問8:教科書・配布資料の活用					
		回答なし	5	4	3	2	1
全体	回答なし	14	3	9	1	1	
	5	197	3324	521	117	16	11
	4	115	704	2959	295	41	10
	3	63	258	516	893	57	21
	2	9	53	76	44	34	7
	1	6	22	34	20	10	43

設問11に対する クロス集計		設問9:見やすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
管理栄養学科 人間生活科学部	回答なし						
	5	44	492	63	18	4	2
	4	33	63	410	49	4	2
	3	6	31	40	129	12	5
	2	2	6	6	6	3	2
	1			4	2	1	7

設問11に対する クロス集計		設問9:見やすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
全体	回答なし	15	4	6	1	2	
	5	129	3354	514	141	33	15
	4	78	647	2947	366	58	28
	3	27	213	490	950	93	35
	2	3	39	67	49	53	12
	1	2	16	31	21	13	52

設問11に対する クロス集計		設問10:聞き取りやすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
人間生活科学部 管理栄養学科	回答なし						
	5		542	63	12	3	3
	4	2	90	422	33	7	7
	3		34	53	113	17	6
	2		5	7	5	5	3
	1		1	3	1		9

設問11に対する クロス集計		設問10:聞き取りやすさ					
		回答なし	5	4	3	2	1
全体	回答なし	15	6	3	2	2	
	5	9	3649	420	62	23	23
	4	10	868	2940	215	61	30
	3	4	267	561	848	80	48
	2	1	55	66	37	45	19
	1		27	31	15	10	52

7. 考察

回答率は全体より高かったが、前期より低かった。臨地実習や試合でアンケート実施日に欠席する学生に対応できるよう、オンラインで回答できる期間を設けることを提案する。

病気や試合、臨地実習など、やむを得ない事由で授業を欠席する学生に対して、オンデマンド配信など、どのような支援を行うべきかを検討し、標準化する必要がある。

管理栄養士の素養と技能を向上させる質の高い教育を実践するために、関連する専門科目間の連携を図り、話し方、伝え方、使用する教材などの教育方法についても教員間で情報交換しながら、更なる教育方法の改善・開発を行う。

2022 年度後期授業評価アンケート結果分析（非常勤講師担当分）

1 実施率／コメント回収率／学生の回答率について

後期授業評価アンケート対象科目 119 科目のうち、非常勤講師担当は 117 科目についてアンケートが実施された。これは全実施科目の約 38%に当たる。

実施科目の内訳は、英語科目 31、情報科目 15、留学生用日本語科目 19、諸外国語 12、その他共通科目 14、学部学科専門科目等 26 であった。

なお、非常勤講師担当科目中、授業評価アンケートを実施することが出来なかった 1 科目は、急な担当者変更の結果、授業の開講時期が変更され、その結果、アンケート実施期間中に、授業を終えることが出来なかったものである。

所属名	対象科目数 (A)	回収科目数 (B)	回収率 (B÷A)	コメント 提出科目数 (C)	コメント提出率 (C÷B)
非常勤	119	117	98.32	117	100
【全体】	314	306	97.45	306	100

所属名	対象科目履修者数 (D)	回収科目履修者数 (E)	回答者数 (F)	回答率 (F÷E)
非常勤	4,362	4,330	2,842	65.64
【全体】	17,231	16,864	10,504	62.29

回答率は、全体平均を若干上回っている。

2 集計結果について

設問内容

1	あなたはこの授業によく出席しましたか
2	あなたは予習・復習を含めこの授業に意欲的に取り組んだと思いますか
3	この授業はシラバスにそっておこなわれたと思いますか 上記の設問 E で「はい」と答えた人のみ回答すること
4	授業内容はわかりやすかったと思いますか
5	この授業を受けて新しいものの見方や考え方を得られたと思いますか

6	教員の教え方には熱意があったと思いますか
7	授業の速さや進め方は適切だったと思いますか
8	教科書・配布資料は活用されていたと思いますか
9	板書やスクリーン・モニターなどは見やすく示されていたと思いますか
10	教員の声は聞き取りやすかったと思いますか
11	一部の学生の私語・携帯電話・遅刻など授業の妨げに対する教員の対応は、適切だったと思いますか
12	教員は授業時間を守っていたと思いますか
13	この授業のやり方で他の授業も勉強したいと思いますか この授業の教え方はいいですか
E	あなたはこの授業のシラバスを分かっていますか

(1) 非常勤講師担当授業全体の平均ポイント

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問E (Yes率)
4.0	4.1	4.4	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.4	4.2	4.4	4.1	72.1

全ての設問で、4.0以上となっており、適切な授業が行われたものと評価できる。

(2) クラスサイズ別の平均ポイント

履修者数別	クラス数	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問E (Yes率)
1-50	101	4.0	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.5	4.2	72.3%
51-100	8	4.0	4.0	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.3	4.0	64.7%
101-150	7	3.9	3.8	4.3	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2	4.0	78.1%
151-200	1	4.0	3.9	4.3	4.0	3.9	4.0	4.0	4.2	3.8	3.9	3.9	4.3	3.8	79.4%

実施科目 117 科目中、101 科目が履修者数 50 人までの少人数科目である。

履修者数 1-50 人のクラスと、51-100 人のクラスでは、いずれも、全ての設問で、平均値が 4.0 以上となっており、適切な授業が行われたものと評価できる。

一方、履修者数 101 人以上のクラスでは、設問 1(出席)や設問 2(学生の熱意)が、4.0 を下回るなど、受講者の意識の低下が見られる。履修者数 151-200 人のクラスでは、履修者数 50 人以下の少人数クラスと比べて、明確な数値の低下が見られる。もっとも、該当するクラスは 1 つだけであり、この数値の低下が履修者数の問題なのか当該クラス特有の問題なのかはにわかに判断できない。

(3) 「わかりやすさ」「新しいものの見方」「授業・教室管理」について

ア 英語科目

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
必修	基礎英語 II	A	3.88	4.00	3.94
	基礎英語 II	B	4.41	4.33	4.36
	基礎英語 II	C	4.42	4.33	4.39
	基礎英語 II	D	4.62	4.50	4.52
	基礎英語 II	A	3.60	3.67	3.78
	基礎英語 II	B	4.18	4.15	4.16
	基礎英語 II	C	4.41	4.33	4.33
	基礎英語 II	D	4.37	4.30	4.31
	基礎英語 II	A	3.52	3.59	3.74
	基礎英語 II	B	4.29	4.21	4.22
	基礎英語 II	C	4.48	4.38	4.44
	基礎英語 II	D	4.76	4.74	4.70
	基礎英語 II(再)	D	4.55	4.44	4.48
	基礎英語 II(再)	A	3.67	3.67	3.78
	スキルアップ英語 II	A	3.79	3.82	3.88
	スキルアップ英語 II	B	4.27	4.18	4.21
	スキルアップ英語 II	C	4.16	4.11	4.13
	スキルアップ英語 II	E	4.57	4.50	4.50
	スキルアップ英語 II	D	4.00	4.02	4.07
	スキルアップ英語 II	A	3.91	4.00	3.95
	スキルアップ英語 II	B	4.55	4.45	4.48
	スキルアップ英語 II	C	4.30	4.22	4.24
スキルアップ英語 II	E	4.47	4.37	4.44	
スキルアップ英語 II	D	4.70	4.64	4.62	

	スキルアップ英語 II(再)	A	3.73	3.79	3.86
	スキルアップ英語 II(再)	B	4.33	4.24	4.25
	英語リーディング	G	4.16	4.13	4.13
一部 必修	英語コミュニケーション	C	4.52	4.40	4.45
	英語コミュニケーション	F	4.67	4.58	4.61
	英語リーディング	D	4.56	4.47	4.50
選択	トピック対策英語 II	G	4.23	4.16	4.17

※ 「一部必修」は、一部の学部学科にとっては、必修科目であるが、他の学部学科にとっては選択科目であることを示す。

7名の非常勤講師が31のクラスを担当した。なお、「基礎英語II」と「スキルアップ英語II」は、それぞれ、社会科学系3学部の1年次と2年次の必修科目である。「英語コミュニケーション」と「英語リーディング」は、社会科学系3学部では選択科目であるが、人間生活科学部管理栄養学科では必修科目となっている。

必修・選択を問わず、概ね、適正に授業が行われているものと思われるが、担当者Aのみが4.0を下回る評価を得ている。授業の改善を期待したい。

イ 情報科目

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
選択必修	情報(Word)	H	4.25	4.17	4.18
	情報(Word)*	H	4.40	4.32	4.33
	情報(Word)*	H	3.38		3.68
	情報(Word)*	H	3.86	4.00	3.92
	情報(Word)	I	3.82	3.83	3.88
	情報(Word)*	I	4.25	4.18	4.20
	情報(Word)*	I	3.59	3.62	3.77
	情報(Word)*	I	3.73	3.80	3.87
	情報(Word)*	J	4.28	4.20	4.22
	情報(Excel)	J	4.32	4.23	4.25
一部必修	情報基礎 I	I	4.33	4.25	4.27
	情報基礎 I	J	4.00	4.03	4.07
	情報基礎 I	K	4.27	4.20	4.22

選択	ビジネス情報処理 II	H	3.57	3.62	3.75
	情報社会と情報倫理	H	3.98	4.02	4.05

※ 「一部必修」は、一部の学部学科にとっては、必修科目であるが、他の学部学科にとっては選択科目であることを示す。

4名の非常勤講師が15のクラスを担当した。社会科学系3学部では、「情報 (Word)」「情報 (Excel)」「情報 (Power Point)」が選択必修となっており、2022年度は、1年次で、「情報 (Word)」を全員に登録している。科目名に「*」を付した科目は、1年次の強制登録科目である。「情報基礎 I」は、人間生活科学部管理栄養学科では必修科目であるが、同教育保育学科では選択科目である。

同じ教員でもクラスによってかなり評価に差がある。また、「情報 (Word)」については、1年次対象クラスと2年次対象クラスで、明確な傾向が読み取れる訳でもない。もっとも、「情報 (Word)」は、全て履修者50名以下の少人数クラスであるにも関わらず、評価の低いクラスが目立つ。「情報」が選択必修となっていることの意義も含めて、再度検討する必要があるかもしれない。

ウ 留学生対象日本語科目

科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
Q3(留)アカデミック日本語レベル2	L	4.55	4.57	4.53
Q3(留)アカデミック日本語レベル3	M	4.29	4.56	4.53
Q3(留)アカデミック日本語レベル3	M	4.55	4.52	4.52
Q3(留)アカデミック日本語レベル3	N	4.29	4.56	4.53
Q3(留)アカデミック日本語レベル3	N	4.55	4.52	4.52
Q4(留)アカデミック日本語レベル3	L	4.44	4.47	4.50
Q4(留)アカデミック日本語レベル4	M	4.36	4.44	4.48
Q4(留)アカデミック日本語レベル4	M	4.78	4.44	4.48
Q4(留)アカデミック日本語レベル4	N	4.36	4.44	4.48
Q4(留)アカデミック日本語レベル4	N	4.78	4.44	4.48
(留)アカデミック日本語レベル8	O	4.68	4.58	4.62
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル3	P	4.36	4.50	4.52
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル3	P	4.33	4.50	4.52
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル5	Q	4.64	4.50	4.50
Q3(留)日本語コミュニケーションレベル5	Q	4.46	4.50	4.50

Q4(留)日本語コミュニケーションレベル4	P	4.40	4.40	4.46
Q4(留)日本語コミュニケーションレベル4	P	4.38	4.40	4.45
Q4(留)日本語コミュニケーションレベル6	Q	4.55	4.38	4.45
(留)日本事情 III	R	4.33	4.57	4.55

※ 「Q3」「Q4」は、クォーター制における、第3クォーター、第4クォーターを意味する。

7名の非常勤講師が19のクラスを担当した。留学生対象日本語科目では、1年生を対象に、クォーター制を採用している。クォーター制科目は、全て1年生のみが受講者である。1年生は、入学時に、アカデミック、コミュニケーション、それぞれについてクラス分けを行われ、順調にいけば、各クォーター毎に、レベルが1ずつ上がっていく。Q3でレベル2、Q4でレベル3のクラスにあるものは、どこかの段階で、進級できなかった学生である。

(落第クラスも含め)非常に評価が高くなっており、適切な授業が行われているものと評価できる。

エ 諸外国語科目

科目名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
コリア語入門	4.72	4.67	4.64
コリア語入門	4.57	4.50	4.50
コリア語入門	4.46	4.36	4.43
コリア語入門	4.60	4.50	4.52
コリア語入門	4.71	4.64	4.63
コリア語入門	4.73	4.71	4.64
コリア語入門	4.45	4.33	4.42
ポルトガル語入門	3.80	3.82	3.88
ポルトガル語入門	4.13	4.07	4.10
ベトナム語入門	4.25	4.17	4.20
スペイン語入門	4.28	4.20	4.22
スペイン語入門	3.88	4.00	3.93

諸外国語科目は、各言語を1人の非常勤講師が担当している。諸外国語科目は、人間生活科学部管理栄養学科を除く、学部学科において、選択必修となっている。

特に「コリア語入門」は、全般的に、非常に高い評価を得ている。「ポルトガル語」と「スペイン語」は、一部のクラスで低い評価を得ている。

オ その他の共通科目

科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
交通と社会	S	3.95	4.04	4.08
生命と倫理	T	3.83	3.38	3.69
環境共生の探究 II	U	4.02	4.20	4.22
アートと現代社会	V	4.17	4.38	4.44
人間社会と文化形成	W	4.18	3.67	3.78
科学と人間社会 I	X	3.03	4.21	4.24
科学と人間社会 II	Y	4.14	4.21	4.22
科学と人間社会 III	Z	3.72	4.21	4.22
健康生活と生涯スポーツ	α	4.45	4.06	4.08
健康生活と生涯スポーツ	α	4.41	4.05	4.08
生涯スポーツ実習 II	α	4.63	3.67	3.78
生涯スポーツ実習 II	α	4.47	3.62	3.77
生涯スポーツ実習 II	β	5.00	3.59	3.74
生涯スポーツ実習 II	β	4.62	3.62	3.75

スポーツ関係科目の評価は非常に高い。一方で、講義科目は評価が低い傾向にある。特に「科学と人間社会 I」は、わかりやすさが 3.03 となっており、今後の改善を期待したい。

カ 学部学科専門科目等

区分	科目名	担当者名	分かりやすさ	新しいものの見方	教室管理
専 門 共 通 基 礎	市民生活と経済(再)	γ	4.38	4.02	4.07
	(日)市民生活とキャリア形成 P	δ	4.08	4.67	4.64
	(日)市民生活とキャリア形成 R	ϵ	4.15	4.64	4.62
	(日)市民生活とキャリア形成 Q	ζ	4.17	4.64	4.63
	(留)市民生活とキャリア形成 V	ζ	4.08	4.58	4.61
	(留)市民生活とキャリア形成 W	ϵ	4.25	4.58	4.57
専 門 科 目	資格・検定講座 I (宅建対策)	η	4.29	4.02	4.05
	資格・検定講座 II(宅建対策)	η	4.43	4.02	4.02
	環境指導法	θ	4.67	4.20	4.22

	環境指導法	θ	4.45	4.20	4.22
	レクリエーション実技B	ι	4.47	4.24	4.25
	社会的養護 II	κ	4.17	4.00	4.00
	子どもの保健	λ	4.48	4.04	4.08
	子育て支援論	μ	4.16	4.03	4.07
	教科教育法(家庭)	ν	4.31	4.06	4.09
	特別支援教育論	ξ	3.98		3.68
	給食経営管理論実習	o	3.83	4.08	4.11
	給食経営管理論実習	o	3.83	4.07	4.10
	給食経営管理論 II	o	3.52	4.11	4.11
	給食経営管理論 II	o	3.88	4.08	4.11
	食品官能検査・鑑別論	π	3.68	3.70	3.80
	フードシステム論	ρ	4.10	4.25	4.27
	微生物学	σ	4.35		3.57
教職	(教)生徒指導・進路指導	τ	4.64	4.74	4.70
	(教)生徒指導(栄養)	τ	4.42	4.75	4.71
	(教)特別支援教育論(中・高・栄養)	ξ	4.05	4.71	4.64

概ね、高い評価を得られている。もっとも、一部の専門科目に、わかりやすさ等が低い科目が見られる。改善を期待したい。